間取りクラウド

ユーザーガイド

はじめに

1 ダウンロード・インストール

1-1 ダウンロード

1-2 インストール

2体験版と有料プラン

3 起動画面の説明

3-1 新規作成

3-2 開く

3-3 前回の続き

3-4 サポート

3-5 ライセンス

4 入力画面の説明

4-1 リボンの機能説明

5 下絵

5-1 下絵の取り込み

5-2 下絵の調整

5-3 下絵を非表示にする

5-4 下絵を削除する

6 AI下絵変換

7 入力

便利なショートカットキー・クリック編集

7-1 部屋入力

（1）和室を入力する

（2）DKを入力する

（3）水回りを入力する

（4）階段を入力する

（5）廊下を入力する（多角）

（6）玄関を入力する

（7）2階部分を入力する（階層切替）

（8）収納を入力する

（9）バルコニーを入力する（アール型）

7-2 建具入力

（1）ドアを入力する

（2）折り戸を入力する

（3）引き違い(ふすま・サッシ)を入力する

7-3 備品入力

（1）キッチンを入力する

（2）トイレを入力する

7-4 外構入力

（1）車・植栽を入力する

7-5 階段入力

（1）まっすぐな階段を入力する

（2）曲がった階段を入力する

（3）螺旋階段を入力する

7-6 壁・柱入力

（1）壁を入力する

（2）柱を入力する

7-7 線図形入力

（1）敷地を入力する

7-8 寸法入力

7-9 壁消去

（1）壁を消去する

（2）壁を消去する（部屋選択）

7-10 方位入力

7-11 下絵の削除

8 印刷、画像の出力、ファイルの保存

8-1　印刷

（1）間取り図を印刷する

（2）複数の階層をまとめて印刷する

8-2　画像出力
（1）間取り図を画像出力する
8-3　ファイル保存
（1）間取り図を保存する
（2）間取り図を上書き保存する
（3）クラウドに保存したファイルを開く
9 こんなときは・・・
9-1 新たな部屋を部屋リストに追加したい
9-2 よく使う部屋部品をお気に入りに登録したい
9-3 入力した間取り図を修正したい
（1）パーツの種類を変更する
（2）部屋を修正する
（3）部屋名を修正する
（4）備品を修正する
（5）外構を修正する
（6）方位を修正する
（7）階層の設定を変更する
（8）１階と２階を並べて表示する
（9）部屋を合成・分割する
（10）効率の良い多角の部屋入力
9-4 文字の編集
（1）部屋名を新たに入力する
（2）文字の装飾
9-5 表示フィルターの使い方を知りたい
9-6 斜めの壁に建具を配置したい
9-7 画像をWordやExcelにコピーしたい
9-8 カスタマイズしたい（環境設定）
（1）カスタマイズ手順（環境設定）
（2）部屋リストをカスタマイズ中に新たな部屋を追加する
（3）画像出力の保存フォルダをカスタマイズする
9-9 カスタマイズしたい（備品）
（1）カスタマイズ手順（備品）
9-10設定をバックアップしたい
（1）設定をエクスポートする
（2）設定をインポートする

はじめに

間取り図面の作成は、不動産業者の日常業務において欠かせない作業です。

「間取りクラウド」は、ほとんどの作業がマウス操作のみで行えるので、素早く簡単に間取り図面を作成することができます。
パソコン操作が苦手な初心者、初めて導入される方でも安心して確実にお使いいただけます。
また図面作成時間を短縮するため「分かりやすい操作画面」「手書き感覚」「シンプルな入力方法」を採用し、基本操作さえ覚えればワンルームなら約15分、分譲マンションや戸建住居でも20〜30分程度で作図可能です。

AI作成機能を搭載

最新バージョンでは取り込んだ図面からクリックひとつで間取りを作成する、AI作成機能も装備しています。大幅な効率アップにつながります。

※回数制限あり

クラウドでの保存

無料でクラウドストレージサービスが利用できます。
パソコンへ図面データの保存と同時に、クラウドストレージ（保存領域）にも自動保存（アップロード）されるので、「他のPCからのアクセス」や「データの共有」「データのバックアップ機能」などとして利用できます。

そのためインターネットへの接続は必須となります。

汎用性のあるファイル出力

「間取りクラウド」で作成したファイルは、弊社独自のmdzx形式で保存されます。
ただし、作成した間取り図は、様々な形式で出力でき、簡単に共有、編集が可能です。

JPG： 高品質な画像形式。広く利用可能で共有が容易です。
PNG：背景透過可能な画像形式。デザインやプレゼンテーションに最適。
BMP：高解像度画像形式。詳細な情報を保持します。
EMF： Windows対応のベクトル形式。編集性に優れています。
SVG：Adobe Illustratorにて編集可能。（※）

※必ずしも動作を保証するものではありません。ご了承ください。

旧ソフトの「間取りプレミアム」で作成したファイル（esz形式）も編集可能です。

動作環境

項目	推奨環境	備考
OS	Windows® 7 Windows® 8 / 8.1 Windows® 10 Windows® 11	インストール時に、管理者権限（Administrator 権限）が必要
CPU	お使いの OS が推奨する CPU 環境以上	
メモリ	推奨 8GB以上	最小4GB以上
画面解像度	1280×768 以上	
HDD空き容量	1GB以上	
ディスプレイ設定	100%表示 推奨（※）	
インターネット接続	必須 （ソフト起動時／終了時・ライセンス認証時、クラウド保存時）	
その他	Windows 10 や 8 / 8.1 のタッチパネルによる操作は動作対象外。	

1 ダウンロード・インストール

間取りクラウドのダウンロードと、PCへのインストールについて説明します。

1-1　ダウンロード

間取りクラウドのインストーラーを、PCにダウンロードします。

1 Google等の検索で「ピーシーコネクト　ダウンロード」で検索、または以下のURLを開き、「間取りクラウドのダウンロード」をクリックします。

https://madori.jp/download/

2 自動でダウンロードがはじまります。

画面右上にダウンロードが表示されますので、以下の画面になれば完了です。

●ブラウザがMicrosoft Edgeの場合

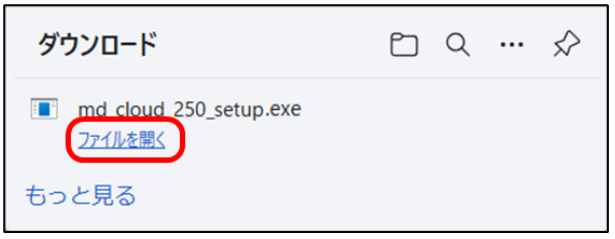
●ブラウザがGoogle Chromeの場合

1-2　インストール

ダウンロードしたインストーラーで間取りクラウドをPCにインストールします。

1 ダウンロード完了時に表示された画面右上のメッセージをクリックします。

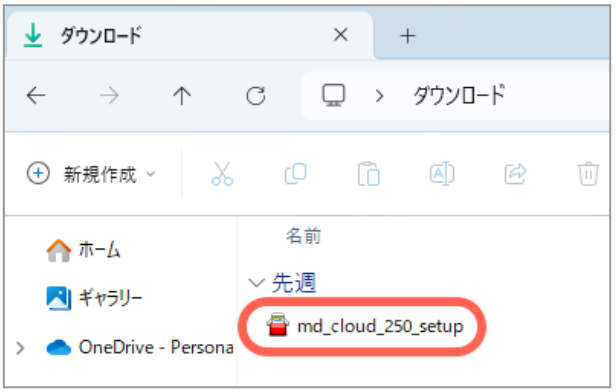
●ブラウザがMicrosoft Edgeの場合



●ブラウザがGoogle Chromeの場合

POINT!

メッセージが消えてしまった場合は、ダウンロードフォルダー内の「md_cloud_250_setup.exe」をダブルクリックします。



POINT!

インストールの際にエラーメッセージが出てしまう場合：

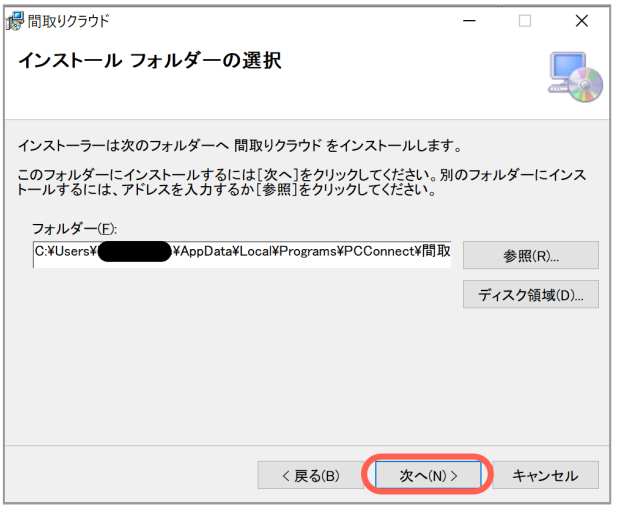
① ダウンロードフォルダー内の「md_cloud_250_setup.exe」を右クリックします。
② 表示されたメニューから「管理者として実行」をクリックします。
③ユーザーアカウント制御画面で「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」で［はい］をクリックします。

2 間取りクラウドのインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

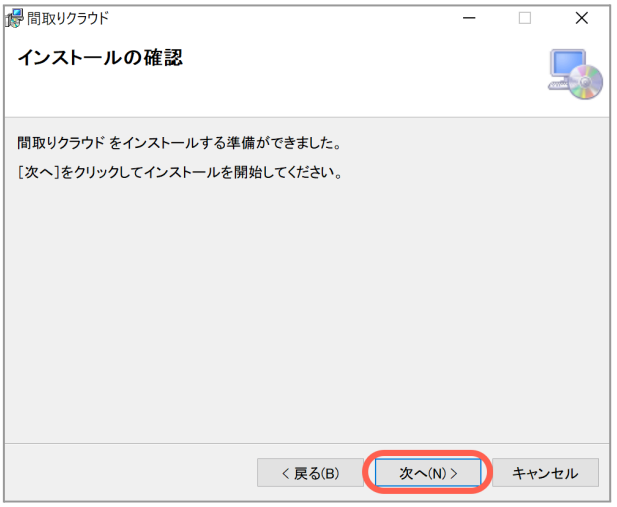
3 ソフトウェア使用許諾契約書が表示されるので、最後までお読みいただき「同意する」をクリックします。

4 「セットアップウィザードへようこそ」で「次へ」をクリックします。

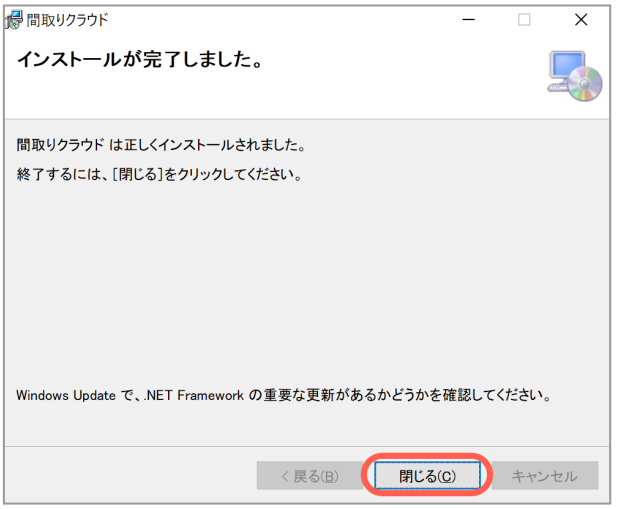
5 「インストールフォルダーを選択」で
インストール場所を、変更することなく「次へ」をクリック。



6 「インストールの確認」で「次へ」をクリックします。



7 「 インストールが完了しました。」で
「閉じる」をクリックします。



8 デスクトップに間取りクラウドのアイコンができていることを確認します。

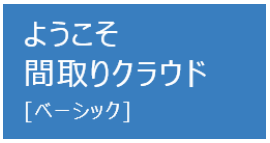
2 体験版と有料プラン

間取りクラウドでは、以下の利用プランを用意しています。
プランの変更は、ライセンスページから可能です。詳しくは、3-5 ライセンス を参照。

トライアル（体験版）：

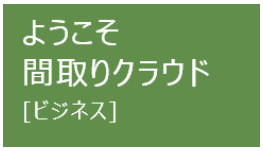
・無料
・起動：10回まで、すべての機能を利用できます。
　　11回目以降に起動した場合は、保存・印刷・画像出力が制限されます。
・AI機能：お試し可能

ベーシックプラン：



・有料
・起動台数：1つの認証IDで、何台のパソコンでも利用可能・同時起動１台。
・サポート：基本メールサポート。
・クラウドへの保存容量：50MB（約100件分）
※基本、保存はローカル保存です。
（標準 ：C:\Users\ユーザー名\Documents\間取りクラウド￥物件　｜.mdzx）
・AI利用可能回数：5回／月
※ビジネスプラン専用機能はご利用いただけません。

ビジネスプラン：



・有料
・起動台数：1つの認証IDで、何台のパソコンでも利用可能・同時起動3台。
・サポート：電話サポート、リモートサポート、メールサポート。
・クラウドへの保存容量：750MB（約1,500件分）
※基本、保存はローカル保存です。
（標準 ：C:\Users\ユーザー名\Documents\間取りクラウド￥物件　｜.mdzx）
・AI利用可能回数：30回／月
※ビジネスプラン専用機能：
①画像出力スタイル（グラデーション／スケッチ風／SVG形式）
②床の線の幅選択
③階層設定（地下3～2／地上4～10階）
④平面図上に取り込んだロゴや文字の透過
⑤下絵のトリミング

3 起動画面の説明

間取りクラウドの起動画面（ようこそ）のメニューについて説明します。

① 新規作成

新たに間取り図を作成します。詳しくは 、「3-1 新規作成」を参照。

② 開く

今までに作成し保存されている間取り図を開きます。詳しくは 、「3-2 開く」を参照。

③ 前回の続き

直前に開いていた間取り図を開きます。また、開いた間取り図の履歴を表示します。
詳しくは 、「3-3 前回の続き」 を参照。

④ クラウドサービス

データをクラウド上で保存する説明です。

⑤ サポート

各種サポートページへのリンクが掲載されています。
詳しくは 、「3-4 サポート 」を参照。

⑥ バックアップ

間取りクラウド内で個別に変更した設定をバックアップファイルにして、他のPCへエクスポートできます。
詳しくは 、「9-10 設定をバックアップしたい」を参照。

⑦ ライセンス

体験版から有料版への変更など、ライセンスの設定をします。
詳しくは 、「3-5 ライセンス 」を参照。

⑧ バージョン情報

お使いの間取りクラウドのバージョン情報が掲載されています。

3-1　新規作成

新規作成画面について説明します。
間取り図面の基本デザインをあらかじめ設定できますが、項目によっては後からでも変更可能です。

① 表示スタイル

作成する間取り図のスタイルを選択します。
選択後にアイコンにカーソルを当てると、イメージサンプルが表示されます。

スタイル名	イメージ	スタイル名	イメージ
標準		デザート	
標準（英語）		グレイ	
標準　床の線　黒		間取りプレミアム	
ポップ		ライト	
ダイナミック			

② 床の表現

床の表現方法を選択します。
・リアル
　畳の目や板目など、テクスチャでリアルに表現します。
・カラー
　単色で表現します。
・グラデーション
　タテ方向、ヨコ方向、斜め方向、中心、左上の5パターンで表現します。
　※ビジネスプラン専用機能。
・白黒

③ 壁の色

壁の色を設定します。
・黒
・白
・グレー

④ 部屋文字表現

部屋文字の表現方法を選択します。

名称	イメージ
文字縁取り	
ラベル表示	
文字のみ	

⑤ 床の線の幅

床の線の幅を設定します。
・200mm（通常）
・300mm（やや広い）
・400mm（広い）
※ビジネスプラン専用機能。

⑥ グリッド設定

作図領域のグリッド（マス目）を設定します。
ご使用になる寸法に合わせて選択してください。
・1000mm
・910mm
・900mm

⑦ 大きさの単位

部屋の大きさの単位を設定します。
・帖
・畳
・㎡

⑧ 文字サイズ

部屋文字のサイズを設定します。
・サイズ固定：標準の文字サイズで部屋名の表示を統一します。
・自動変更：部屋の大きさに合わせて、部屋名の文字サイズが自動調整されます。

⑨ 新規作成ボタン

クリックすると新たに新規作成画面が開きます。

⑩ AI新規作成ボタン

クリックするとAI作成画面が開きます。
詳しくは、「6 AI下絵変換」 参照 。

3-2　開く

開く画面について説明します。

① 物件フォルダー

ドキュメント＞間取りクラウド＞物件フォルダーの中が表示されます。
ファイルをダブルクリックすると開いて編集することができます。
また、「物件サンプル」フォルダー内には、あらかじめ弊社で用意したサンプルの間取り図が保存されています。適宜ご利用ください。

② 参照ボタン

クリックすると、PCのエクスプローラーが開きます。
間取り図ファイルが保存されている任意のフォルダーからファイルを開きます。

POINT!

「間取りプレミアム」で作成したデータ（.eszファイル）も開くことができます。
※.eszファイルが使用中のパソコンに保存されている必要があります。

3-3　前回の続き

前回の続き画面について説明します。

① 前回の続き

クリックすると、直前に保存した間取り図ファイルを開きます。

② 最近使ったファイル

最近保存した間取り図ファイルを一覧で表示します。

間取り図ファイルをクリックすると、右側にプレビューが表示されます。
また、ダブルクリックするとデータを開けます。

3-4　サポート

サポート画面について説明します。

① アップデート

間取りクラウドのアップデート情報ページを開きます。

② マニュアル

間取りクラウドのマニュアルページを開きます。
ソフトの操作方法を再確認することで問題を解決できることがあるかも知れません。ぜひお役立てください。

③ サポート

間取りクラウドのサポートへのお問い合わせページを開きます。
当社ソフトに関する質問、お問い合わせはこちらをお気軽にご利用ください。

④ リモート

リモートサービスに必要な専用ソフトのダウンロードページを開きます。同時に専用ソフト「TeamViewerQS」のダウンロードがはじまります。

POINT!

【有料】リモートサポートをご希望の方は、先に弊社までご連絡ください。
06-4256-5434（日曜日休み）

⑤ ピーシーコネクトのWebサイト

ピーシーコネクトのホームページを開きます。

⑥ 著作権違反にならない地図サービス

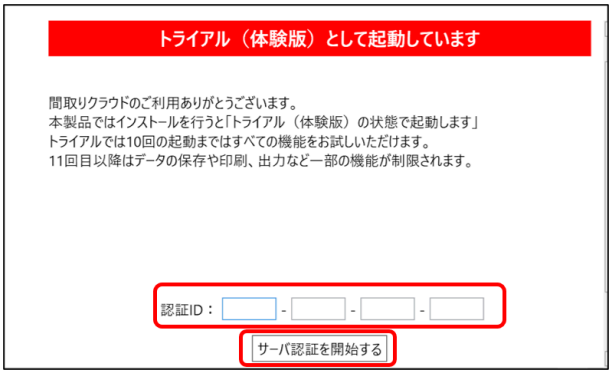
「F-map」のWebサイトを開きます。
「F-map」は、チラシ・広告やWebサイト掲載可能な著作権許諾付き地図サービスです。

3-5　ライセンス

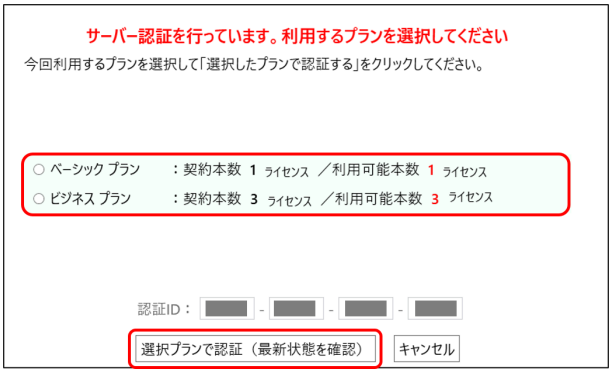
体験版から有料版への変更など、ライセンスの設定をします。

体験版から、有料版への変更の場合

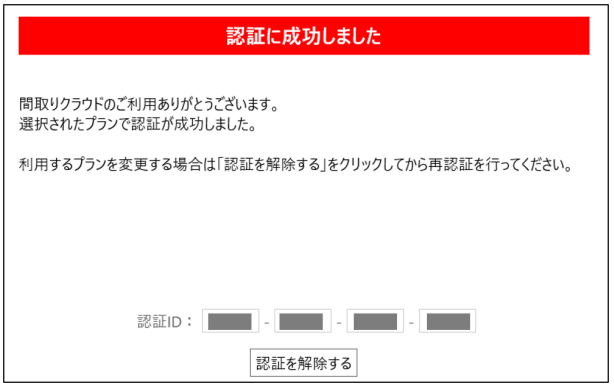
1 弊社から送付された認証IDを入力し、
「サーバ認証を開始する」をクリックします。



2 購入いただいたプランにチェックをし
「選択プランで認証」をクリックします。



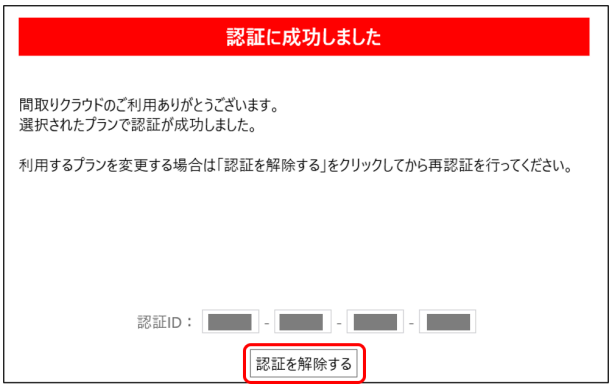
3 認証に成功し、有料版の機能が利用できます。



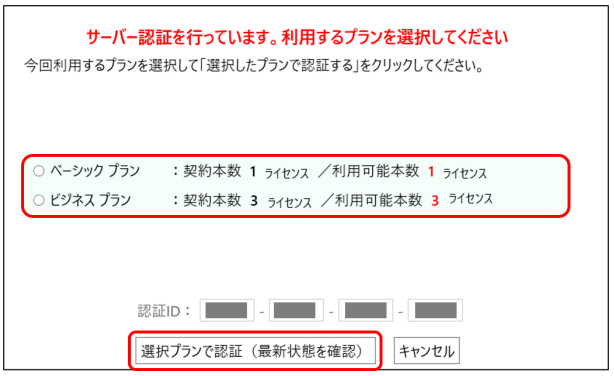
有料版のプランを変更する場合

変更するプランが未契約の場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

1 「認証を解除する」をクリックします。

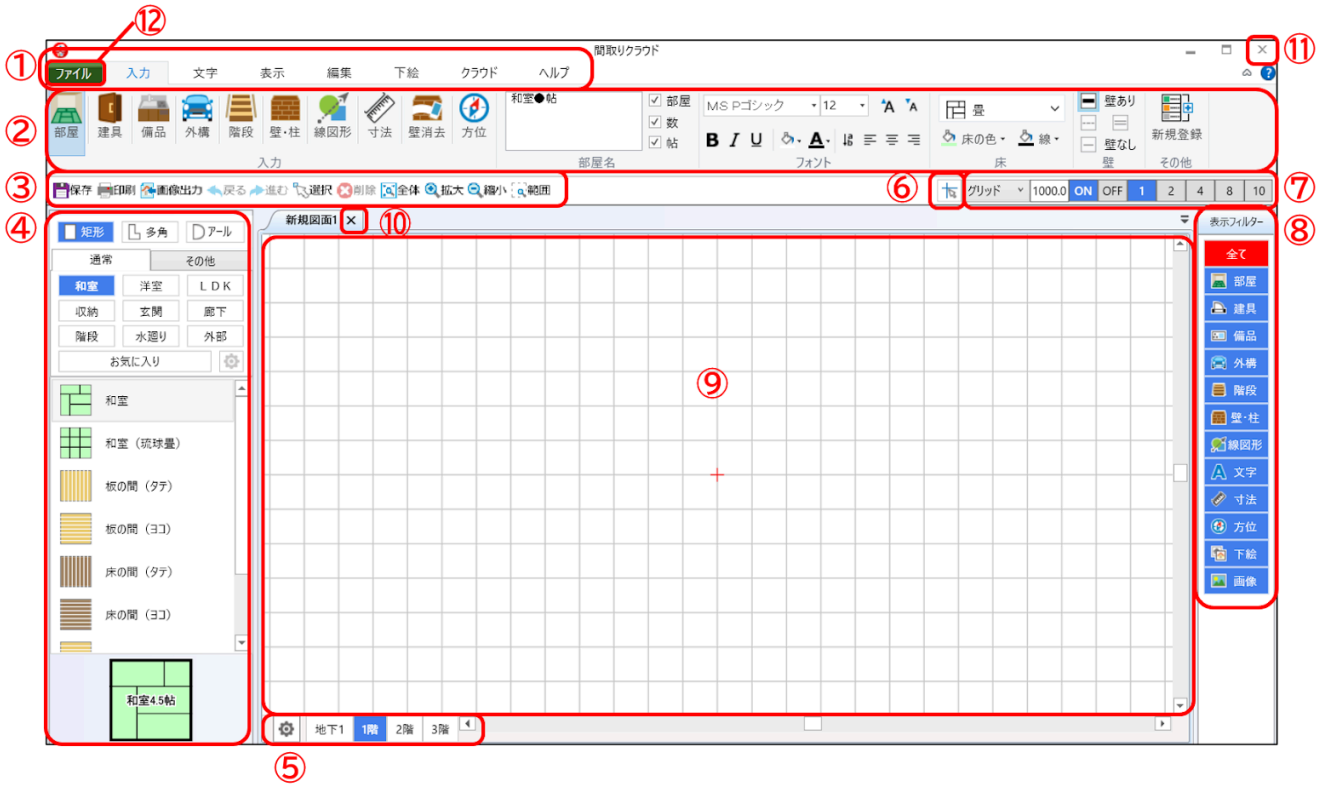


2 変更したいプランをチェックし、「選択プランで認証」をクリックします。



4 入力画面の説明

入力画面について説明します。
間取りクラウドの入力画面は、Microsoft Office製品のインターフェースに類似した設計となっており、「タブ」と「リボン」で構成されています。
このデザインは、親しみやすく直感的に操作可能であり、使いやすい環境を提供します。

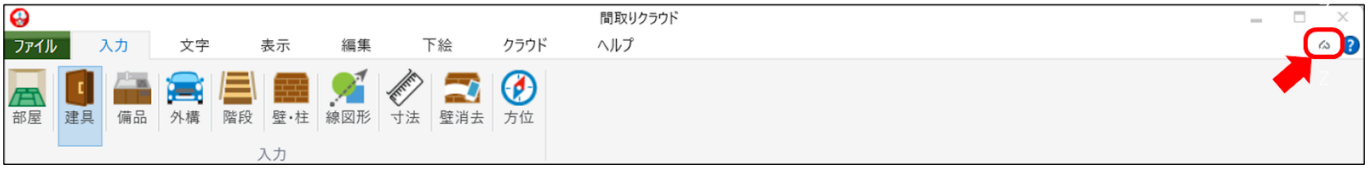


① タブ

選択したタブにより、リボンの表示内容を切り替えます。

② リボン

①で選択したタブによって異なります。詳しくは「4-1 リボンの機能説明」参照。
※ リボンは、右側の△ボタンで表示／非表示が選択できます。



③ ツールバー

保存、印刷、拡大・縮小など、よく使う便利なツールを配置しています。

POINT!

全体、拡大、縮小、範囲は表示タブのリボンからも操作できます。

番号	名称	説明
❶	保存	作成した間取り図に、ファイル名をつけて保存します。 ファイル名のある間取り図の場合は上書き保存します。
❷	印刷	作成した間取り図を印刷します。
❸	画像出力	作成した間取り図を画像として出力します。
❹	戻る	行った操作を元に戻します。10回まで可能。 1回クリックで一つ前に、2回クリックで二つ前の操作に戻ります。
❺	進む	元に戻した操作を進めます。10回まで可能。
❻	選択	選択した部屋や建具・備品などのあらゆるパーツが選択・編集状態になります。 詳しくは「9-3 入力した間取り図を修正したい」参照。
❼	削除	選択したアイテムを削除します。
❽	全体	現在入力中の間取り図を全体に表示します。 **POINT!** スクロールを大きく動かして間取り図が画面から消えてしまった場合に、中央に戻します。
❾	拡大	表示範囲を拡大します。
❿	縮小	表示範囲を縮小します。
⓫	範囲	選択した領域を拡大表示します。
⓬	下絵確認	入力した間取り図を一時的に非表示にし、下絵だけを表示します。 再度クリックで、非表示から表示に戻します。

④ 操作パネル

入力タブを選択した場合に、設定項目が表示されます。内容はリボンによって異なります。
詳しくは、「7 入力」の各項目を参照。

⑤ 階層の設定

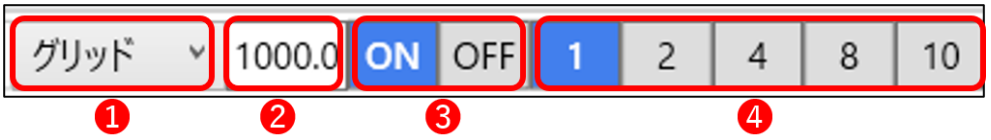
複数階の建物の間取りを、階数によって切り替えます。
設定方法は、「9-3 （7）階層の設定を変更する」を参照してください。

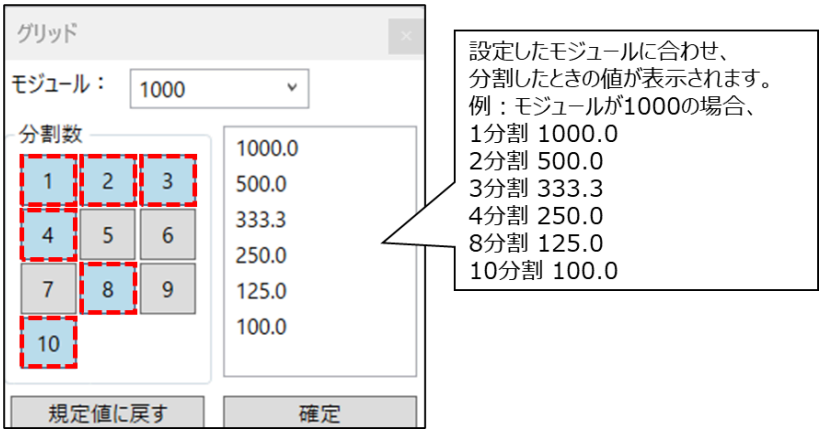
⑥ カーソル切り替え

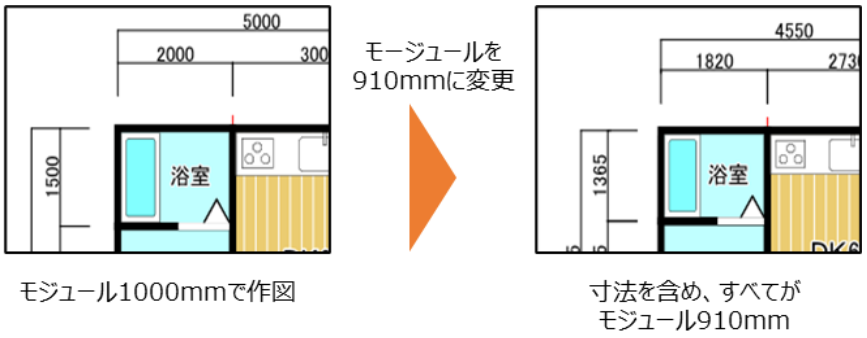
ポイントカーソルとクロスカーソルを切り替えます。
・ポイントカーソル：通常のカーソルです。
・クロスカーソル：カーソルの先端から補助線が引かれ、中心が常にグリッドの交点になります。

⑦ グリッド設定

グリッド（マス目）のモジュールや大きさを切り替えます。



番号	名称	説明
❶	グリッド選択	通常のグリッドのほか、壁に対しては以下を選択できます。 壁分割：対象の壁に指定分割数が反映され、均等に分割します。 壁相対：対象の壁にモジュール値を反映します。 詳しくは、「9-6 斜めの壁に建具を配置したい」参照。
❷	グリッド設定	クリックすると以下のウィンドウが表示されます。  モジュール： 作図領域のグリッド（マス目）を「モジュール」に合わせて選択します。 また、手入力で任意の数値を入力できます。 分割数： 1分割から10分割まで、「❹表示グリッド分割数」の表示設定ができます。 右側に分割したときの値が表示されます。

		POINT! モジュールは、作図途中でも切り替えができます。 
❸	表示／非表示	グリッドの表示／非表示（背景が真っ白な状態）を切り替えます。
❹	グリッド分割数	グリッドの分割数を表示します。

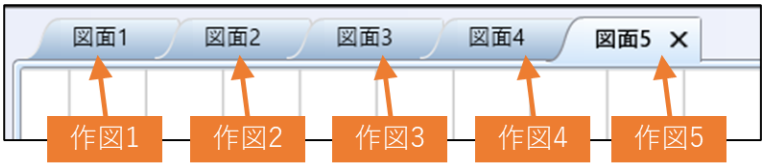
⑧ 表示フィルター

作図領域のパーツを表示／非表示にする機能です。
詳しくは、「9-5 表示フィルターの使い方を知りたい」参照。

⑨ 作図領域

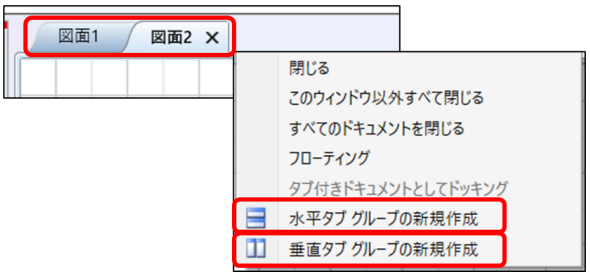
間取りを入力する領域です。作図領域に制限はありませんので、広大な土地や、大きな建物の描画も可能です。

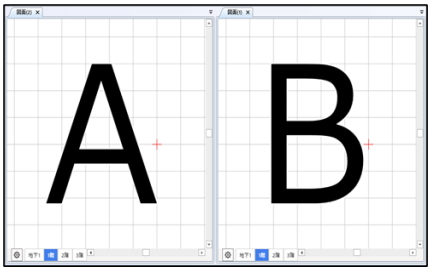
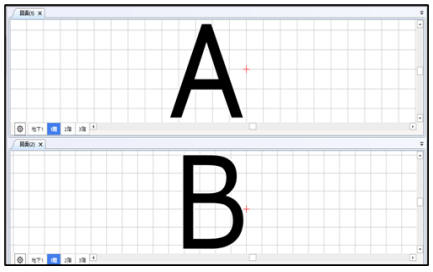
作図領域は、最大５画面まで同時に開いて作業できます。



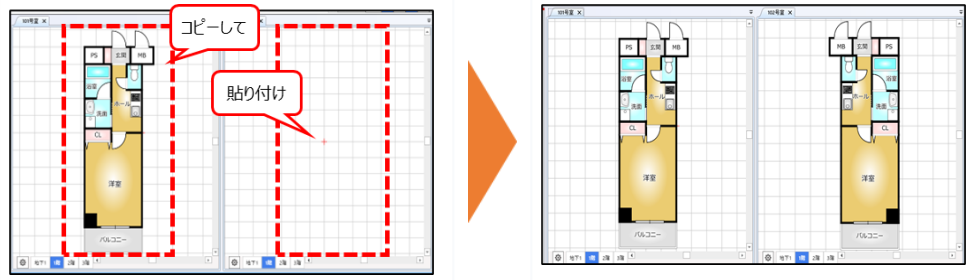
※作図状態で「ファイル」→「新規作成」または「ファイル」→「開く」の操作で、同時に複数の作図画面（ファイル）を開くことができます。
※各タブを閉じるには、タブの［×］をクリックします。

また、作図領域は並べて表示できます。
タブの上でクリック→「水平タブ グループの新規作成」または「垂直タブ グループの新規作成」のいずれかを選択します。



垂直グループ（横並び）	水平タブ グループ（縦並び）	
		並べて表示を解除するには、 タブの上でクリック→「次のタブ グループへ移動」を選択します。

作図領域間でのコピー、貼り付けも可能です。



POINT!

非常に大きな間取り図を作成し、多くの部屋・建具、備品を配置した図面を描画した場合、描画処理で多くのメモリを消費します。

⑩ 閉じる

作図領域を閉じ、起動画面に戻ります。

⑪ 閉じる

間取りクラウド全体を閉じます。

⑫ ファイルタブ

ファイルタブは他のタブと異なり、保存や印刷などのメニューと新規作成の画面に切り替わります。

番号	名称	説明
❶	戻る	入力画面に戻ります。
❷	新規	新規作成画面を表示します。 詳しくは、「3-1 新規作成」参照。
❸	開く	開く画面を表示します。 詳しくは、「3-2 開く」 参照。
❹	上書き保存	作成した間取り図を元のファイルに上書き保存します。
❺	名前を付けて保存	作成した間取り図に、ファイル名をつけて保存します。
❻	印刷	作成した間取り図を印刷します。
❼	画像出力	作成した間取り図を画像として出力します。 詳しくは、「8-2 画像出力」を参照。
❽	環境設定	文字や部屋の表示、部屋のリストなど入力する間取り図の各種設定をします。 詳しくは、「9-8 カスタマイズしたい（環境設定）」参照。
❾	終了	間取りクラウドを終了します。
❿	新規作成	新たに入力画面が開きます。 最大５画面まで、同時に開いて作業できます。

4-1　リボンの機能説明

各タブに関連するリボンの機能を説明します。

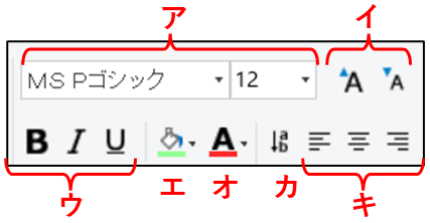
（1）入力タブのリボン

「部屋」を選択時
入力タブのリボンを使用して、あらかじめ部屋名やデザインを設定して入力できます。

POINT!

部屋名やデザインは、後からでも変更できます。
詳しくは「9-3 入力した間取り図を修正したい」参照。

番号	名称	説明	
❶	入力	クリックすると、間取り図に必要な各種パーツを入力できます。 詳しくは、「7 入力」参照。	
❷	部屋名	部屋名テキストボックス	部屋名を自由に設定できます。 リッチテキスト形式を採用しており、❸のフォント機能を利用して一文字ごとにフォント、サイズ、色の設定が可能。
		部屋・数・帖	和室やDKなどの入力時に、入力と同時に部屋名・帖数・帖が自動で表示されます。 (部屋名テキストボックス内の「●」は帖数の自動計算です) チェックを外すと非表示になります。 例：洋室・4.5・帖

<table>
<tr><td>❸</td><td>フォント</td><td> 

<table>
<tr><td>ア</td><td>フォントの種類・サイズを設定。サイズは最大72ポイント、最小2ポイントまで可能。</td></tr>
<tr><td>イ</td><td>ワンクリックで文字の大きさを変更可能。</td></tr>
<tr><td>ウ</td><td>文字のスタイル装飾。太字、斜体、下線。</td></tr>
<tr><td>エ</td><td>部屋文字表現で「文字の縁取り」「ラベル」を選択している場合、カラーパレットから色を選択することで、文字の背景に色が反映。</td></tr>
<tr><td>オ</td><td>文字の色をカラーパレットから選択。</td></tr>
<tr><td>カ</td><td>縦書きに設定。</td></tr>
<tr><td>キ</td><td>文字の揃え。左揃え、中央揃え、右揃え。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>❹</td><td>床</td><td>

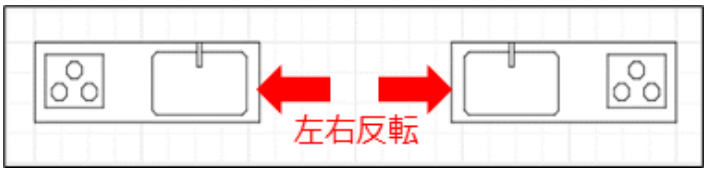
<table>
<tr><td>ア</td><td>床のパターンを設定。10 パターン（なし、ヨコ、タテ、格子、右斜め、左斜め、斜め格子、畳、琉球畳、右巴）</td></tr>
<tr><td>イ</td><td>床の色をカラーパレットから選択。
※スライダーで色の濃淡も自由調整できます。
</td></tr>
<tr><td>ウ</td><td>床パターンの線の色をカラーパレットから選択。</td></tr>
<tr><td>エ</td><td>リアルなテクスチャーの有効／無効を設定します。
※有効／無効を活用することで、床模様表現の混在表現が可能です。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>❺</td><td>壁</td><td>壁あり、点線、二重線、壁なしから選択。</td></tr>
<tr><td>❻</td><td>新規登録</td><td>❶～❺で設定した部屋をパーツリストに登録します。
詳しくは「9-1 新たな部屋を部屋リストに追加したい」を参照。</td></tr>
</table>

「備品」を選択時

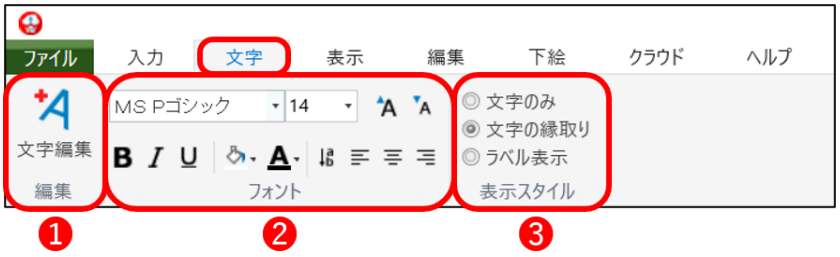
備品を配置するときに、サイズや基準点の変更などができます。

POINT!

サイズや基準点などは、後からでも変更できます。

番号	名称	説明
❶	サイズ	横・縦の入力欄に数値を入れ、配置する備品のサイズを設定します。 「縦横比固定」をチェックすると、横・縦のサイズが固定されます。
❷	配置	「左右反転」をチェックすると、左右に反転します。 
		「備品管理」については、「9-9 カスタマイズしたい（備品）」参照。
❸	基準点	基準点の位置を変更します。 基準点とは、点がある辺を壁の厚みに応じて自動で吸着させる基準となる点です。 また、基準点を中心に備品を回転したり、サイズ変更の際の基準となります。

（2）文字タブのリボン



番号	名称	説明
❶	編集	クリックすると「❷フォント」と「❸表示スタイル」が展開し、作図領域に自由に文字が入力できるようになります。 詳細については、「9-4 文字の編集」を参照。
❷	フォント	「4-1（1）入力タブのリボン」の「❸フォント」を参照。
❸	表示スタイル	文字の表示スタイルを設定します。

（3）表示タブのリボン

番号	名称	説明	
❶	表示	全体	現在入力中の間取り図を全体に表示します。 POINT! スクロールを大きく動かして間取り図が画面から消えてしまった場合に、「全体」クリックすることで中央に戻します。
		拡大	表示範囲を拡大します。
		縮小	表示範囲を縮小します。
		範囲	選択した領域を拡大表示します。
❷	表示切替	自動寸法表示	クリックすると、グリッドに合わせて自動で寸法を表示します。 寸法（数値）の編集や位置の変更はできません。 再度クリックで非表示にします。
		下絵表示	クリックすると、一時的に下絵が非表示になります。 再度クリックで表示します。
❸	表示スタイル	スタイル	リアル、カラー、白黒、グラデーションで表示を切り替えます。 グラデーションは「方向」でよこ、たて、斜めなど設定可能。 ※グラデーションはビジネスプラン専用機能
		線の間隔	床の線の幅を設定します。200mm（通常）、300mm（やや広い）、400mm（広い）※ビジネスプラン専用機能
		壁の色	部屋の壁の色を設定します。標準（黒）、グレー、白抜き
❹	部屋名表示	部屋文字の表現方法を選択します。文字のみ、文字の縁取り、ラベル表示	

（4）編集タブのリボン

番号	名称	説明	
❶	編集と選択	戻る	行った操作を元に戻します。10回まで可能。
		進む	元に戻した操作を進めます。10回まで可能。
		選択	選択したパーツが編集状態になります。

			詳しくは「9-3 入力した間取り図を修正したい」参照。
		全て選択	すべてが選択されます。 （削除・コピー・移動や反転などの操作は行えます。）
		削除	選択したパーツを削除します。
		画像コピー	作図画面に表示されている全てを画像としてコピーし、WordやExcelなどに貼り付けができます。
		複製	選択したパーツを複製します。
		コピー	選択したパーツをコピーします。
		貼り付け	コピーしたパーツを貼り付けます。
❷	移動	階層コピー	コピーしたい階層を選択し貼り付けることで、全ての階を1つの階にまとめることができます。その際、コピー位置も選択できます。 同位置、上、下、左、右
		全階層回転	すべての階層を回転します。 回転角度は、1 度ごとに設定可能です。
		ポイント移動	部屋などのポイントを範囲選択して、右クリックで移動できます。
❸	挿入	間取りクラウド以外から、画像を挿入します。 POINT! 挿入した画像を、濃淡スライダーで半透明の「透かし」にできます。 ※ビジネスプラン専用機能	

（5）下絵タブのリボン

詳しくは「5-1 下絵の取り込み」「5-2 下絵の調整」を参照。

（6）クラウドタブのリボン

番号	名称	説明	
❶	クラウドサービス	切断	クリックするとクラウドサービスを切断します。 再度クリックで接続します。
		ストレージへ	クラウドストレージを開きます。 クラウドストレージに保存された間取り図を確認・ダウンロードが行えます。
		使用状態	クラウドサービスの使用状態（%）を表示します。
		ユーザー名変更	クラウド保存時に表示される利用者名を変更できます。
❷	クラウドへの保存	「自動アップロード」または「常に確認」を選択します。	

（7）ヘルプタブのリボン

番号	名称	説明	
❶	ユーザーページ	間取りクラウドの購入ページへジャンプします。	
❷	ヘルプ	マニュアル	マニュアルページにジャンプします。
		サポート	お問い合わせページにジャンプします。
		リモート	リモートツール（TeamViewer）ダウンロードページにジャンプします。
		Webサイト	弊社のHPにジャンプします。
❸	設定	「環境設定」が表示されます。 詳しくは「9-8 カスタマイズしたい（環境設定）」を参照。	
❹	バージョン	お使いの間取りクラウドのバージョンが表示されています。	

5 下絵

間取りクラウドではあらかじめPCに間取りの画像ファイルを保存し、それを取り込んで下絵として利用できます。
下絵をなぞって部屋を作図することができる便利な機能です。

下絵として取り込める画像のファイル形式は、次のとおりです。
・JPEG形式(.jpg、.jpeg)
・PNG形式(.png)
・ビットマップ(.bmp)
・GIF形式(.gif)
・TIFF形式(.tif、.tiff)
・ SVG形式(.svg）

PDFファイルは取り込めません。
手書きで作成した下絵をスキャンして取り込む場合などは、ご注意ください。

5-1　下絵の取り込み

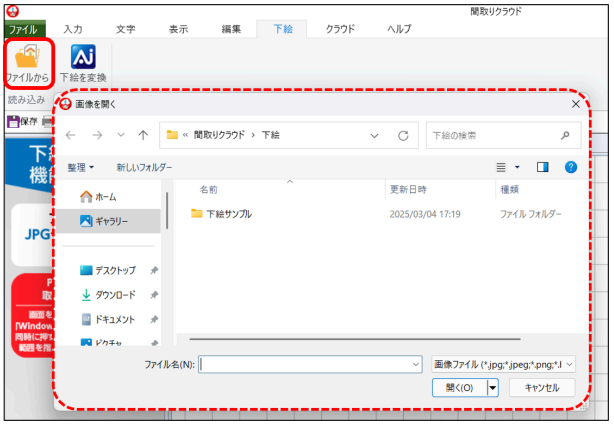
下絵の取り込み手順を説明します。

1 間取りクラウドの入力画面で、「下絵タブ」をクリックします。

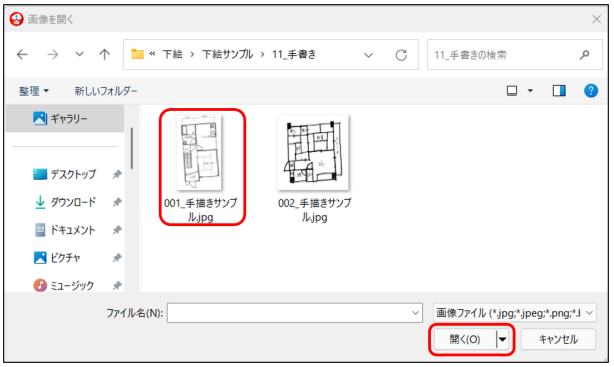
2 「ファイルから」をクリックすると、「画像を開く」ウィンドウが開きます。

POINT!

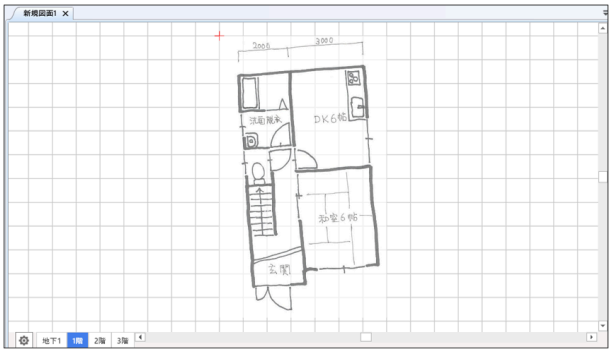
デフォルトでは、あらかじめ弊社で用意した下絵サンプルが表示されます。適宜ご利用ください。



3 下絵が保存されている任意のフォルダーからファイルを選択し、「開く」をクリックします。



4 入力画面に下絵が配置されます。



5-2　下絵の調整

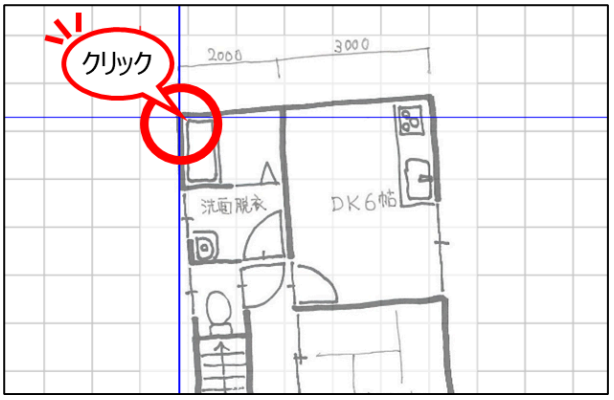
リボンの機能を使用して、取り込んだ下絵の角度やサイズ、濃淡を調整します。

角度の調整

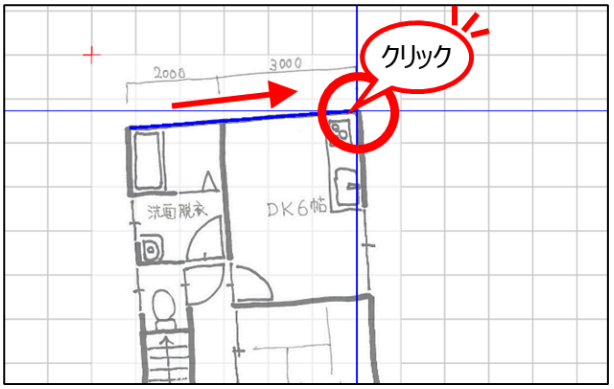
取り込んだ下絵を水平に調整します。

1　「角度」をクリックします。

2　カーソルが十字線つきに変わるので、水平にしたい壁の左端をクリックします。



3　次に、水平にしたい壁の右端をクリックします。

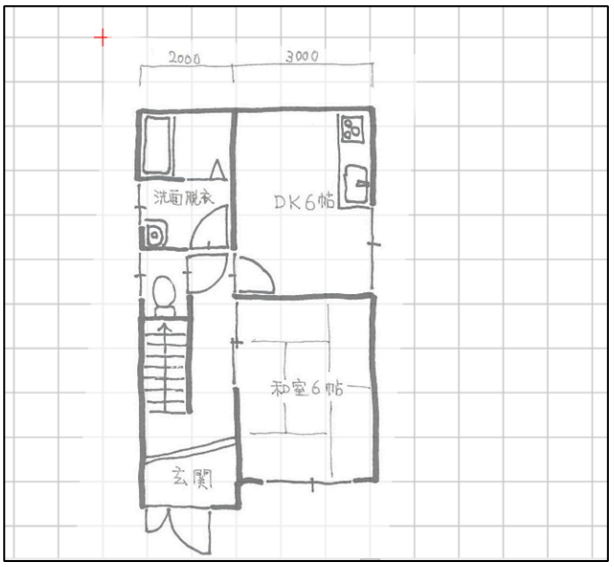


POINT!

斜めになっている壁づたいにマウスを移動してください。

4 自動で、選択した部分が水平になります。

再度、リボンの「角度」（アイコン）をクリックするとカーソルは元に戻ります。

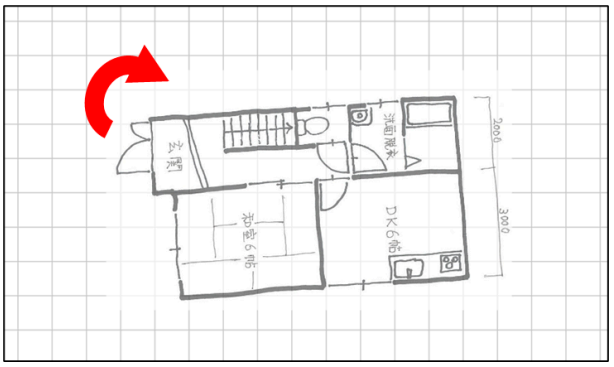


下絵の回転

横向きや逆さまに取り込まれた下絵を正しい向きにします。

1 「回転」をクリックします。

2 「回転」をクリックするごとに、下絵が右に90度ずつ回転します。

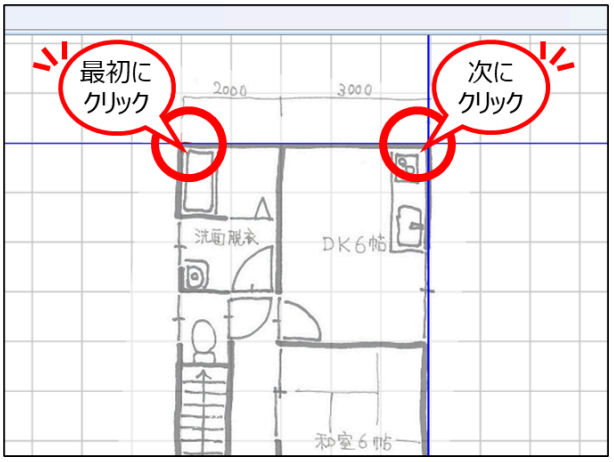


サイズの基準設定

作図する上で、基準となるサイズを1点設定します。

1 「サイズ」をクリックします。

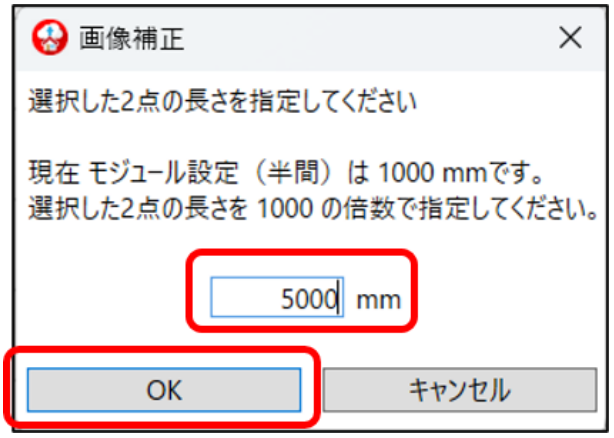
2 カーソルが十字線つきに変わるので、サイズを指定する任意の一点（始点）と長さを設定するもう一点（終点）を順番にクリックします。



POINT!

寸法線の表示されていない下絵をご利用の場合は、6帖や4.5帖の部屋でサイズを変更していただくとスムーズに作成できます。

3 画像補正ウィンドウが表示されるので、基準とする一辺のサイズを入力し、OKをクリックします。



POINT!

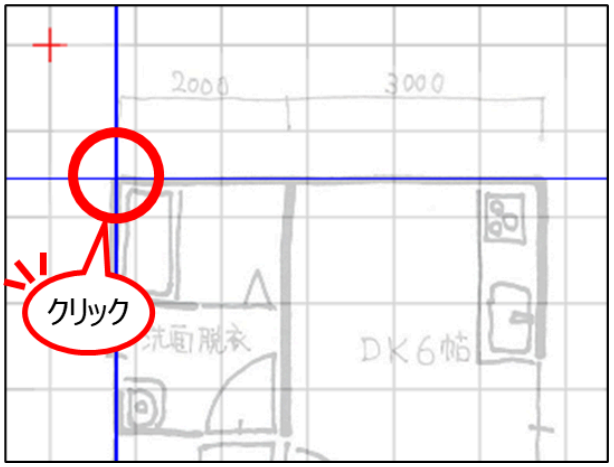
サイズは、グリッドのモジュール設定の倍数で指定してください。

基準点の設定

基準点を設定することで、グリッドに沿った間取りが入力できます。
基準点が正しい位置にないと、下絵の壁の位置とグリッドの位置がずれている状態になり、作図するのが困難になります。

1 「基準点」をクリックします。

2 カーソルが十字線つきに変わるので、基準点としたい場所でクリックします。



POINT!

縦の壁と横の壁が交差する、なおかつ間取り図の中心に基準点を設定することをオススメします。

3 下絵が基準点に合致するように移動します。

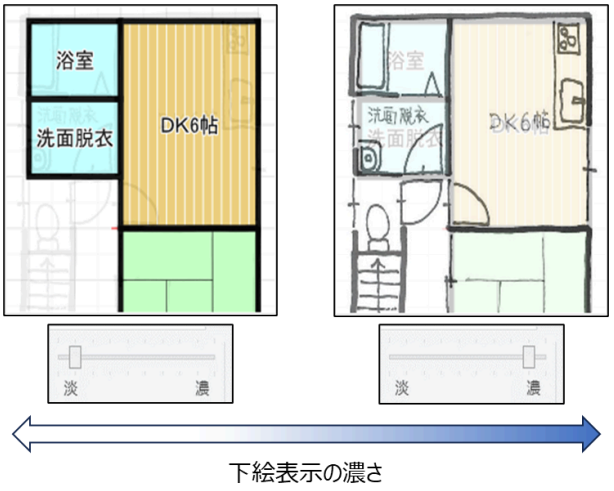
下絵の濃淡

下絵の濃淡を調整します。

1 「表示の濃さ」のスライダーを左右に動かします。
左（淡）に動かすと下絵が薄くなり、右（濃）に動かすと下絵が濃くなります。

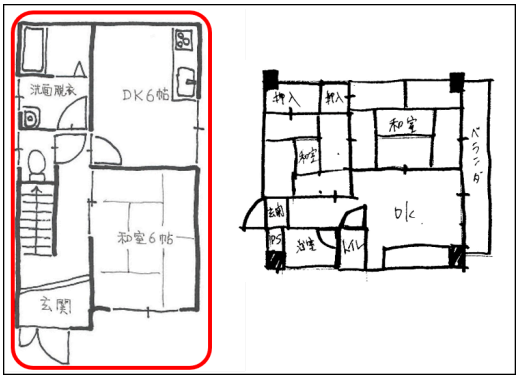
POINT!

下絵の濃淡は、10 段階で調整できます。



下絵のトリミング

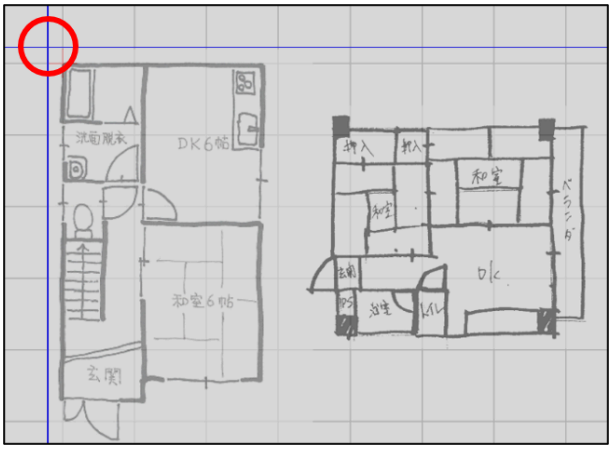
トリミングとは、下絵の一部を切り取って、不要な部分をカットすることです。
例として、以下の下絵の赤枠以外をトリミング機能でカットします。



※ビジネスプラン専用機能。

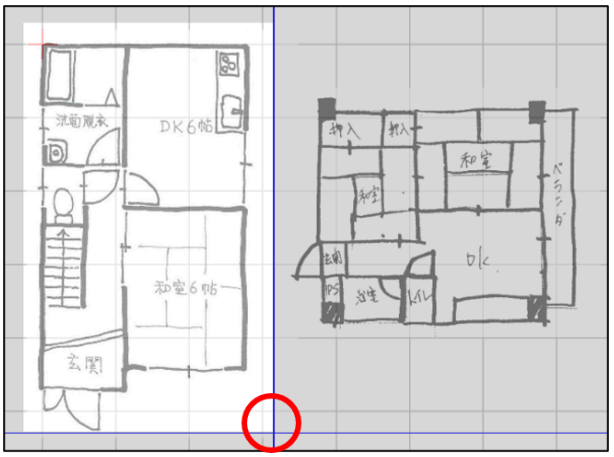
1 「トリミング」をクリックします。

2 画面にグレーのハイライトがかかり、カーソルが十字線つきに変わります。
切り取りたい領域の角をクリックします。

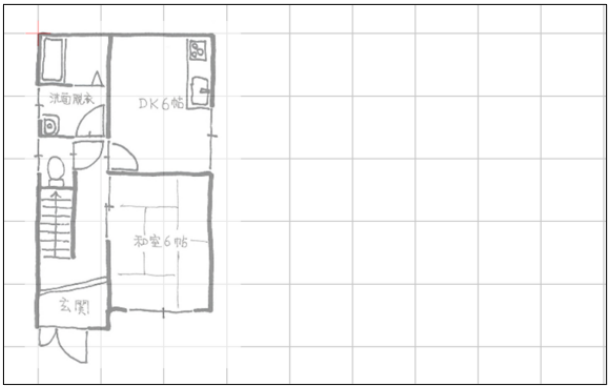


3 対角線上の角をクリックします。

カーソルを動かすと切り抜きたい部分だけ、グレーのハイライトがなくなります。



4 不要な部分がカットされました。



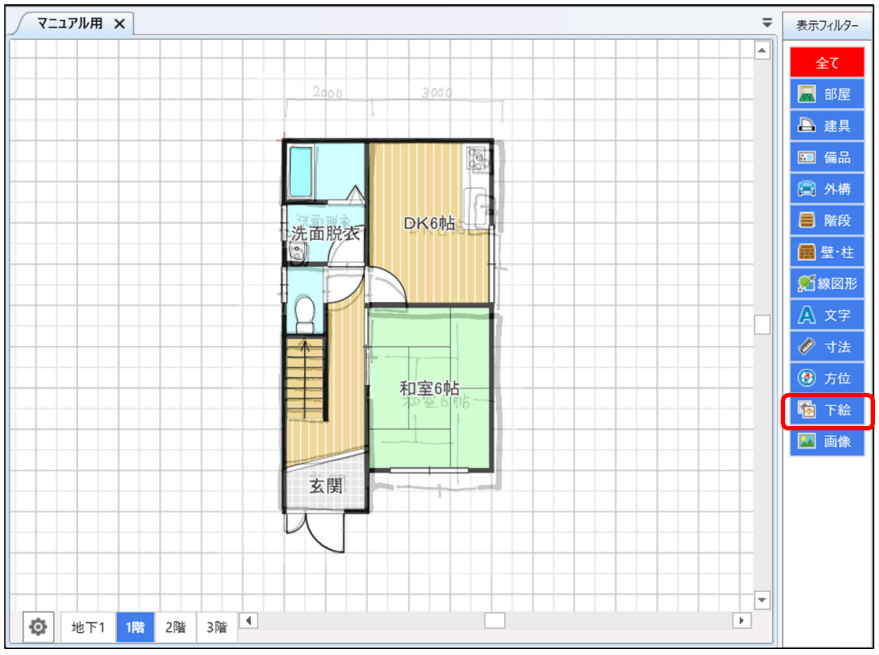
5-3　下絵を非表示にする

下絵を一時的に非表示にして、全体を確認できます。

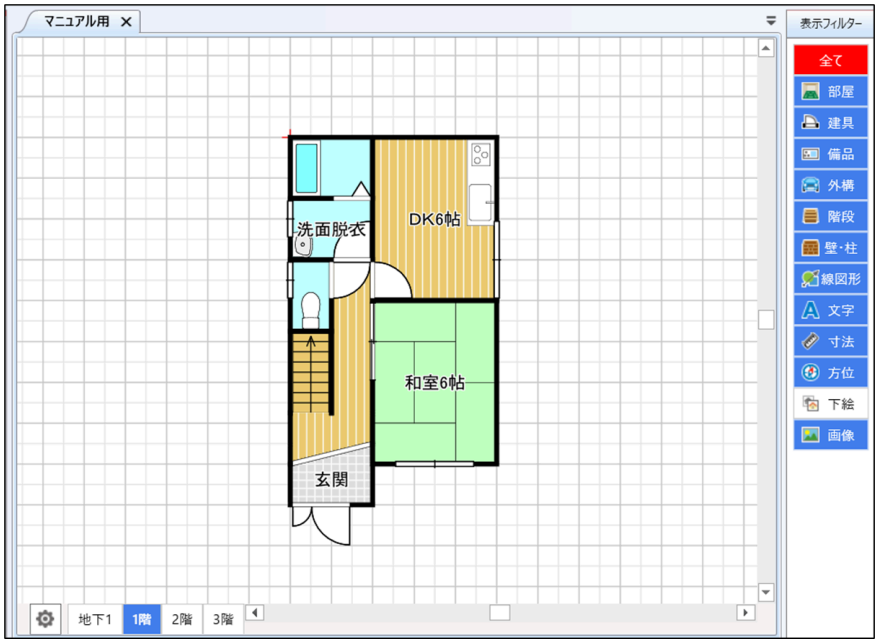
POINT!

画像出力時には必ず表示フィルターの「下絵」をオフにします。
※「下絵」がオンの状態で画像出力すると、下絵まで画像出力されてしまいます。

1 作図領域の右にある「表示フィルター」の「下絵」をクリックします。



2 下絵が表示されなくなります。
再度、表示フィルターの「下絵」をクリックすると、元に戻ります。



5-4　下絵を削除する

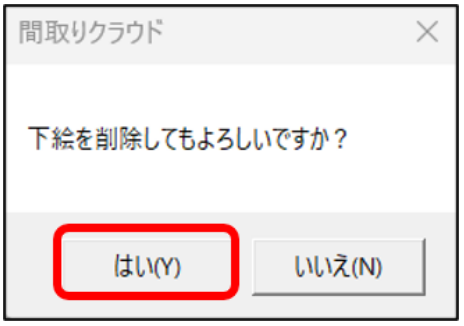
下絵を削除します。

POINT!

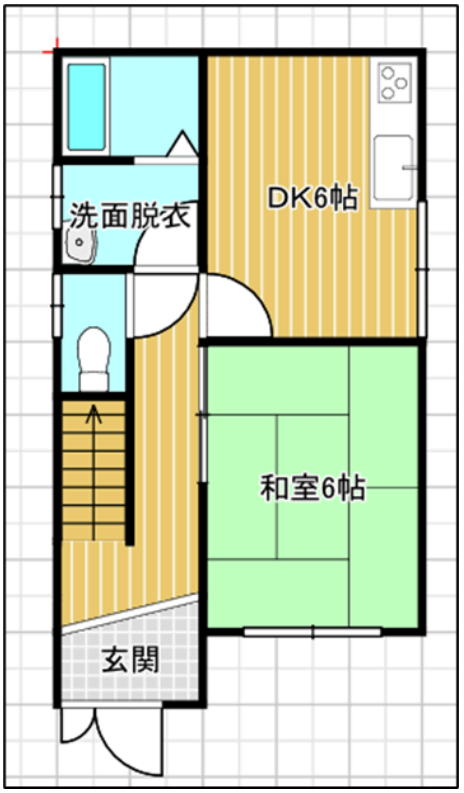
下絵を削除して保存すると、次回開いたときに下絵を復元できません。
間取り入力が完全に終わるまで、下絵は削除しないことをお勧めします。

1　「下絵の削除」をクリックします。

2　確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックします。



3　下絵が削除されます。



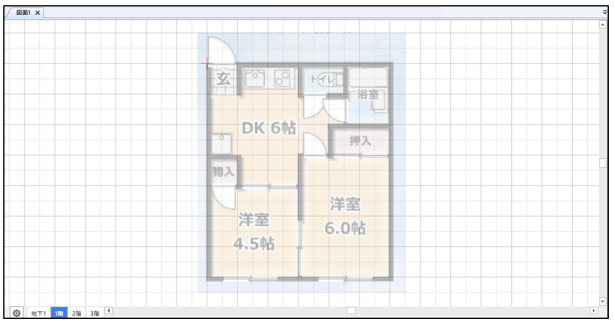
6 AI 下絵変換

最新バージョンでは最新技術を駆使して、取り込んだ下絵をもとに、AIが間取り図を自動入力する機能を搭載しました。
従来の複雑な操作や時間のかかる作業が不要になり、作図の効率が飛躍的に向上します。

※AI下絵変換には、回数制限があります。
　ベーシックプラン：5回／月
　ビジネスプラン　：30回／月

1 「5-1 下絵の取り込み」を参照し、下絵を取り込みます。

角度調整などが必要な場合は、「5-2 下絵の調整」を参照し、調整します。



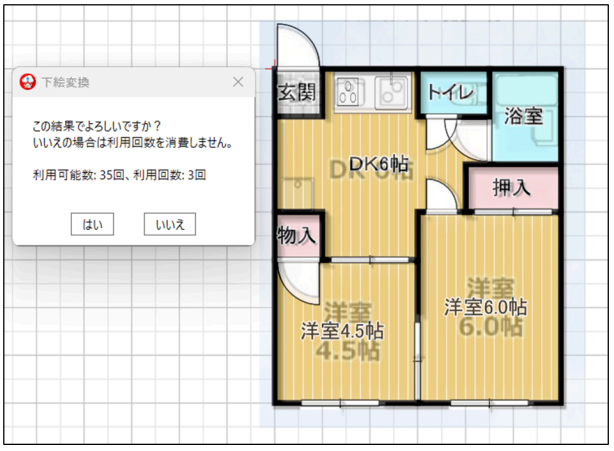
POINT!

認識精度の向上にサイズ補正が有効です。

2 下絵タブのリボンから、「下絵を変換」をクリックします。

3 AIが下絵を元に間取り図を入力します。

結果確認のメッセージが表示されるので、「はい」または「いいえ」をクリックします。

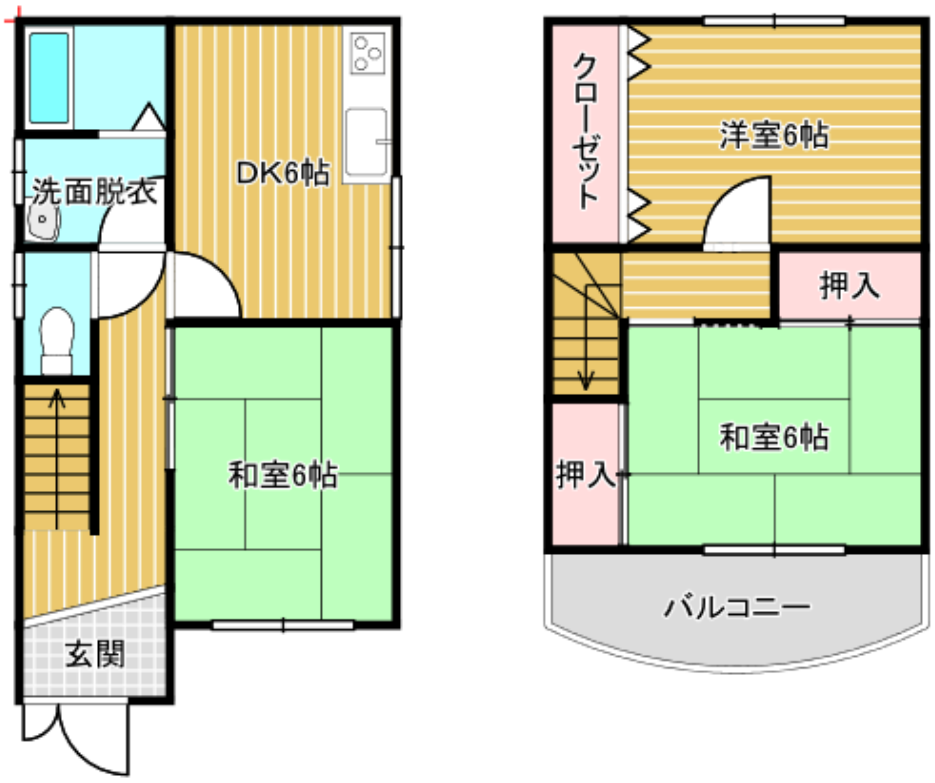


POINT!

結果確認メッセージで「いいえ」をクリックした場合、間取り図は破棄され、回数はカウントされません。

7 入力

ここでは、5章で取り込んだ下絵をもとに、以下の間取りを作成する手順を説明します。



POINT!

新規作成時の設定は、すべてデフォルトのままです。

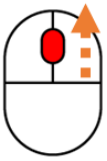
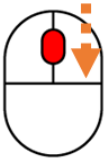
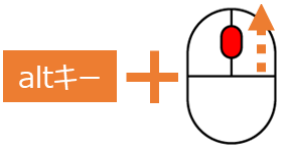
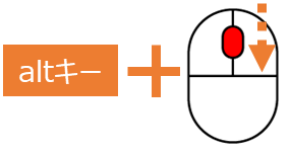
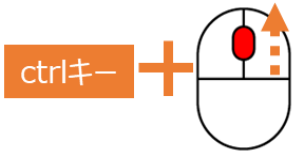
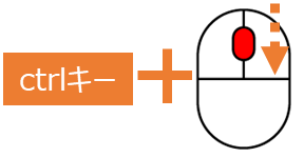
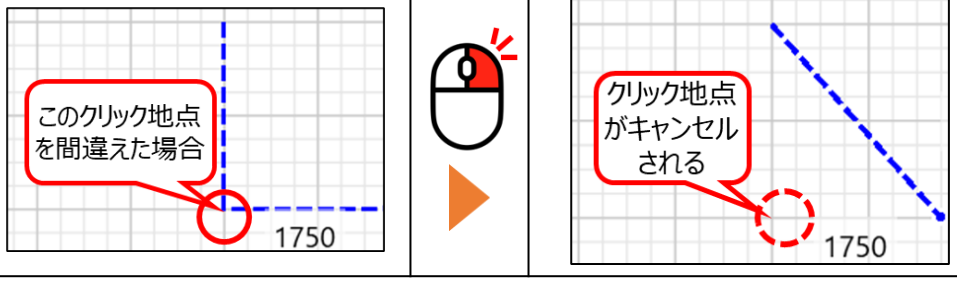
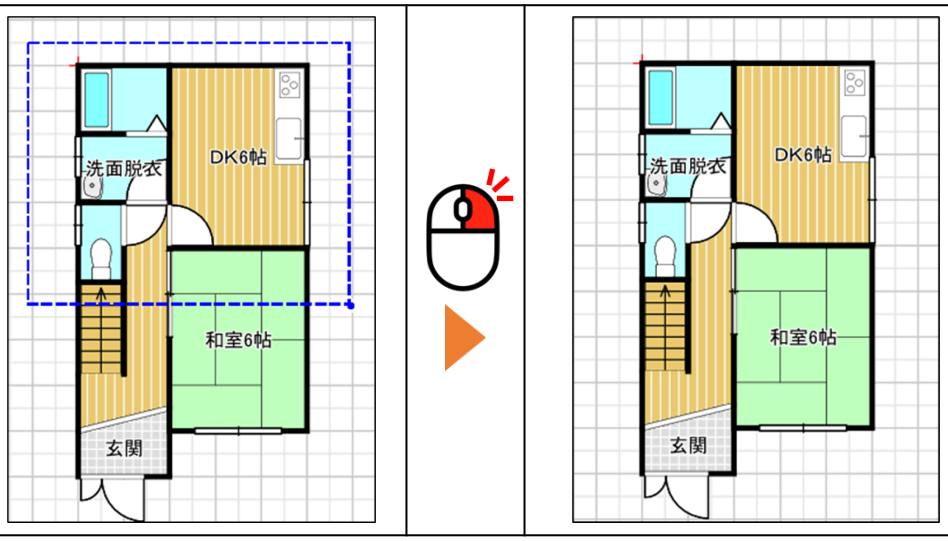
便利なショートカットキー・マウス操作

間取り図を入力する際の作業効率を向上させるショートカットキーやマウス操作のガイドです。

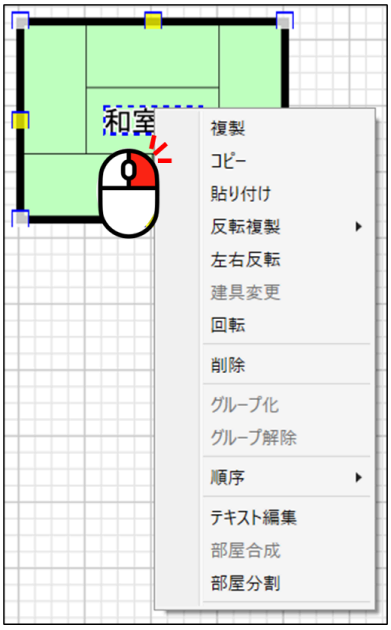
ショートカットキー

キー操作	説明
［ctrl］＋［N］キー	新規の作図領域を開きます。
［ctrl］＋［O］キー	図面ファイルを開くため、エクスプローラーを立ち上げます。
［ctrl］＋［S］キー	上書き保存します。
［ctrl］＋［C］キー	選択しているパーツをコピーします。
［ctrl］＋［V］キー	選択しているパーツを貼り付けます。
［ctrl］＋［A］キー	作図領域のすべてのパーツを選択します。
［ctrl］＋［Z］キー	行った操作を元に戻します。
［ctrl］＋［Y］キー	元に戻した操作を進めます。
［ctrl］＋［Q］キー	画像出力画面を開きます。
［ctrl］＋［G］キー	選択しているパーツをグループ化します。
［ctrl］＋［U］キー	グループ化を解除します。
［ctrl］＋［H］キー	グリッドの表示／非表示を切り替えます。
［ctrl］＋［Space］キー	グリッドの分割数を小さくします。（粗くします）
［Space］キー	グリッドの分割数を大きくします。（細かくします）
［F1］キー	ヘルプタブを開きます。
［Delete］キー または［Del］キー	選択しているパーツを削除します。

マウス操作

<table>
<tr><th>キー操作</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="3">マウスホイール回転</td><td colspan="2">作図画面でホイールを回転させると、画面が上下移動します。</td></tr>
<tr><td>ホイールを前に回す：上に移動</td><td>ホイールを後ろに回す：下に移動</td></tr>
<tr><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td rowspan="3">［alt］キー
＋マウスホイール
回転</td><td colspan="2">作図画面でホイールを回転させると、画面が左右移動します。</td></tr>
<tr><td>ホイールを前に回す：左に移動</td><td>ホイールを後ろに回す：右に移動</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td rowspan="3">［ctrl］キー
＋マウスホイール
回転</td><td colspan="2">作図画面でホイールを回転させると、画面が拡大／縮小します。</td></tr>
<tr><td>ホイールを前に回す：拡大</td><td>ホイールを後ろに回す：縮小</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td rowspan="4">右クリック</td><td colspan="2">・入力の際、クリック地点を間違えた場合にキャンセルします。</td></tr>
<tr><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td colspan="2">・選択モードで範囲指定中、範囲指定をキャンセルします。
（範囲指定の確定前のみ）</td></tr>
<tr><td colspan="2"> 
</td></tr>
</table>

・パーツを選択中、以下の操作メニューを表示します。



複製	選択した間取り図やパーツを複製します。
コピー	選択した間取り図やパーツをコピーします。
貼り付け	選択した間取り図やパーツを貼り付けます（ペースト）。
反転複製	選択した間取り図やパーツを反転して複製。反転方法（上/下/左/右）を選択します。
左右反転	選択した間取り図やパーツを左右反転します。 但し、複数選択では左右反転はできません。
建具変更	選択した建具を変更します。
回転	選択した間取り図やパーツが回転します。回転角度は、1 度ごとに設定可能です。
削除	選択した間取り図やパーツを削除します。
グループ化	選択した間取り図やパーツをグループにします。
グループ解除	選択した間取り図やパーツのグループを解除します。
順序	選択した間取り図やパーツが重なっている場合、重なりの順序を設定する。
テキスト編集	選択した部屋名や文字を編集します。
部屋合成	複数の部屋を選択し、選択した一方の部屋に合成しひとつの部屋にできます。 詳しくは、「9-3 （9）部屋を合成・分割する」参照。
部屋分割	選択した部屋をふたつに分割できます。 詳しくは、「9-3 （9）部屋を合成・分割する」参照。

7-1　部屋入力

操作パネルの説明

① 形状切替

入力する部屋の形状により選択します。

・短形（くけい）

正方形もしくは、長方形の部屋を入力する場合に選択します。

・多角

L字廊下など、部屋の形を自由に入力する場合に選択します。

・アール

バルコニーなど弧を描く場合に選択します。

② カテゴリータブ

通常／その他から選択します。

・通常

一般的な間取りで使用するカテゴリーが表示されます。

・その他

土地や事業用など、住居とは異なるカテゴリーが表示されます。

③ 部屋カテゴリー

②で選択したタブのカテゴリーが表示されます。
通常タブのカテゴリーは通常タブとその他タブで15種類ご用意しています。

④ お気に入り

よく使う部屋パーツをすぐ使えるように登録します。
登録方法は、「9-2 よく使う部屋パーツをお気に入りに登録したい」参照。

⑤ 部屋リスト

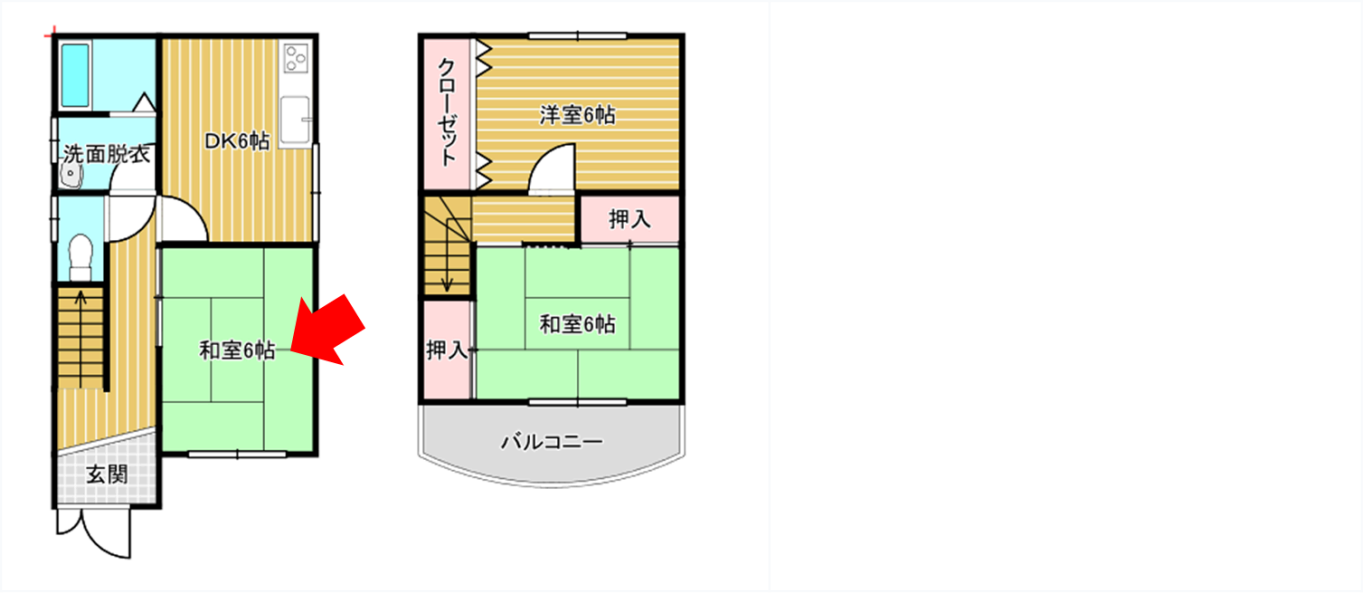
③で選択したカテゴリーに含まれる部屋リストを表示します。
すべてのカテゴリーで、全150種類の部屋パーツをご用意しています。

⑥ プレビュー

⑤で選択した部屋パーツのプレビューを表示します。

（1）和室を入力する

最初に、1階の和室6帖を入力する手順を説明します。

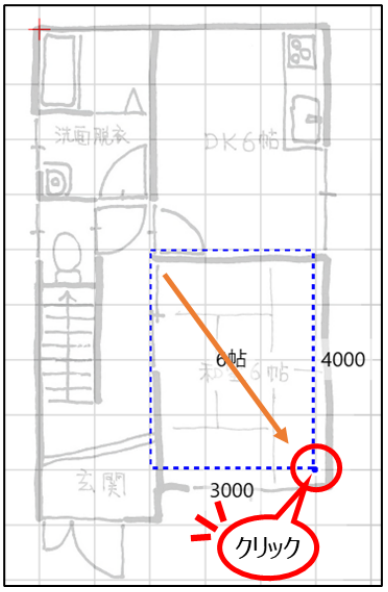


1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「部屋」をクリックします。

2 操作パネルのカテゴリーで「和室」を選択し、部屋リストから「和室」を選択します。

3 下絵を確認しながら、和室を書き出す角をクリックします。

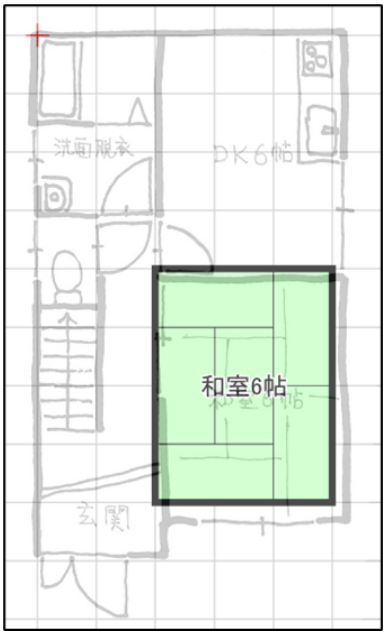
4 下絵を確認しながら、対角線上の角をクリックします。



POINT!

カーソルに合わせて青いガイドラインが引かれます。
ドラッグではなく、順番にクリックします。

5 和室が入力されました。

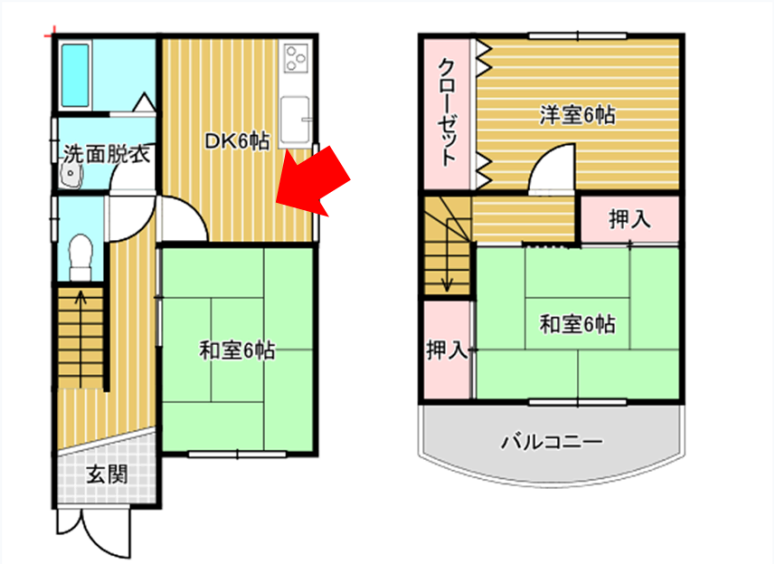


POINT!

畳の線は、10帖まで表示されます。

（2）DKを入力する

次に、1階のDK6帖を入力する手順を説明します。

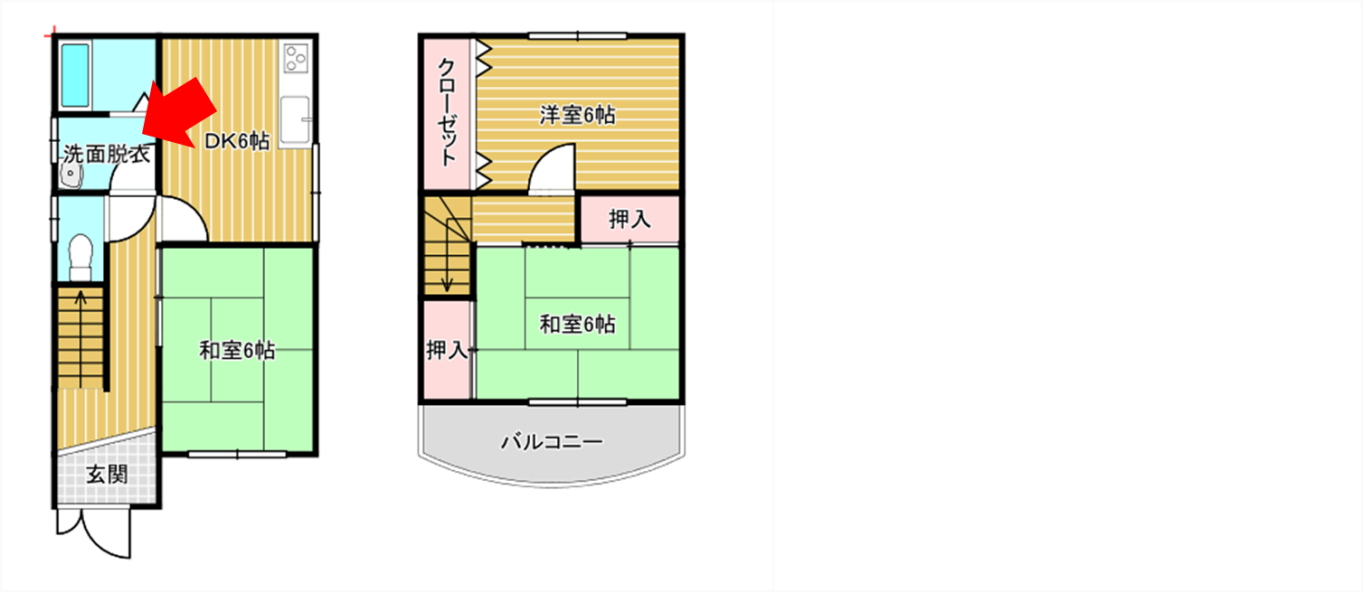


1 操作パネルのカテゴリーで「LDK」を選択し、部屋リストから「DK（タテ）」を選択します。

2 「（1）和室を入力する」の手順3,4と同様に、下絵を確認しながら書き出す角と、対角線上の角を順番にクリックし、DK6帖を入力します。

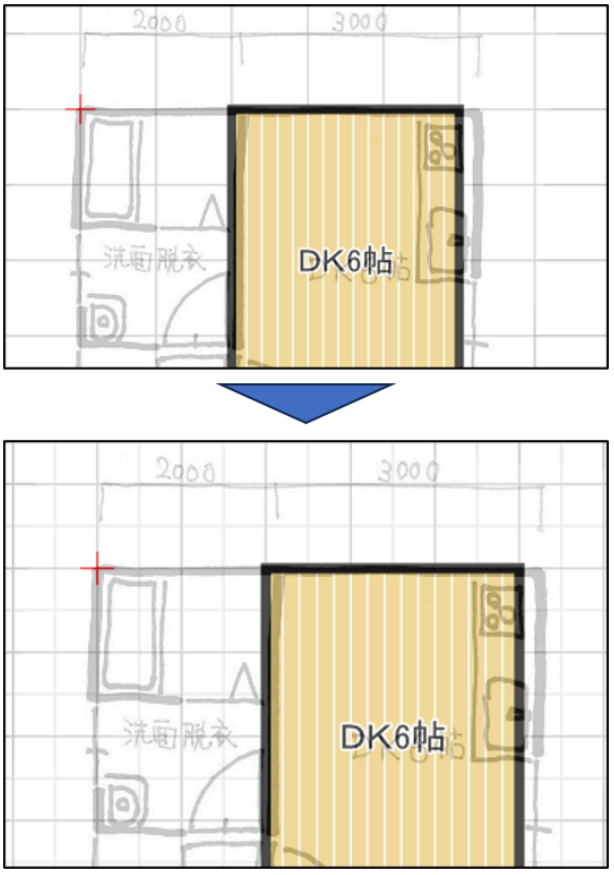
（3）水廻りを入力する

次に、水廻り（浴室・洗面脱衣・トイレ）を入力する手順を説明します。



1 浴室1.5帖を入力するため、グリッドを2分割にします。
グリッド選択の「2」をクリックします。

2 表示されているグリッド（マス目）が細かくなり、500mm単位で部屋が入力できるようになります。

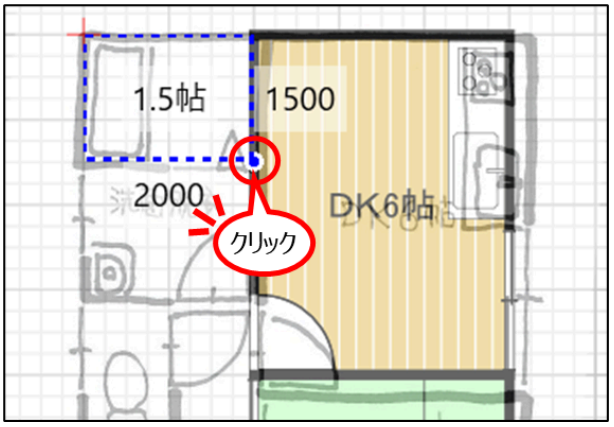


3 操作パネルのカテゴリーで「水廻り」を選択し、部屋リストから「浴室（部屋名なし）」を選択します。

4 下絵を確認しながら、浴室を書き出す角をクリックします。

5 下絵を確認しながら、対角線上の角をクリックします。

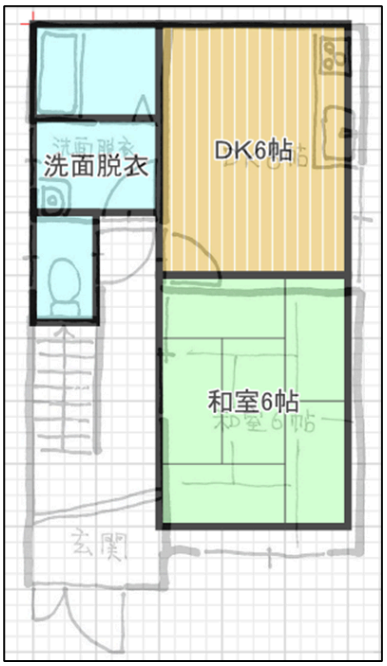
同様に、洗面脱衣・トイレを入力します。



POINT!

グリッドを2分割にすることで、500mm単位で部屋を入力できます。

6 水回りが入力されました。



POINT!

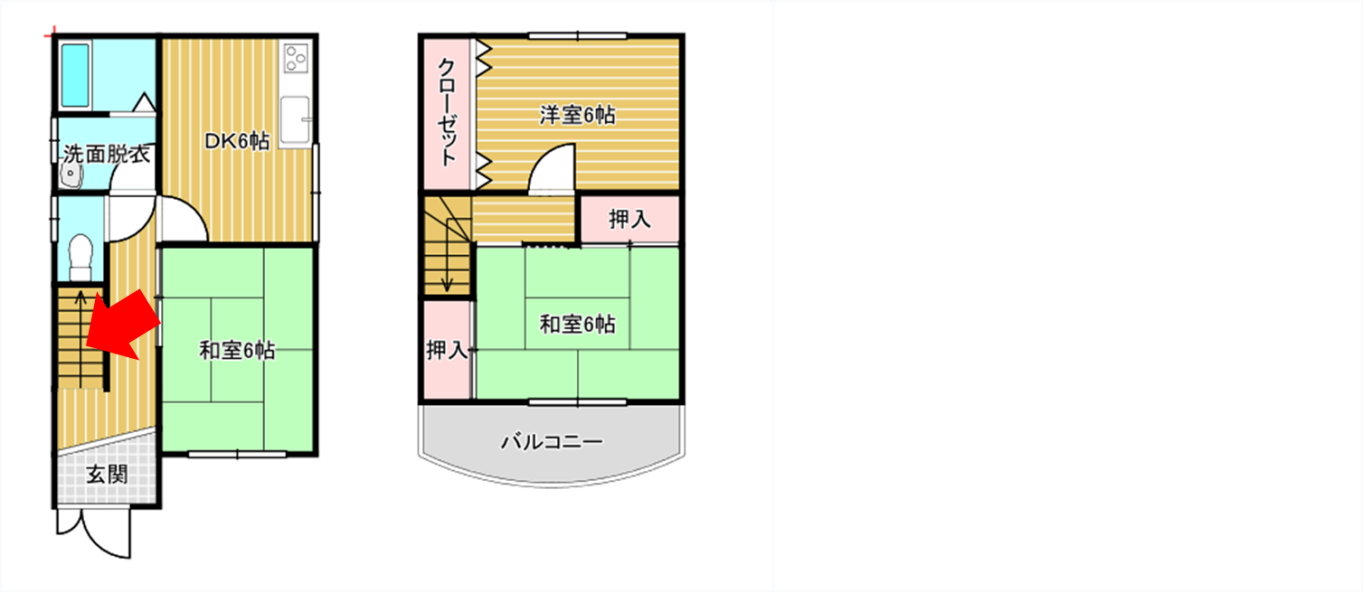
浴槽・洗面台・便器の入力は、このあと「7-3 備品入力」で説明します。

POINT!

細かい部分の入力をする場合は、ツールバーの「拡大」をクリックすると、表示が大きくなります。

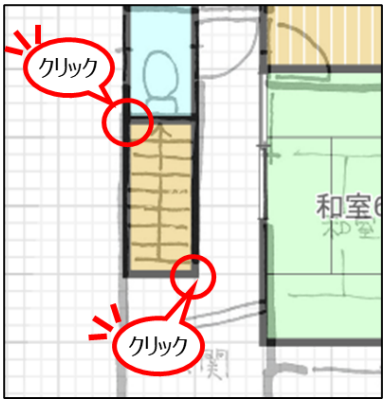
（4）階段を入力する

次に、階段を入力する手順を説明します。



1 操作パネルのカテゴリーで「階段」を選択し、部屋リストから「階段」を選択します。

2 「（1）和室を入力する」の手順3,4と同様に、下絵を確認しながら書き出す角と、対角線上の角を順番にクリックし、階段を入力します。

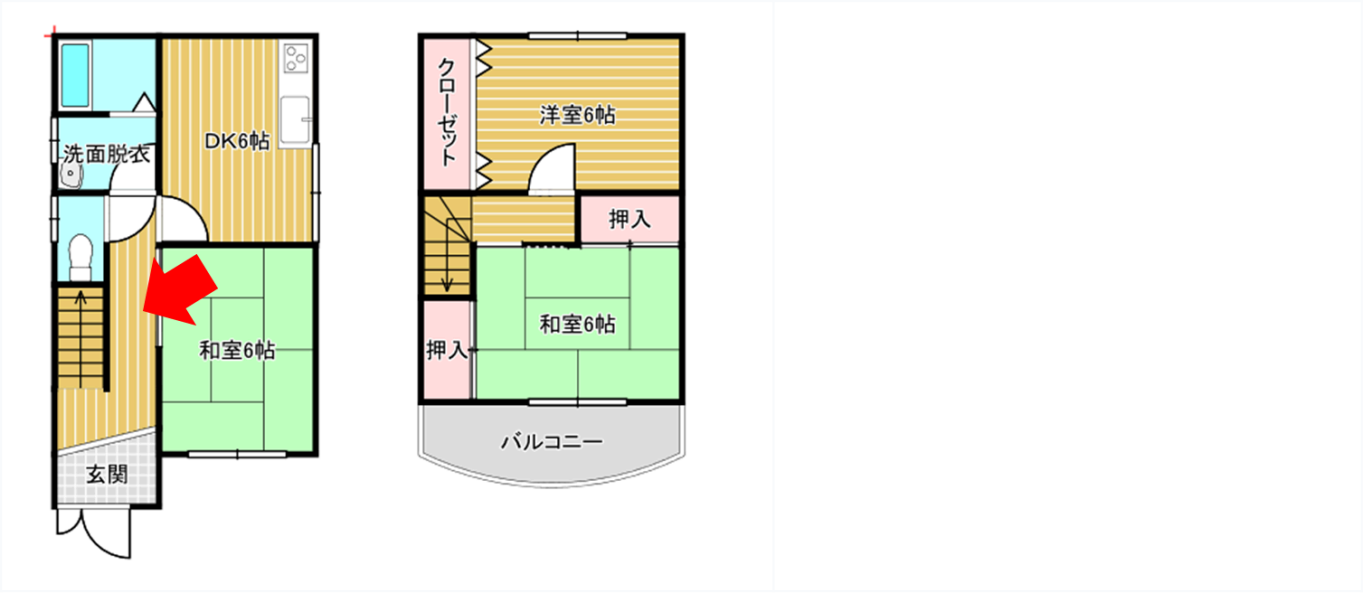


POINT!

階段の段・矢印は、このあと「7-5 階段入力」で説明します。

（5）廊下を入力する（多角）

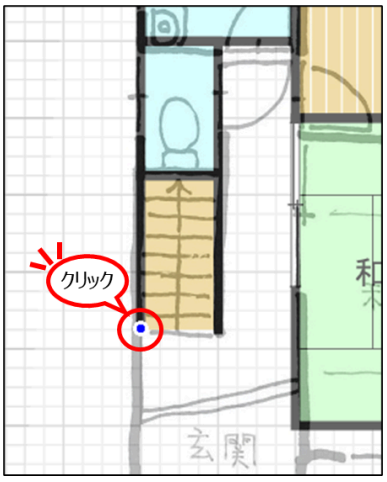
次に、廊下を入力する手順を説明します。



1 廊下は多角形のため、操作パネルの形状切替で「多角」を選択します。

2 カテゴリーで「廊下」を選択し、部屋リストから「廊下（タテ）」を選択します。

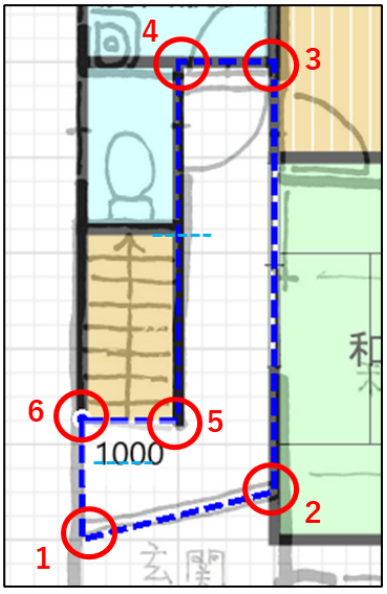
3 下絵を確認しながら、廊下の書き出し位置をクリックします。



4 下絵を確認しながら、すべての角を順番にクリックし、最後に書き出し位置をクリックします。

POINT!

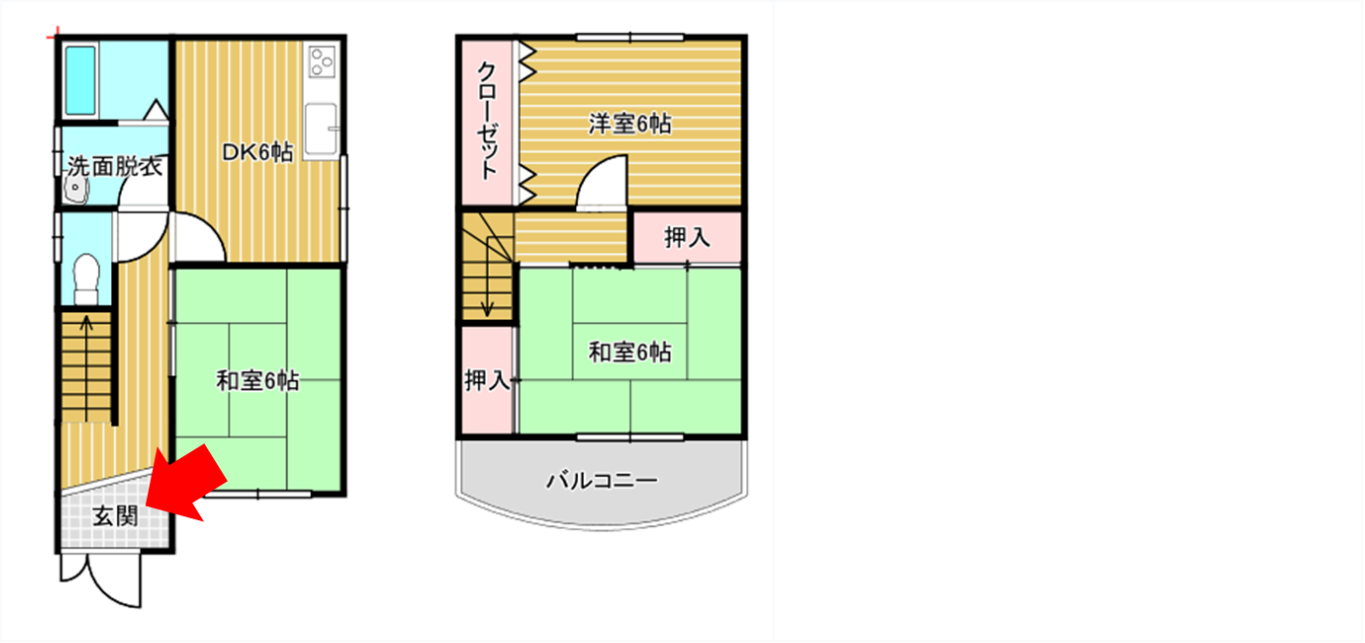
クリック地点を間違えた場合は、右クリックで解除します。



5 多角形の「廊下」が入力されました。

（6）玄関を入力する（多角）

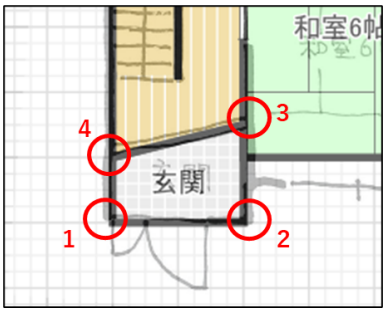
次に、玄関を入力する手順を説明します。



1 玄関は多角形のため、操作パネルの部屋形状切替で「多角」を選択します。

2 カテゴリーで「玄関」を選択し、部屋リストから「玄関」を選択します。

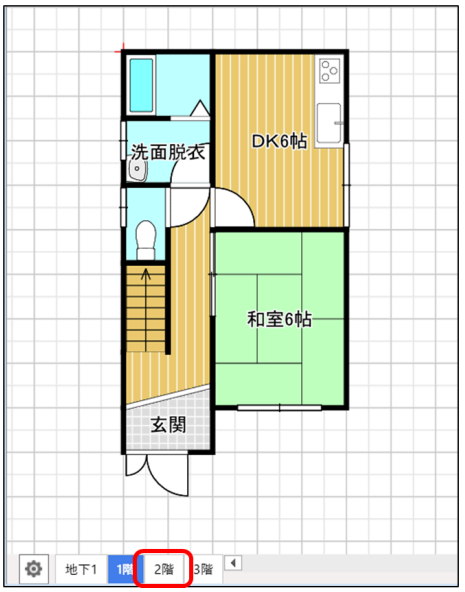
3 「（5）廊下を入力する（多角）」の手順3,4と同様に、下絵を確認しながらすべての角を順番にクリックし、玄関を入力します。



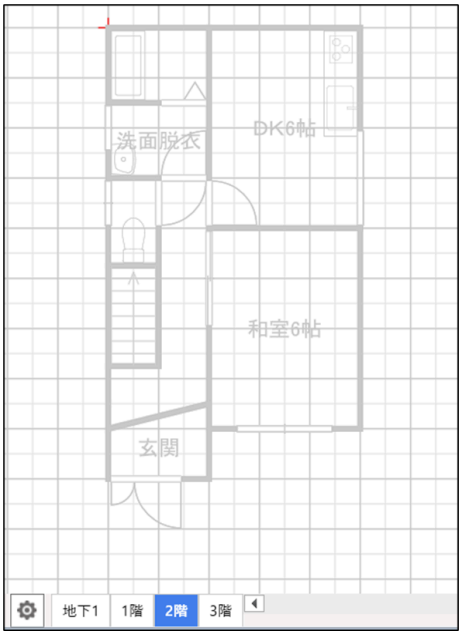
（7）2階部分を入力する（階層切替）

表示階層を切り替えて、2階部分を入力する手順を説明します。

1 作図領域左下の階層切替で「2階」をクリックします。



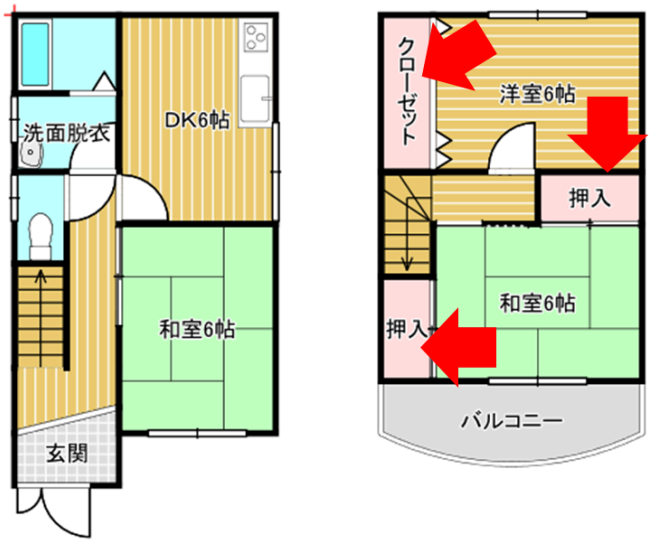
2 2階部分の作図領域に切り替わります。
入力した1階の間取りが薄く固定され、下絵の代わりにガイドとして利用できます。



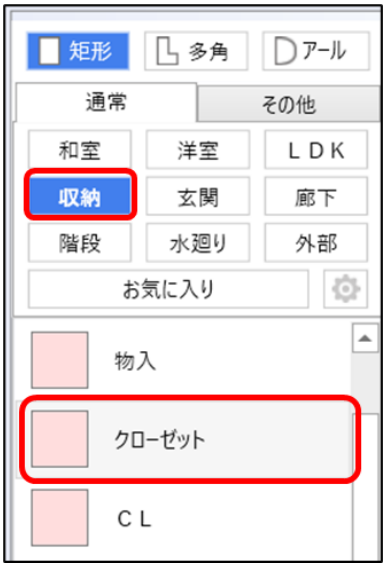
（8）収納を入力する

次に、2階の収納を入力します。ここではクローゼットを例に手順を説明します。

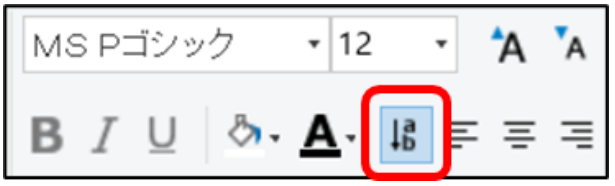
階層切替で2階部分を表示してください。
詳しくは、「7-1 （7）2階部分を入力する（階層切替）」を参照。



1 操作パネルのカテゴリーで「収納」を選択し、部屋リストから「クローゼット」を選択します。



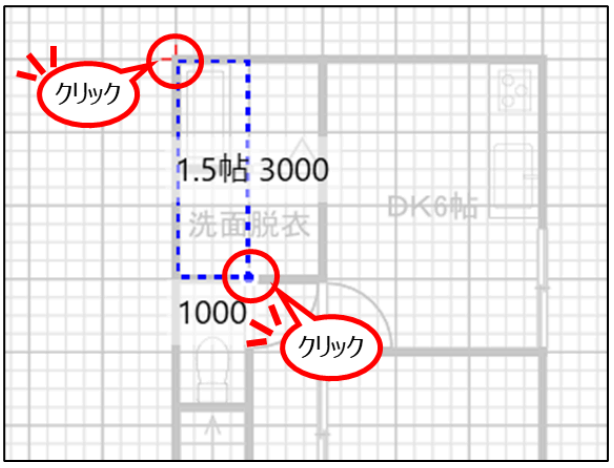
2 「クローゼット」の文字を縦書きにするため、リボン中央のフォント変更で縦書きアイコンをクリックします。



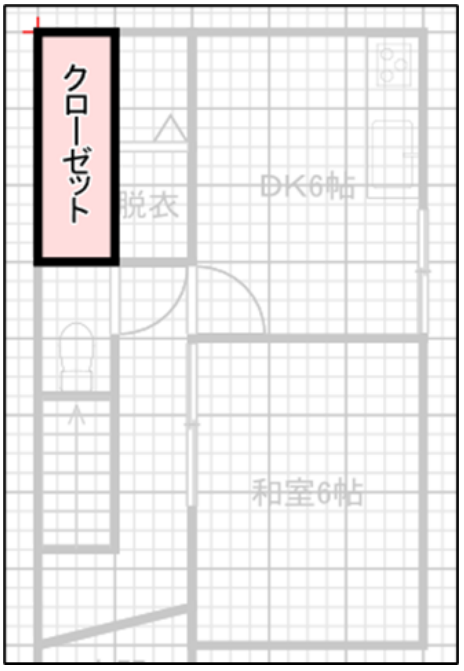
POINT!

部屋名の変更については、「9-3 （3）部屋名を修正する」を参照。

3 クローゼットは水回りの上、1.5帖分ですので、１階のガイドを頼りに入力します。



4 クローゼットが入力されました。



POINT!

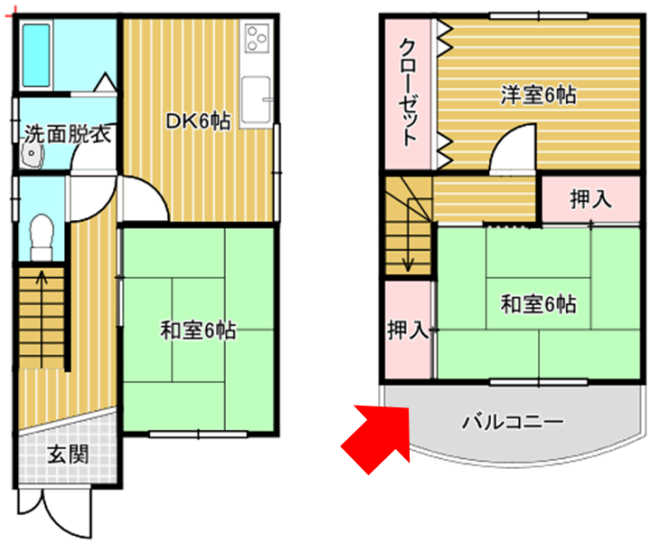
・クローゼットの扉は、このあと「7-2 建具入力」で説明します。

・このほかの2階部分は、これまでの各項目を参考に入力してください。

（9）バルコニーを入力する（アール型）

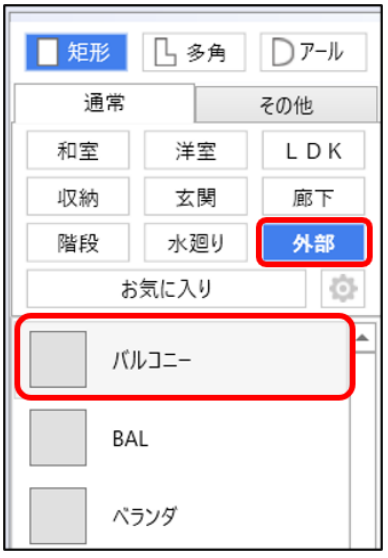
次に、2階のバルコニーを入力する手順を説明します。

階層切替で2階部分を表示してください。
詳しくは、「7-1 （7）2階部分を入力する（階層切替）」を参照。

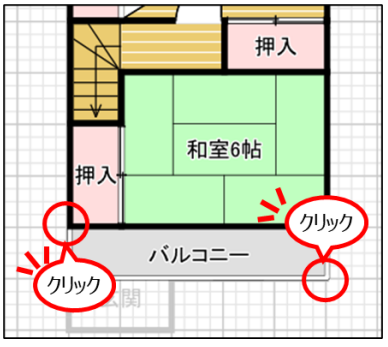


1 操作パネルのカテゴリーで「外部」を選択し、部屋リストから「バルコニー」を選択します。

※形状切替は「矩形」で入力します。



2 「（1）和室を入力する」の手順3,4と同様に、書き出す角と、対角線上の角を順番にクリックし、バルコニーを入力します。

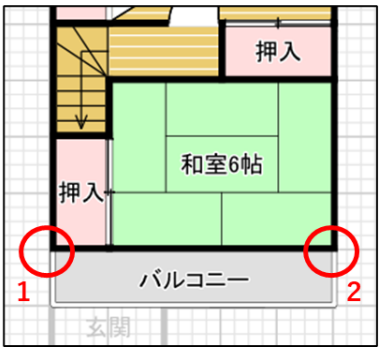


3 バルコニーに円弧を描くため、操作パネルの「アール」をクリックします。

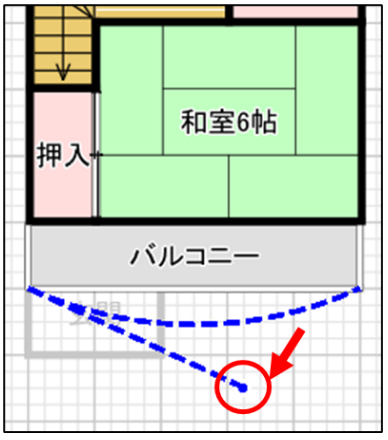
POINT!

いったん別の操作をすると、バルコニーの円弧が描けません。

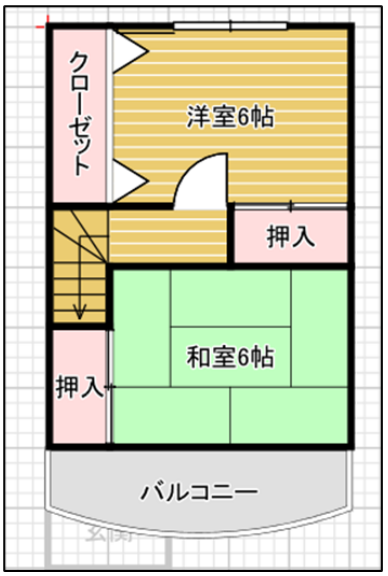
4 円弧を描く辺の始点と終点を順番にクリックします。



5 カーソルを動かすと始点から支線が表示され、辺が円弧を描きます。
支線を動かして、弧の大きさを決めクリックします。



6 アール型のバルコニーが入力されました。



7-2　建具入力

操作パネルの説明

① カテゴリー

引き違い・ドア・折戸・その他から選択します。

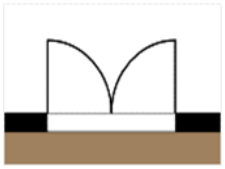
② 雨戸／面格子

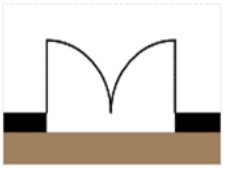
①で「引き違い」を選択した場合に有効化します。雨戸または面格子を入力します。

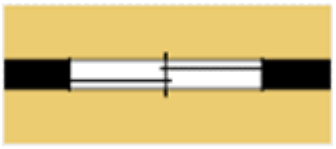
③ 壁の配置設定

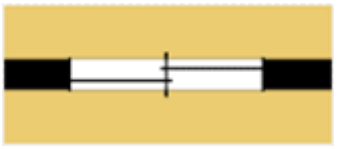
①で「引き違い」以外を選択した場合に有効化します。
壁・中心・点線の組み合わせで様々な建具の表現が可能になります。

壁：オンにすると、壁の厚みを考慮／壁の両側に線を表示します。
　　オフにすると、壁の厚みを考慮／壁の両側の線を表示しません。


オン


オフ


オン

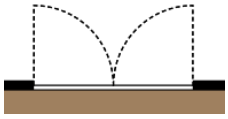

オフ

中心：オンにすると、壁の厚みを考慮せず／中心（線上）に配置します。
　　オフにすると、壁の厚みを考慮／壁の外側のラインに配置します。

オン

オフ

点線：建具の表示を変更（実線／点線）します。


壁：オン　中心：オン　点線：オン

④ 枚数設定

建具の枚数を設定します。

⑤ 建具リスト

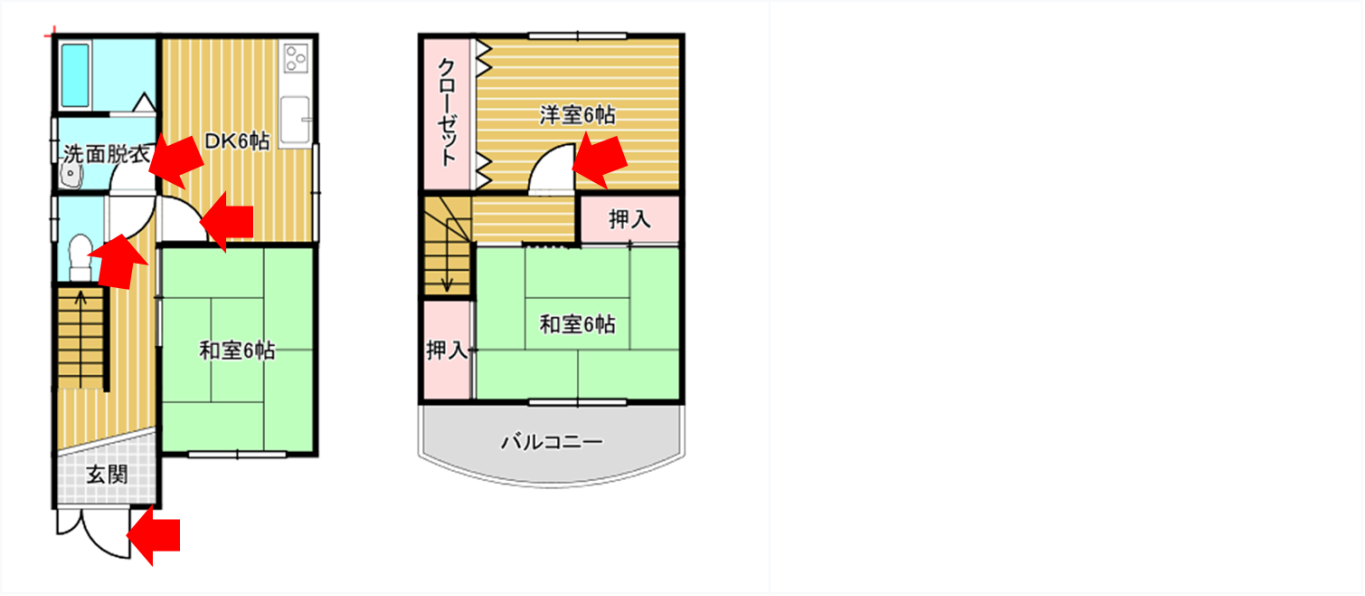
①で選択したカテゴリーに含まれる建具リストを表示します。
すべてのカテゴリーで、全66種類の建具をご用意しています。

⑥ プレビュー

⑤で選択した建具のプレビューを表示します。

（1）ドアを入力する

最初に、ドアを入力する手順を説明します。



POINT!

ドアを含む建具は壁上のみに配置できます。
グリッドの分割数を変更することで、入力できる建具の大きさが変わります。
詳しくは、「9-6 斜めの壁に建具を配置したい」を参照。

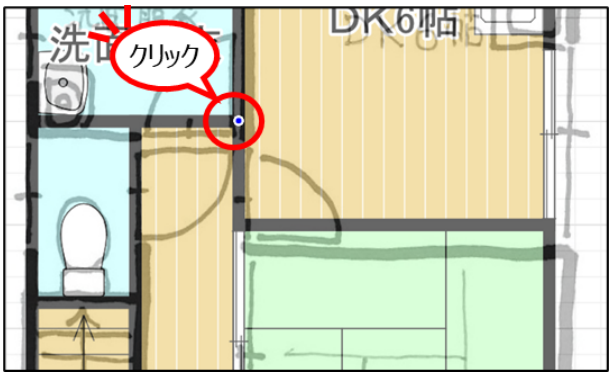
建具の入力の際は、グリッド設定でグリッドが選択されていることを確認してください。

1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「建具」をクリックします。

2 操作パネルで以下のように選択します。

カテゴリー：ドア
表示設定：壁にチェック
枚数設定：1
リストのパーツ：片開き

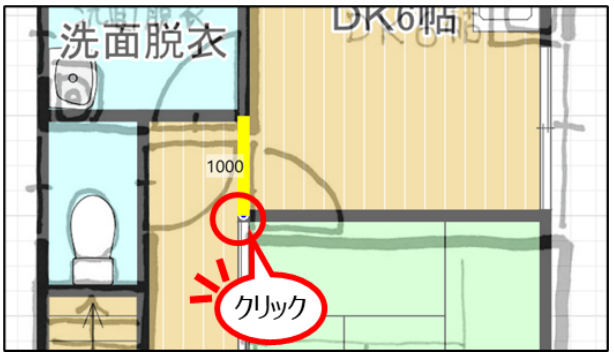
3 下絵を確認しながら、ドアを配置する壁の上（始点）でクリックします。



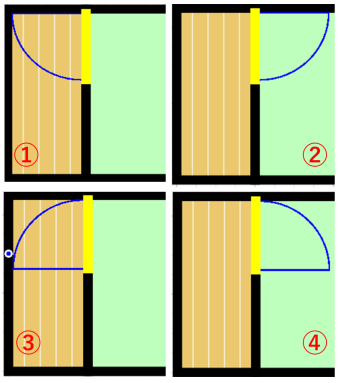
4 下絵を確認しながら、ドアの終わり位置をクリックします。

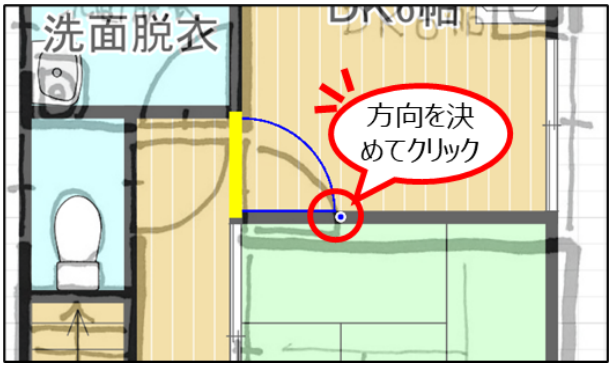
POINT!

ドラッグではなく、順番にクリックします。



5 ドアには、黄色い線を中心に4方向の開き方があります。
カーソルを動かすと、ドアの軌道（イメージ）が4方向に表示されるので、マウスで方向を決めてクリックします。





6 ドアが入力されました。
同様に他のドアも入力します。

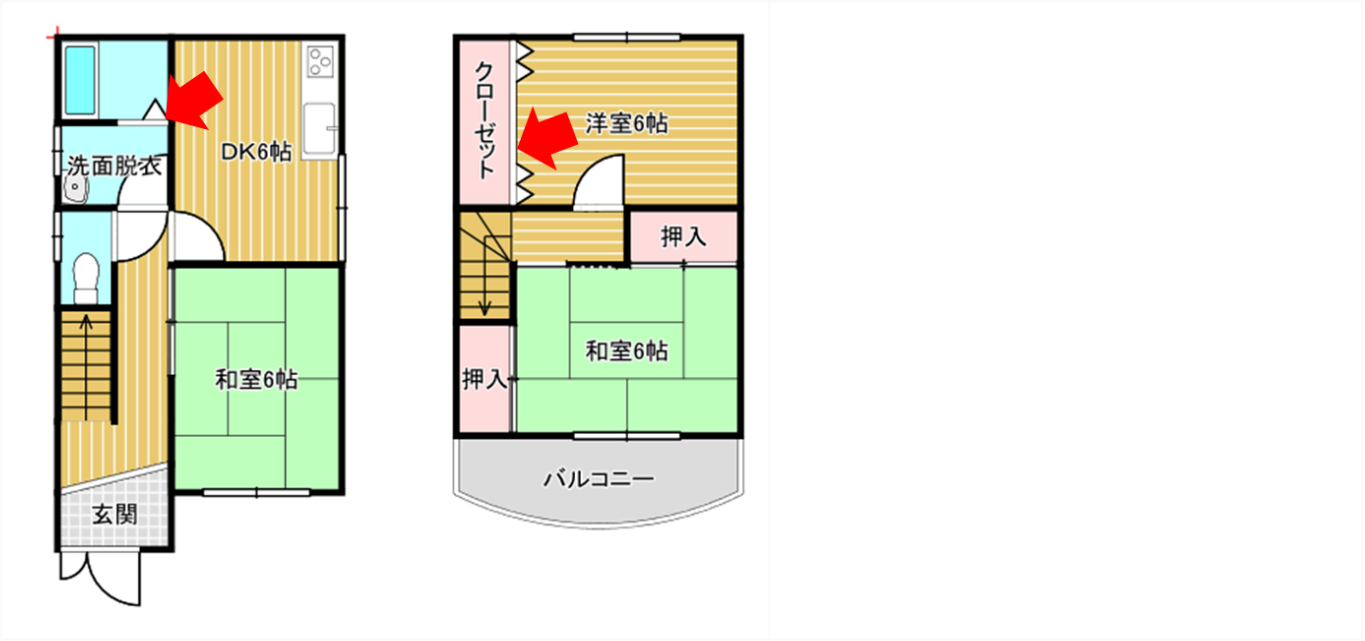
POINT!

玄関のドアは、操作パネルで以下のように選択します。

カテゴリー：ドア
表示設定：壁にチェック
枚数設定：2
部屋リストのパーツ：親子開き

（2）折戸を入力する

次に、折戸を入力します。ここでは、浴室の折戸の入力する手順を説明します。



1 操作パネルで以下のように選択します。

カテゴリー：折戸
表示設定：壁にチェック
枚数設定：1
リストのパーツ：折戸 1枚

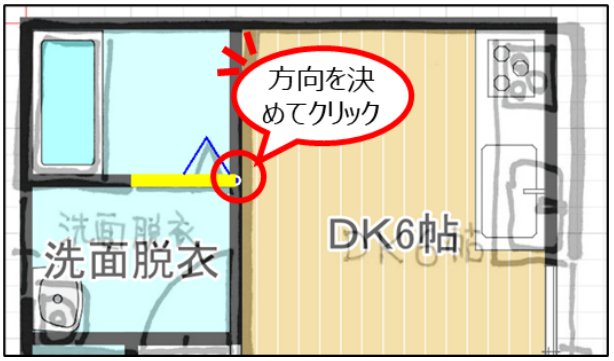
2 下絵を確認しながら、折戸を配置する壁の上（始点）でクリックします。

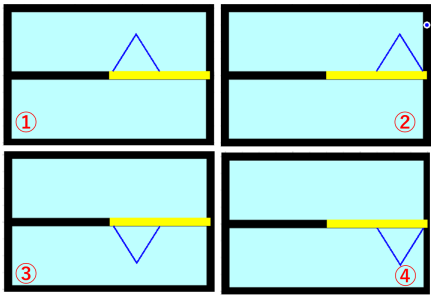
3 下絵を確認しながら、折戸の終わり位置をクリックします。

POINT!

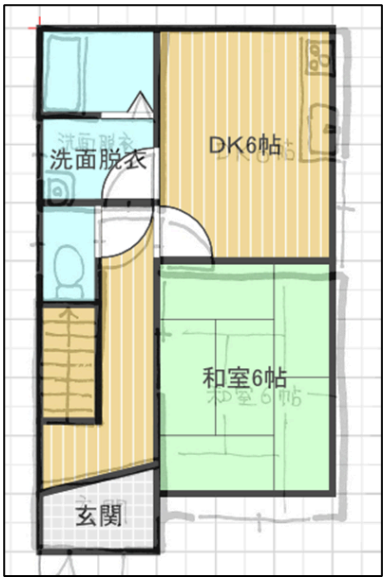
ドラッグではなく、順番にクリックします。

5 折戸には、黄色い線を中心に4方向の開き方があります。
カーソルを動かすと、ドアの軌道（イメージ）が4方向に表示されるので、マウスで方向を決めてクリックします。





6 折戸が入力されました。
同様に他の折戸も入力します。



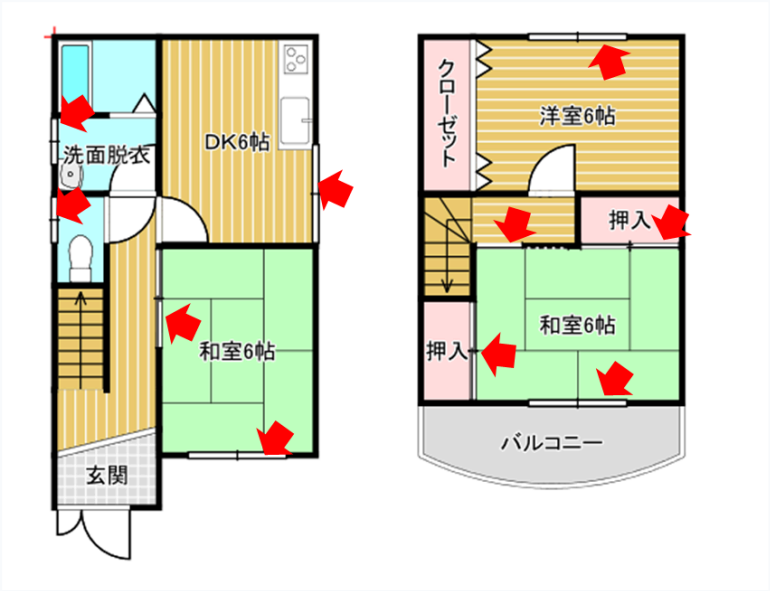
POINT!

2階のクローゼットの折戸は、操作パネルで以下のように選択します。

カテゴリー：折戸
表示設定：壁にチェック
枚数設定：4
部屋リストのパーツ：折戸 2枚

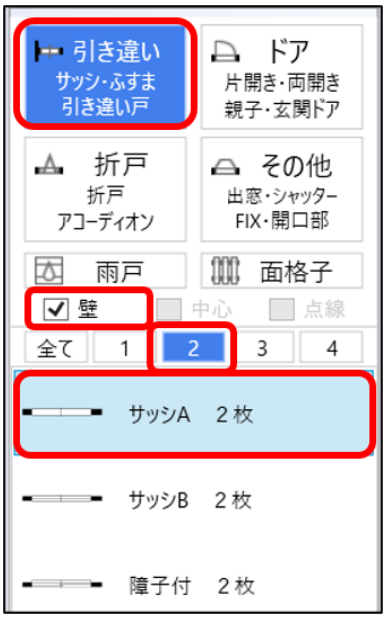
（3）引き違い（ふすま・サッシ）を入力する

次に、引き違い（ふすま・サッシ）を入力します。ここでは、1階のDKのサッシの入力手順を説明します。

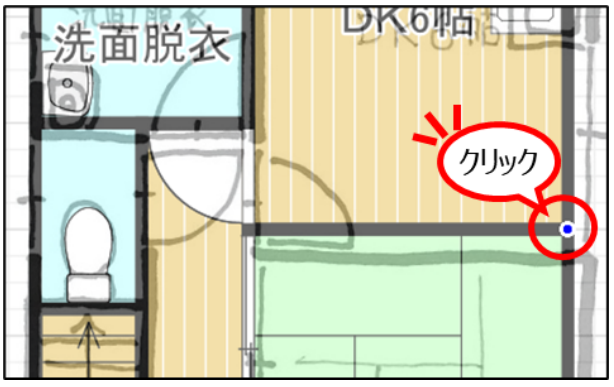


1 操作パネルで以下のように選択します。

カテゴリー：引き違い
表示設定：壁にチェック
枚数設定：2
部屋リストのパーツ：サッシA 2枚



2 下絵を確認しながら、サッシ配置する壁の上（始点）でクリックします。

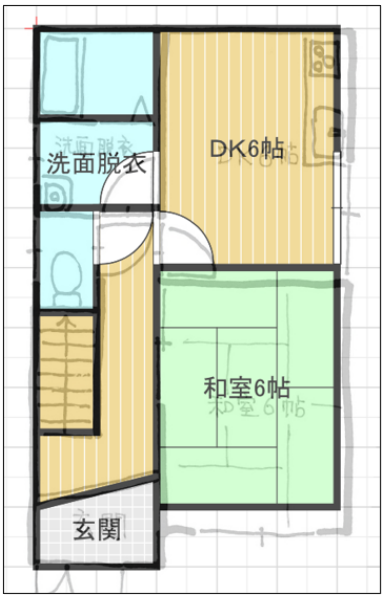


3 下絵を確認しながら、サッシの終わり位置をクリックします。

POINT!

ドラッグではなく、順番にクリックします。

4 再度クリックすると、サッシが確定します。
同様に他の引き戸も入力します。



POINT!

ふすまは、操作パネルで以下のように選択します。

カテゴリー：引き違い
表示設定：壁にチェック
枚数設定：2
部屋リストのパーツ：引違戸・フスマ 2枚

2階の1枚フスマは、以下のように選択します。

カテゴリー：引き違い
表示設定：壁にチェック
枚数設定：1
リストのパーツ：片引き

7-3　備品入力

操作パネルの説明

① カテゴリータブ

基本：一般的な住宅の備品が配置されています。
その他：事務所や店舗向けに、家具や図面記号などが配置されています。

② カテゴリー

①で選択したタブのカテゴリーを表示します。

③ 絞り込み

カテゴリーによっては、備品リストの表示数が多くなるため、絞り込みができます。
シンプル：シンプルな備品のみ表示します。
詳細：キッチンのコンロ形状を細かく描くなど、詳細な備品のみ表示します。
カラー：浴室の水の色など、カラーの備品のみ表示します。

④ 備品リスト

②で選択したカテゴリーに含まれる備品リストを表示します。
すべてのカテゴリーで、全700種類の備品をご用意しています。

⑤ プレビュー

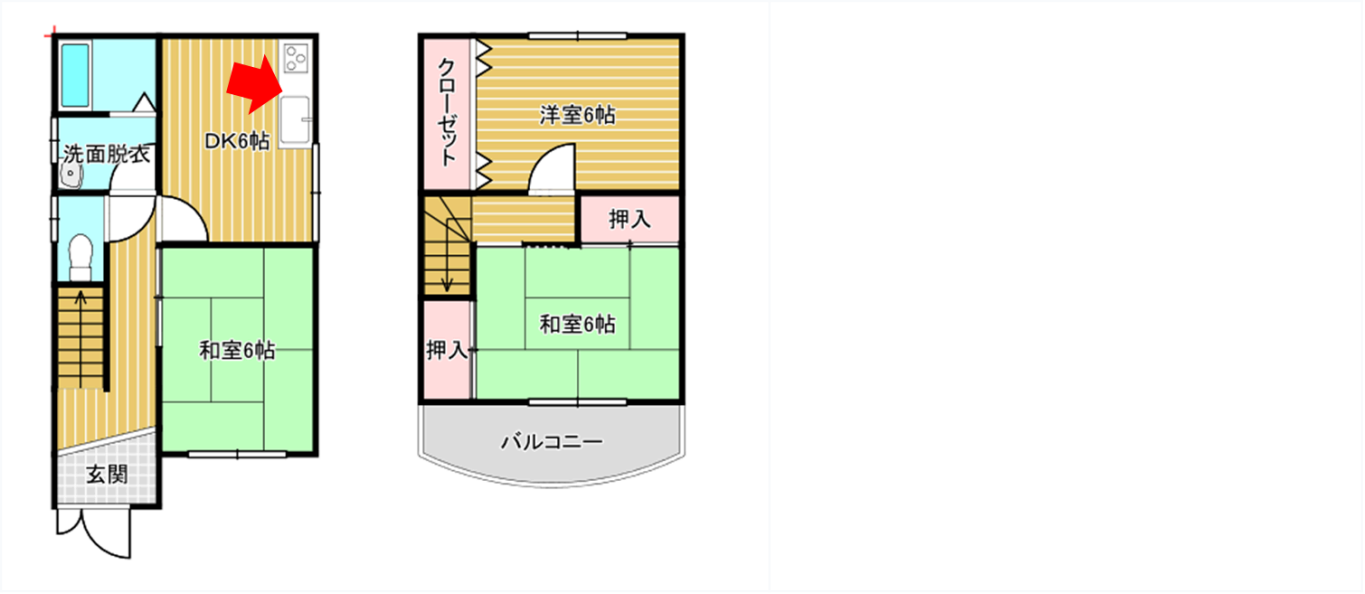
④で選択した備品のプレビューを表示します。

POINT!

プレビューの赤いポイント（ハンドルと言います）は基準点です。
備品を回転する場合の中心、またはグリッドによる縦横比を固定したサイズ変更の基準となります。
プレビュー内で、他の白いハンドルをクリックし、基準点を変更できます。

（1）キッチンを入力する

例として、キッチンを入力する手順を説明します。



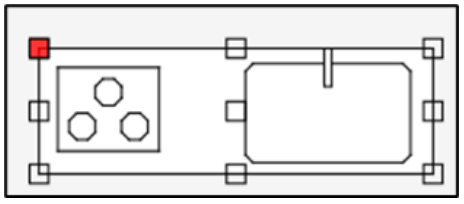
1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「備品」をクリックします。

2 操作パネルで以下のように選択します。

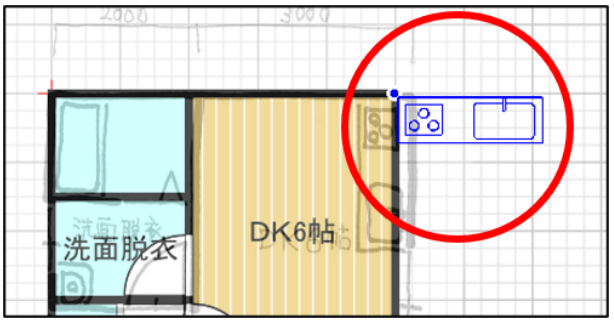
タブ：基本
カテゴリー：I型キッチン
絞り込み：全て
リストのパーツ：I001_I 型キッチン2100×650

POINT!

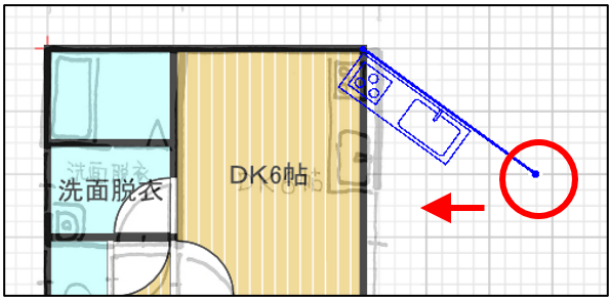
操作パネル下側のプレビューを確認してください。
基準点（赤）、備品の位置を決める支線が伸びます。
基準点の位置は変更できます。



3 下絵を確認しながら、手順2で確認した基準点をキッチンの描き出し位置に合わせてクリックします。
備品の基準点側が、壁（の厚み）に応じて自動で吸着します。



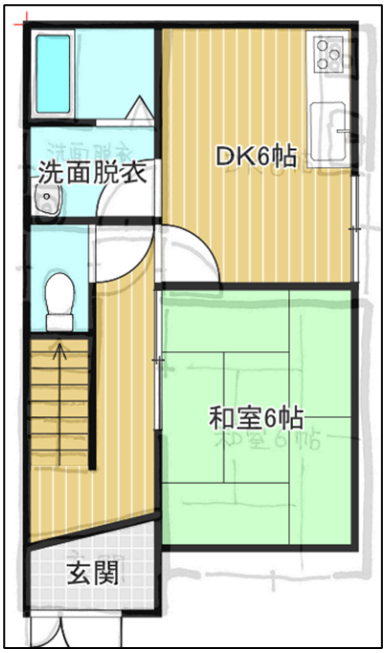
4 カーソルを動かすと支線が表示されます。
支線を左回りに動かして、キッチンを回転させます。



5 配置場所が決まったら、クリックして確定します。

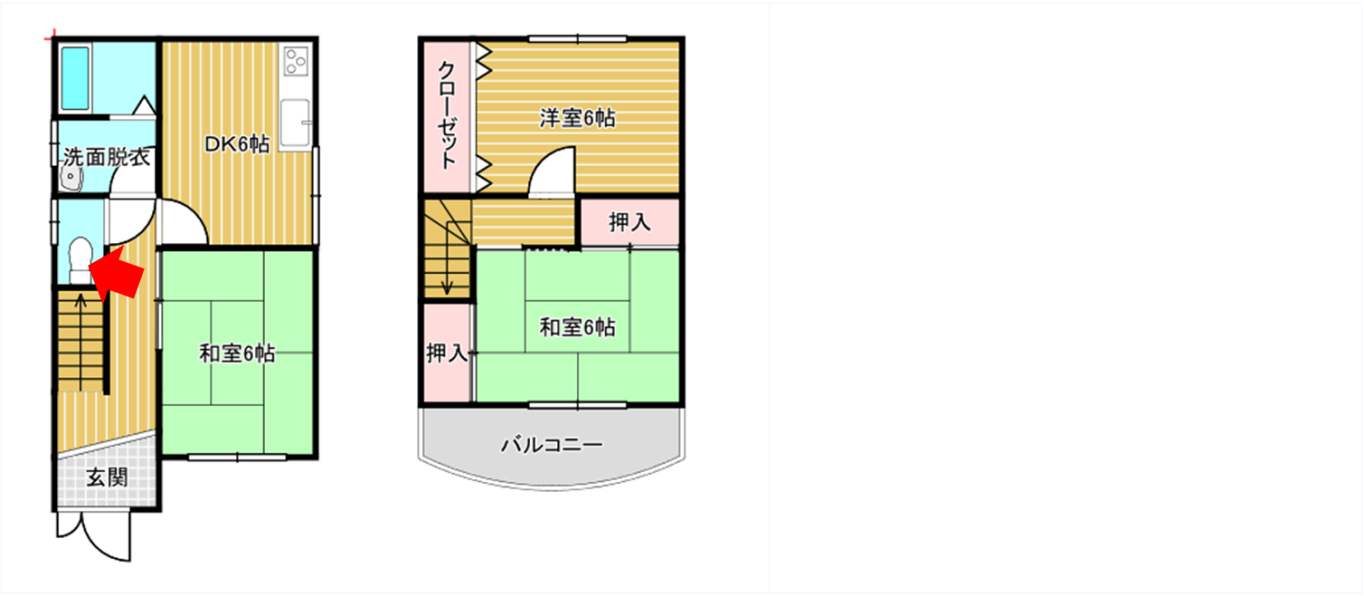
6 キッチンが入力されました。

同様に、浴槽、洗面台も入力します。



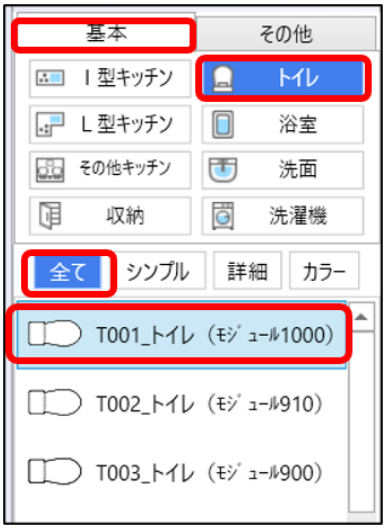
（2）トイレを入力する

次に、トイレを入力する手順を説明します。



1 操作パネルで以下のように選択します。

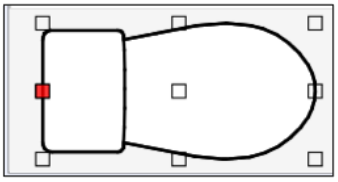
タブ：基本
カテゴリー：トイレ
絞り込み：全て
リストのパーツ：T001_トイレ（ﾓｼﾞｭｰﾙ1000）



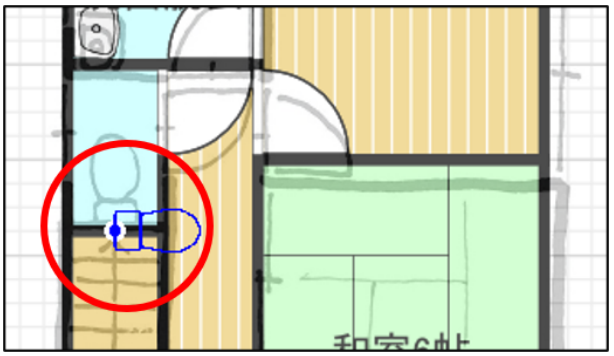
POINT!

・トイレの選択肢は、サイズではなく設定した
グリッドのモジュールです。

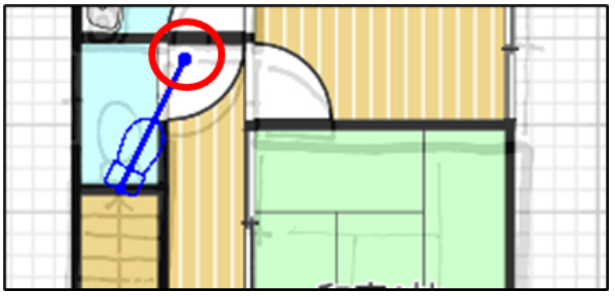
・操作パネル下側のプレビューを確認してください。
基準点（赤）、備品の位置を決める支線が伸びます。
基準点の位置は変更できます。



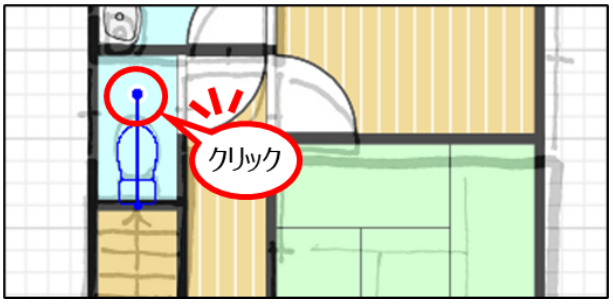
2 下絵を確認しながら、トイレのタンク側中央に合わせてクリックします。
備品の基準点側が、壁（の厚み）に応じて自動で吸着します。



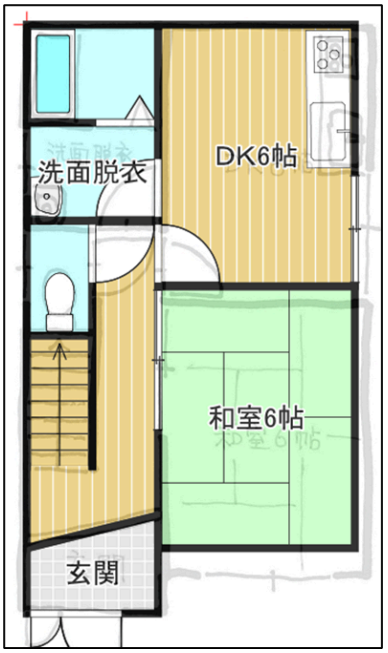
3 カーソルを動かすと支線が表示されます。
支線を動かして、トイレを回転させます。



4 配置場所が決まったら、クリックして確定します。

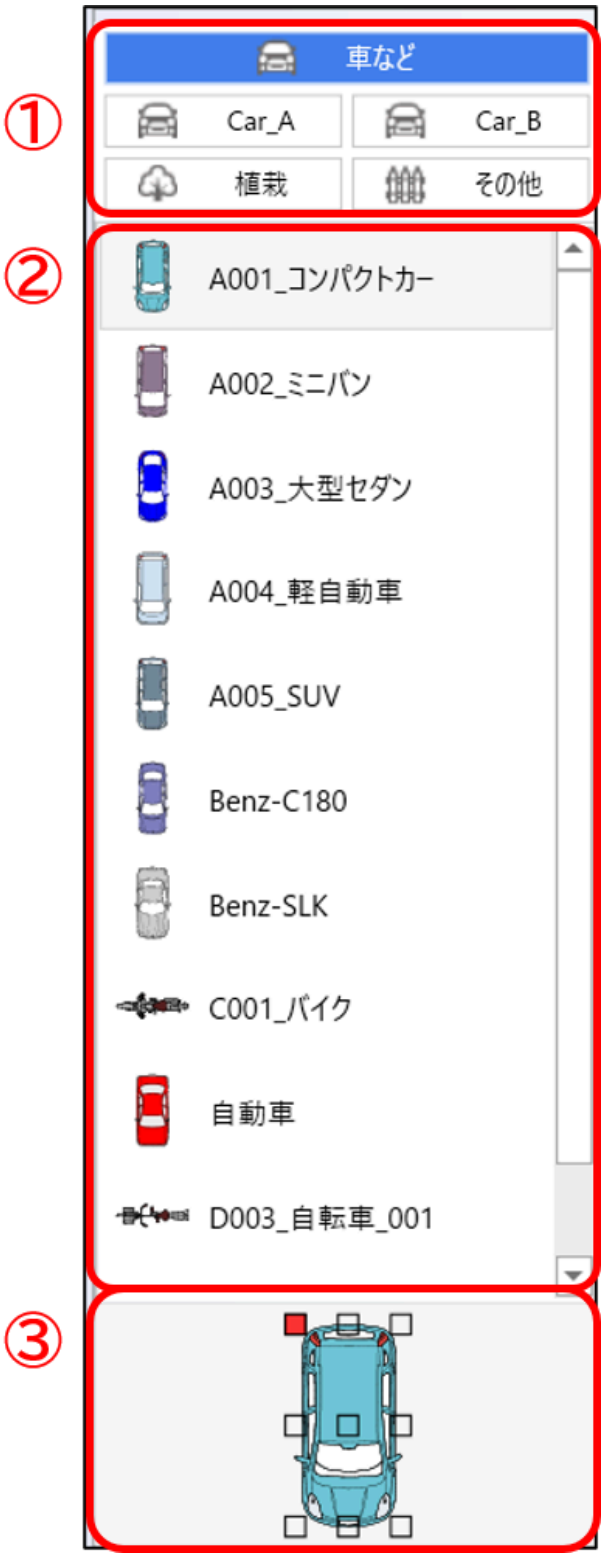


5 トイレが入力されました。



7-4　外構入力

操作パネルの説明



① カテゴリー

車など：汎用車、バイク、自転車
Car_A：車名のある車
Car_B：車名のある車
植栽：植木、プランターなど
その他：門扉、垣根など

② 外構リスト

①で選択したカテゴリーに含まれる外構を表示します。
すべてのカテゴリーで、全53種類の外構をご用意しています。

③ プレビュー

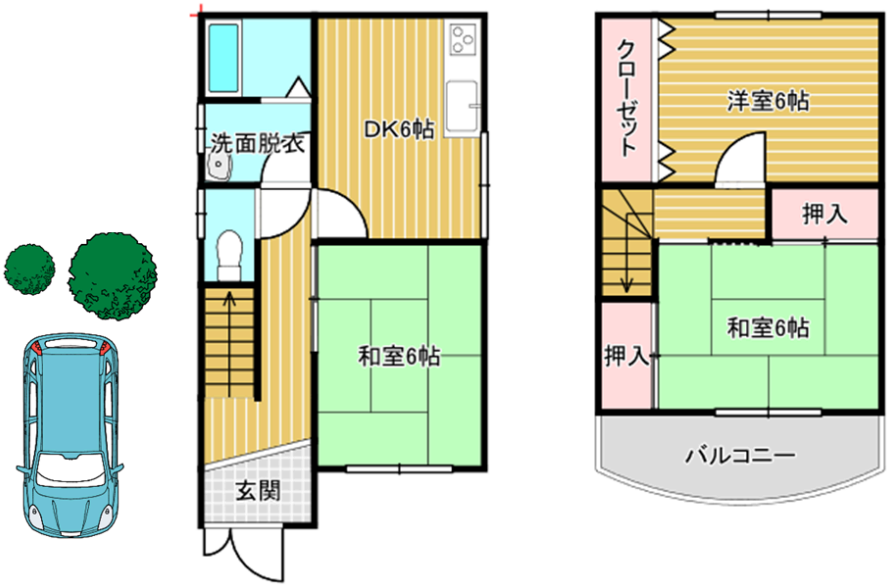
②で選択した外構のプレビューを表示します。

POINT!

プレビューの赤いポイント（ハンドルと言います）は基準点です。
備品を回転する場合の中心、またはグリッドによる縦横比を固定したサイズ変更の基準となります。
プレビュー内で、他の白いハンドルをクリックし、基準点を変更できます。

（1）車・植栽を入力する

ここでは、コンパクトカーの入力手順を説明します。



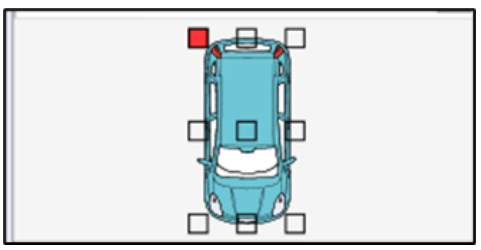
1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「外構」をクリックします。

2 操作パネルで以下のように選択します。

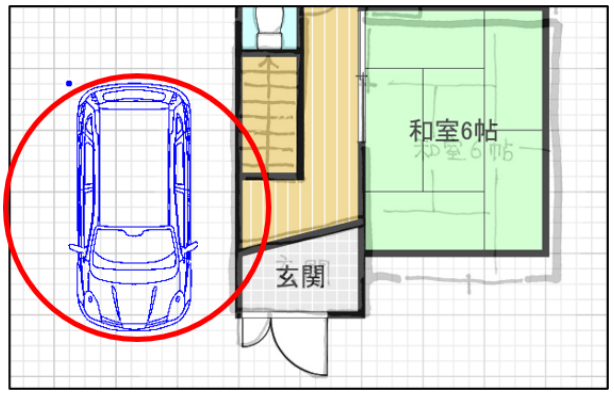
カテゴリー：車など
リストのパーツ：A001_コンパクトカー

POINT!

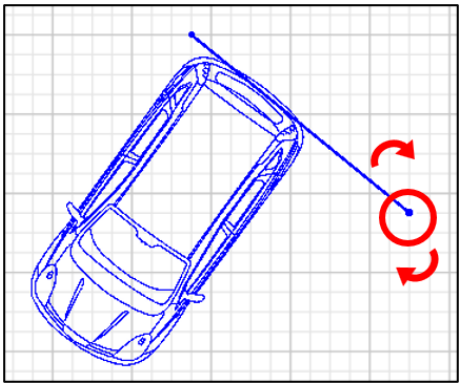
操作パネル下側のプレビューを確認してください。
基準点（赤）、備品の位置を決める支線が伸びます。
基準点の位置は変更できます。



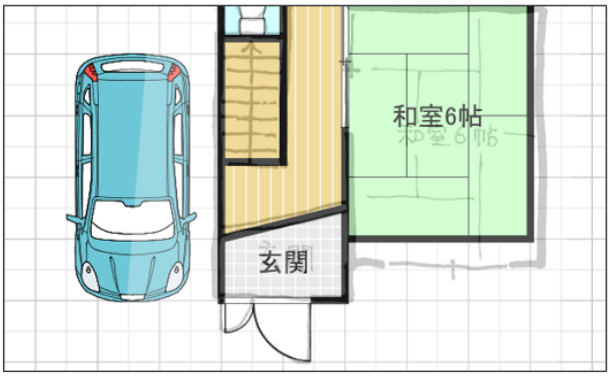
3 作図領域に選択したコンパクトカーが表示されるので、カーソルを動かして任意の位置に移動させます。



4 位置決定後クリックをすると、コンパクトカーから支線が伸びるので、カーソルを回すように動かして向きを決めます。



5 再度クリックすると、コンパクトカーが固定されます。

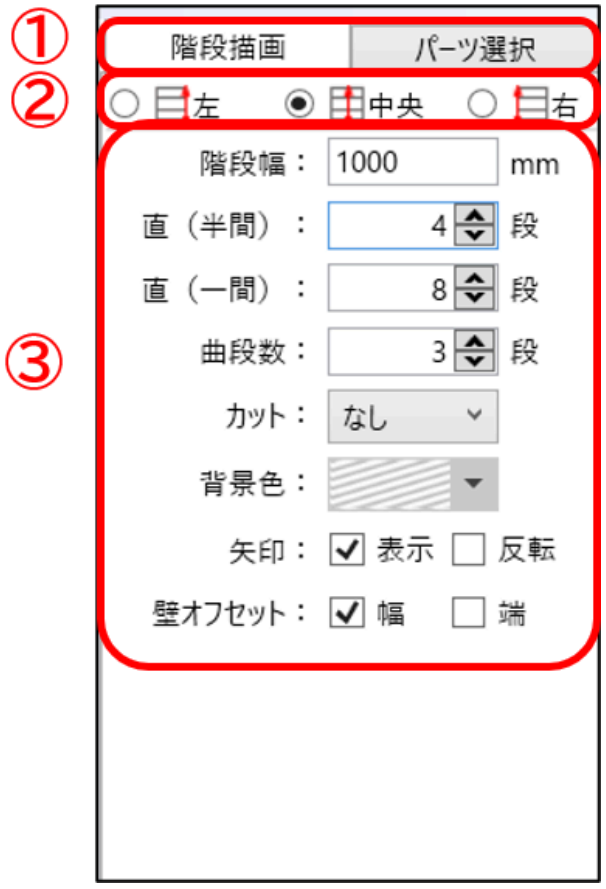


POINT!

植木を入力する場合は、カテゴリーで「植栽」を選択します。

7-5　階段入力

操作パネルの説明

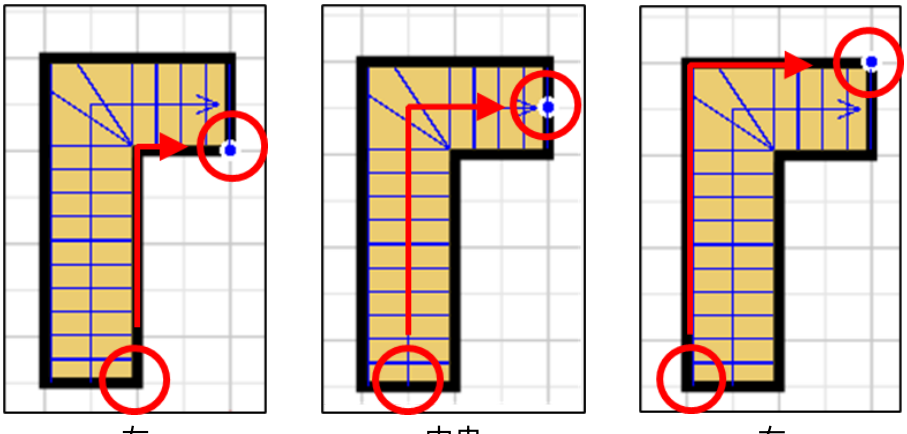


① 設定タブ

階段描画：段数や矢印などを設定します。
パーツ選択：螺旋階段など、特殊な階段を入力します。

② 描画位置指定

描画方法を左、中央、右から選択できます。
左・右は、外階段など階段幅がグリッドと合わないときに使用し、壁に沿って階段を入力できます。



左　中央　右

③ 設定

階段幅：階段の幅を、グリッドに合わせた単位で設定可能です。

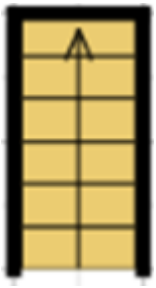
直（半間）：半間階段の段数を設定します。

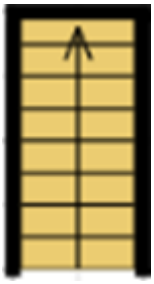
3段

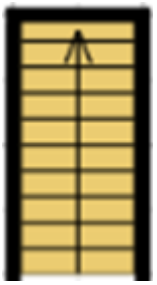
4段

5段

直（一間）：一間階段の段数を設定します。


6段


8段


10段

曲段数：曲がり角の段数を設定します。

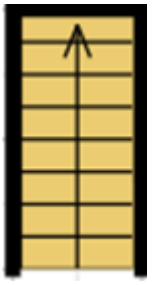
1段

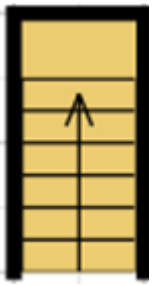
2段

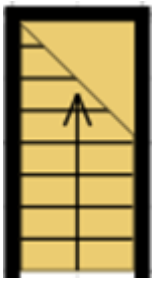
3段

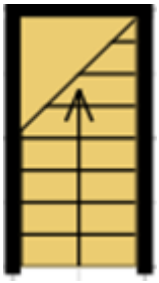
4段

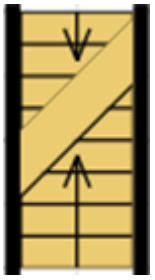
カット：階段の終点（末端）をカットします。


なし


水平


右斜め


左斜め

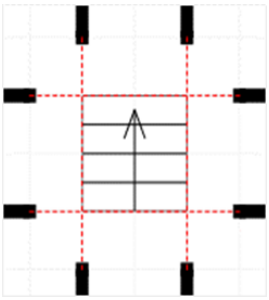

左斜め(上下)

背景色：階段の色を変える場合に、カラーパレットから選択します。

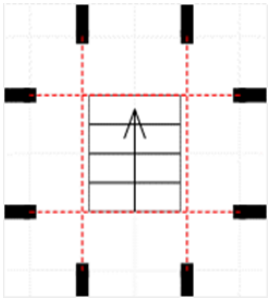
矢印：
表示⇒矢印表示のオン/オフを設定します。
反転⇒矢印反転のオン/オフを設定します。

壁オフセット：
幅（左右）⇒階段幅を壁の厚み分控えます。オン/オフを設定します。
端（上下）⇒階段端を壁の厚み分控えます。オン/オフを設定します。

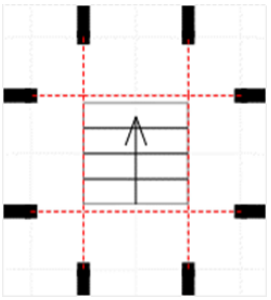
「幅」と「端」のオン/オフの組み合わせで、以下のような表示方法になります。



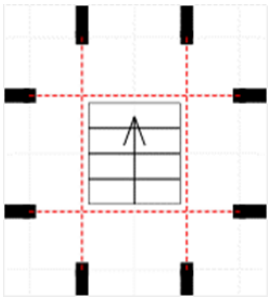
幅：オフ / 端：オフ
両幅、両端とも
グリッド線上



幅：オン/端：オフ
幅は壁厚分を控える
／端はグリッド上



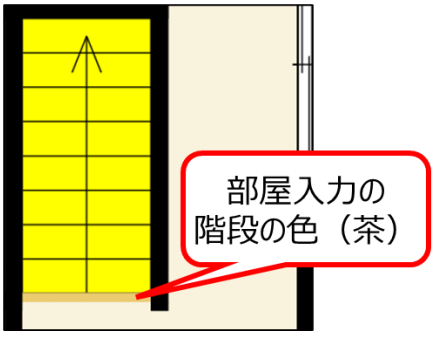
幅：オフ / 端：オン
幅はグリッド上
／端は壁厚分を控える



幅：オン / 端：オン
幅・端とも
壁厚分を控える

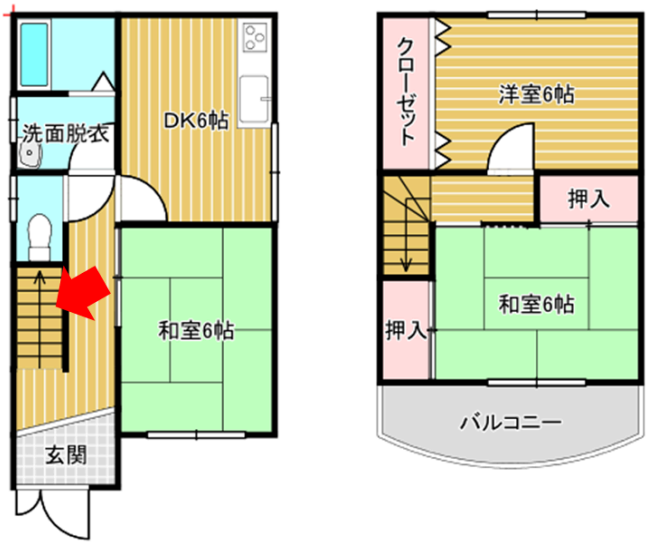
POINT!

階段入力で背景色（右の図では黄色）を設定する場合は、壁オフセットの「端」をオフにしてください。
オンにして背景色ありの階段を描画すると、端に部屋入力の階段の色が表示されてしまいます。



（1）まっすぐな階段を入力する

1階部分のまっすぐな階段に、段数や矢印を追加する手順を説明します。



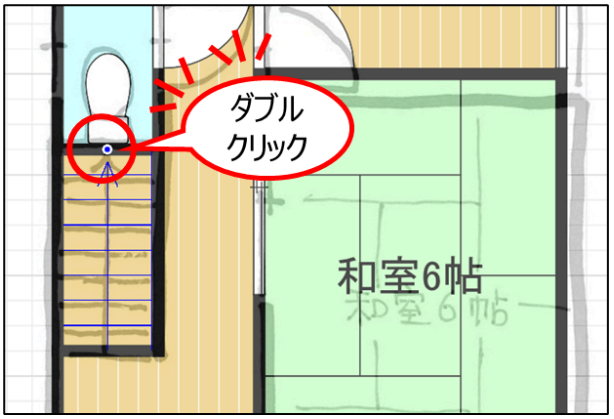
1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「階段」をクリックします。

2 操作パネルのカテゴリータブで「階段描画」をクリックし、以下のとおり設定します。

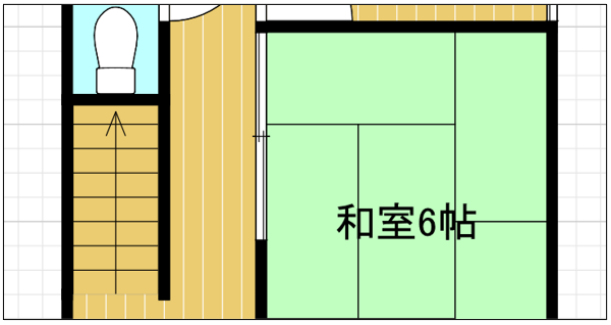
描画位置指定：中央
階段幅：1000mm
直（一間）：8段
背景色：塗りつぶしなし
矢印：「表示」にチェック
壁オフセット：「幅」にチェック

3 階段の始点でクリックします。

4 階段の始点でダブルクリックします。



5 まっすぐな階段が入力されました。



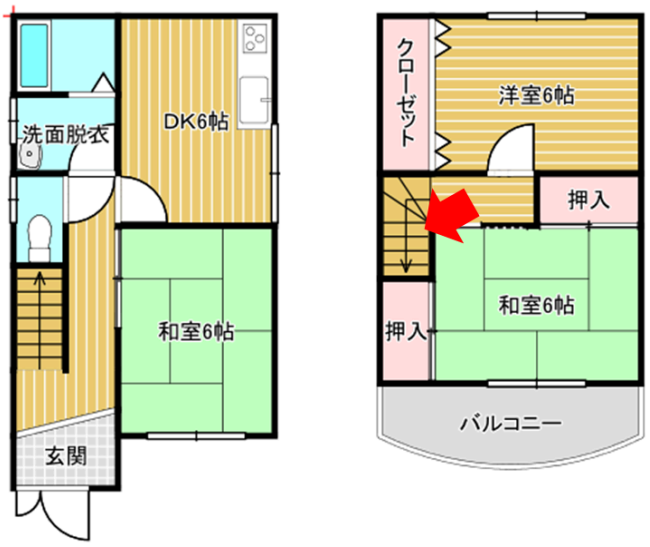
POINT!

始点の壁は自動的に消去されます。

（2）曲がった階段の入力

2階の曲がった階段に、段数や矢印を追加する手順を説明します。

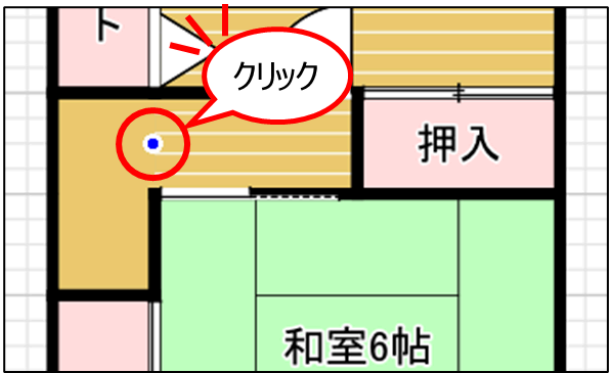
階層切替で2階部分を表示してください。
詳しくは、「7-1 （7）2階部分を入力する（階層切替）」を参照。



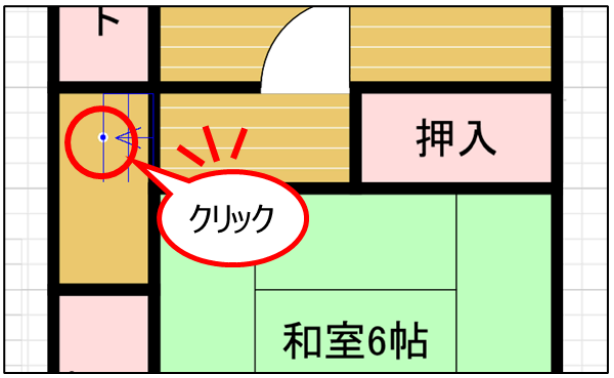
1 操作パネルのカテゴリータブで「階段描画」をクリックし、以下のとおり設定します。

描画位置指定：中央
階段幅：1000mm
直（一間）：8段
曲段数：3段
背景色：塗りつぶしなし
矢印：「表示」にチェック
壁オフセット：「幅」にチェック

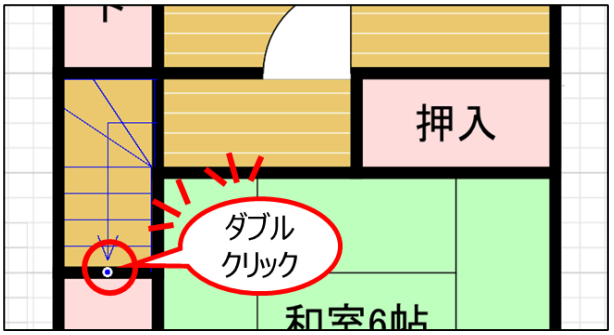
3 階段の始点をクリックします。



4 次に曲げたい角でクリックします。



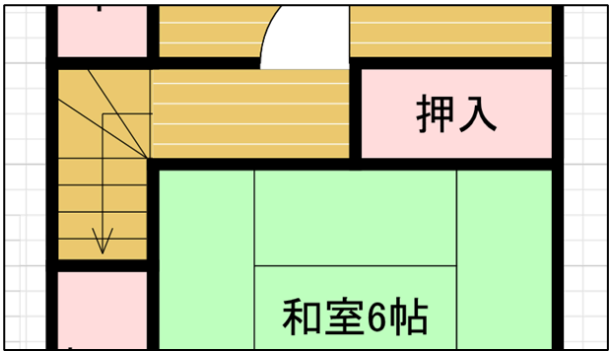
5 最後に、階段の終点をダブルクリックします。



6 曲がった階段が入力されました。

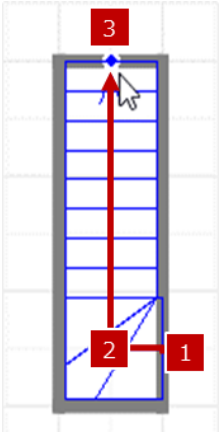
POINT!

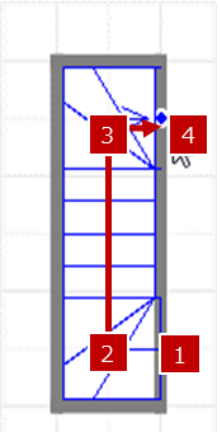
始点の壁は自動的に消去されます。

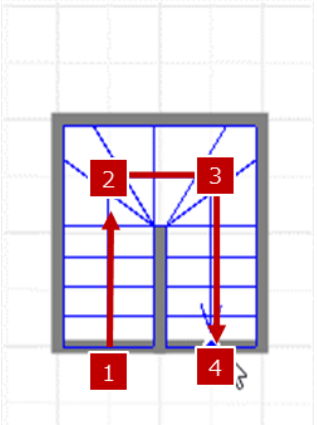


POINT!

階段は曲げたい場所でクリックし、何度でも曲げることが可能です。





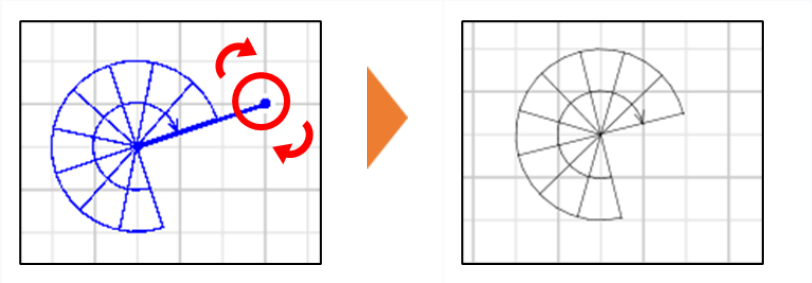


（3）螺旋階段を入力する

螺旋階段を入力する場合は、設定タブで「パーツ選択」を選択します。
リストの各名称についている「W1000」「W900」は、モジュールのことです
設定したグリッドのモジュールに合わせて選択してください。

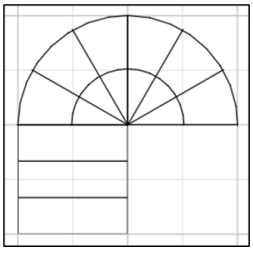
通常の螺旋階段

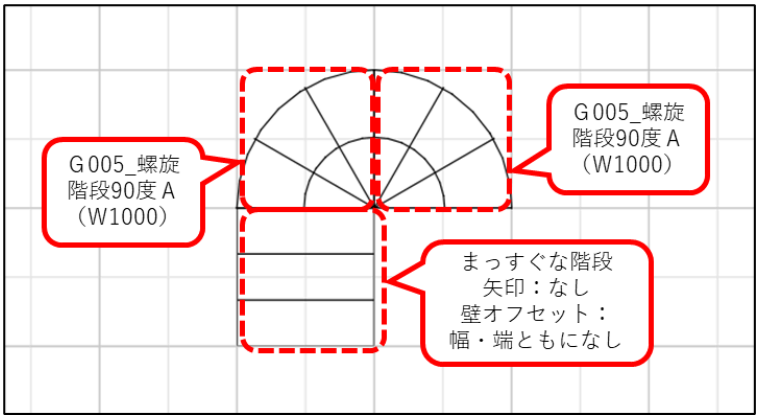
中央の基準点から支線が伸びるので、回転させて位置を決めクリックします。



まっすぐな階段との組み合わせ

以下の階段は、まっすぐな階段と「螺旋階段90度Ａ」を組み合わせてできています。





POINT!

螺旋階段には壁オフセットの設定がないので、まっすぐな階段の壁オフセット設定のチェックを外します。

7-6　壁・柱入力

操作パネルの説明

① 壁入力
壁を入力するときに選択します。

② 柱・梁入力
柱・梁を入力するときに、形状を選択します。

多角、アールの入力方法は、
「6-1 （5）廊下を入力する（多角）」
「6-1 （9）バルコニーを入力する（アール型）」を参照。

③ 壁色変更
壁色をカラーパレットから選択します。

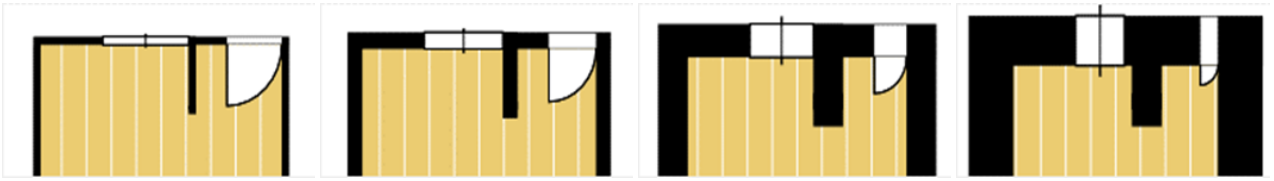
POINT!

壁の色が「標準」の場合のみ壁色が変更できます。「グレー」「白」の場合は反映がされません。表示タブの表示スタイルで設定できます。

④ 壁厚変更
壁の厚みを選択し、ずべての壁に反映するのか、一部の壁に反映するのかを選定します。

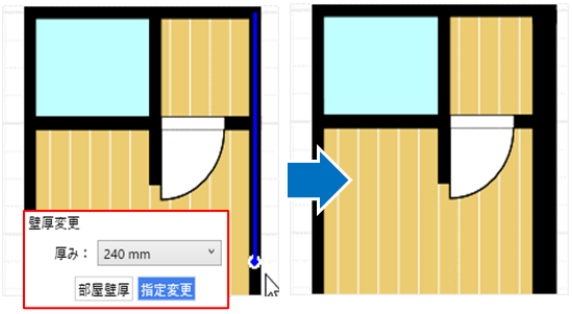
部屋壁厚：図中のすべての壁厚を変更します。
指定変更：2点クリックした部分のみ壁厚を変更します。

壁の厚み（一括変更の場合）

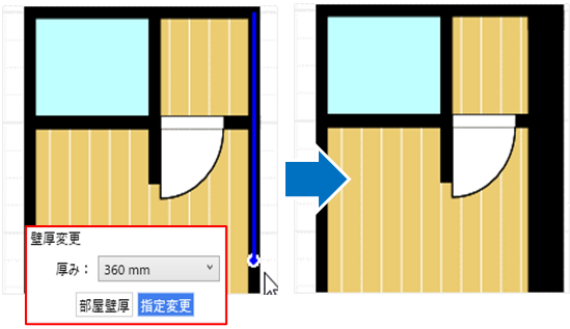


細い壁(60mm)　標準の壁(120mm)　厚い壁（240mm）　極端に厚い壁（360mm）

壁の厚み（指定変更の場合）



一方の壁（120mm)を厚い壁に(240mm)に指定変更



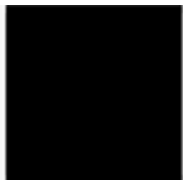
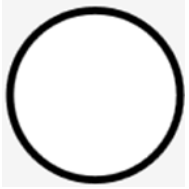
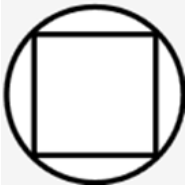
一方の壁(120mm)を厚い壁に(360mm)に指定変更

POINT!

指定変更では、壁を細く（薄く）することはできません。

⑤ 柱配置

柱入力の際、柱、ポーチ柱、床柱、管柱、階段柱、通し柱から選択できます。

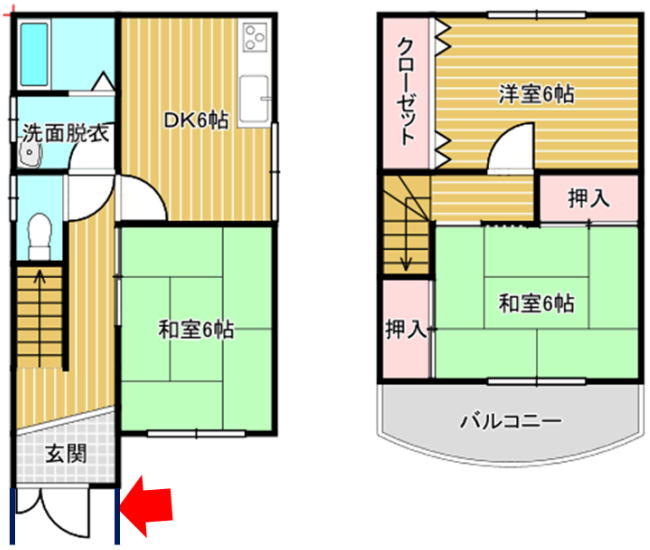
柱	ポーチ柱	床柱	管柱	階段柱	通し柱
					

⑥ プレビュー

設定した壁・柱のプレビューを表示します。

（1）壁を入力する

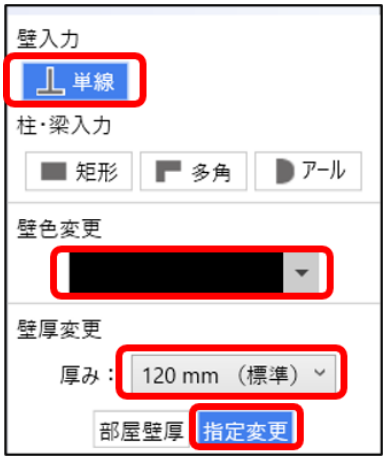
間取り図に壁を追加します。ここでは玄関前のアプローチを覆う壁の入力手順を説明します。



1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「壁・柱」をクリックします。

2 操作パネルで、以下のとおり設定します。

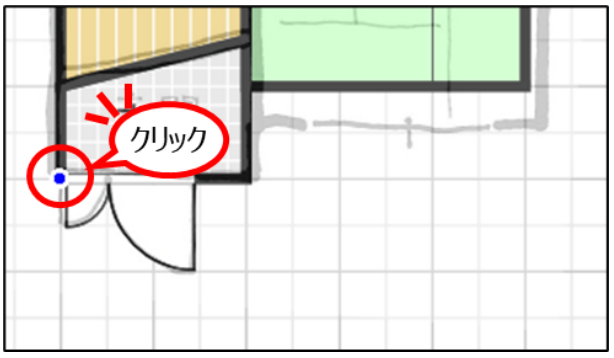
カテゴリー：「単線」
壁色変更：黒
壁厚変更：120mm（標準）
「指定変更」を選択



POINT!

「部屋壁厚」を選択すると、今まで入力した壁も含め、すべての壁の厚みが一括で変更されます。

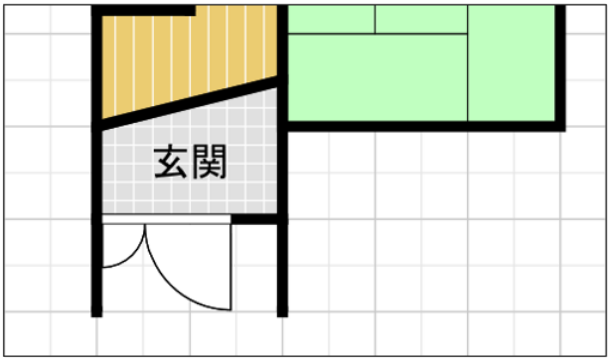
3 壁の始点をクリックします。



4 壁の始点をクリックします。

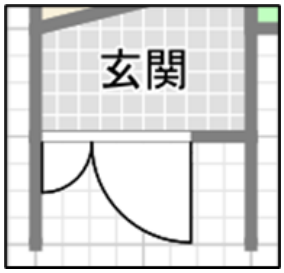
反対側も同様に入寮kします。

5 玄関前のアプローチを覆う壁が入力されました。

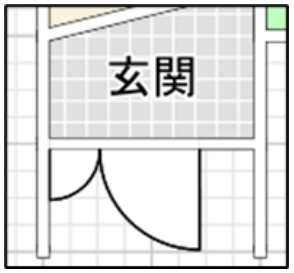


POINT!

壁の色がグレーまたは白の場合の表示は、以下のとおりです。



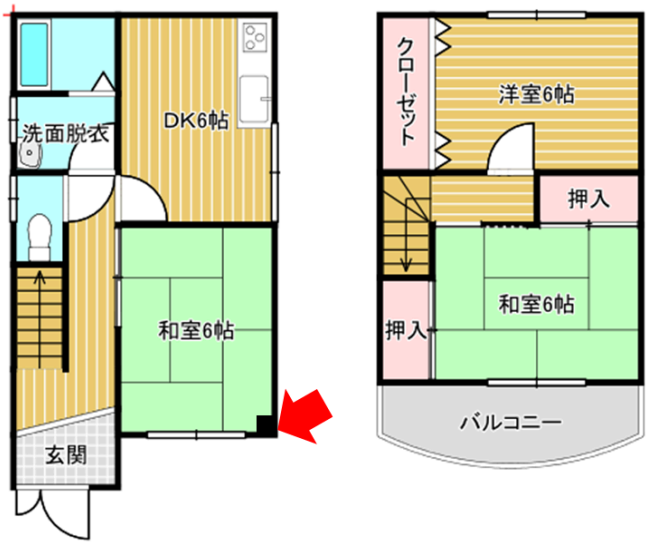
グレー



白

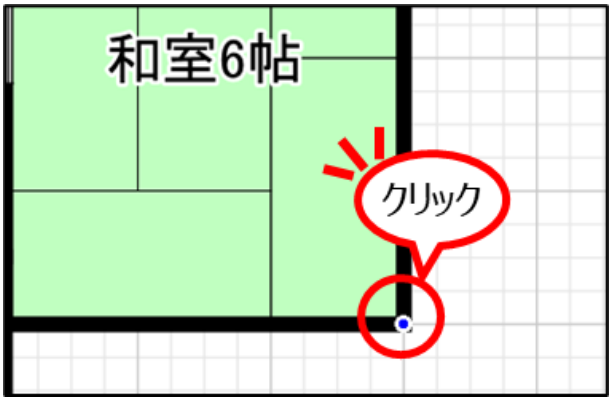
(2) 柱を入力する

間取り図に柱を追加します。ここでは1階の和室に柱を追加する手順を説明します。

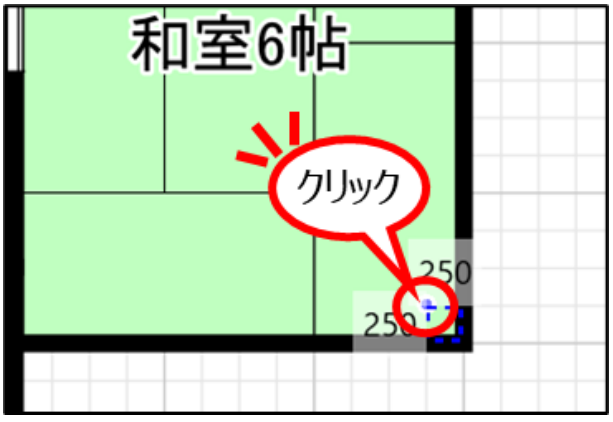


1 操作パネルで、柱・梁入力の「矩形」を選択します。

2 柱を配置する視点でクリックします。



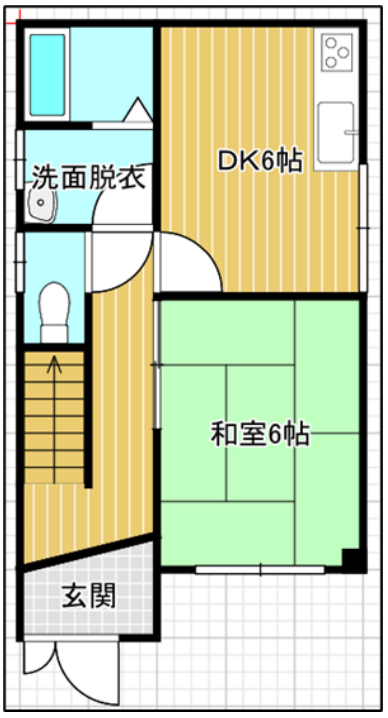
3 柱の対角の終点でクリックします。



POINT!

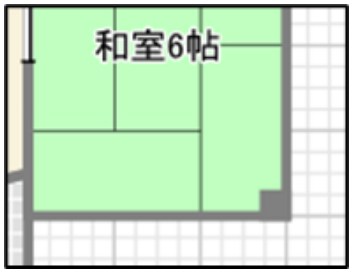
詳細なサイズの柱・梁を入力する場合は、グリッドの分割数を細かくします。

4 柱が入力されました。

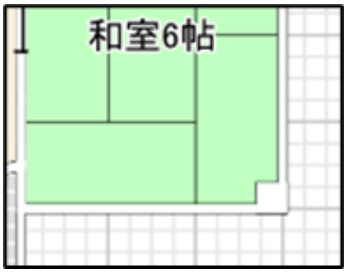


POINT!

柱の色がグレーまたは白の場合の表示は、以下のとおりです。



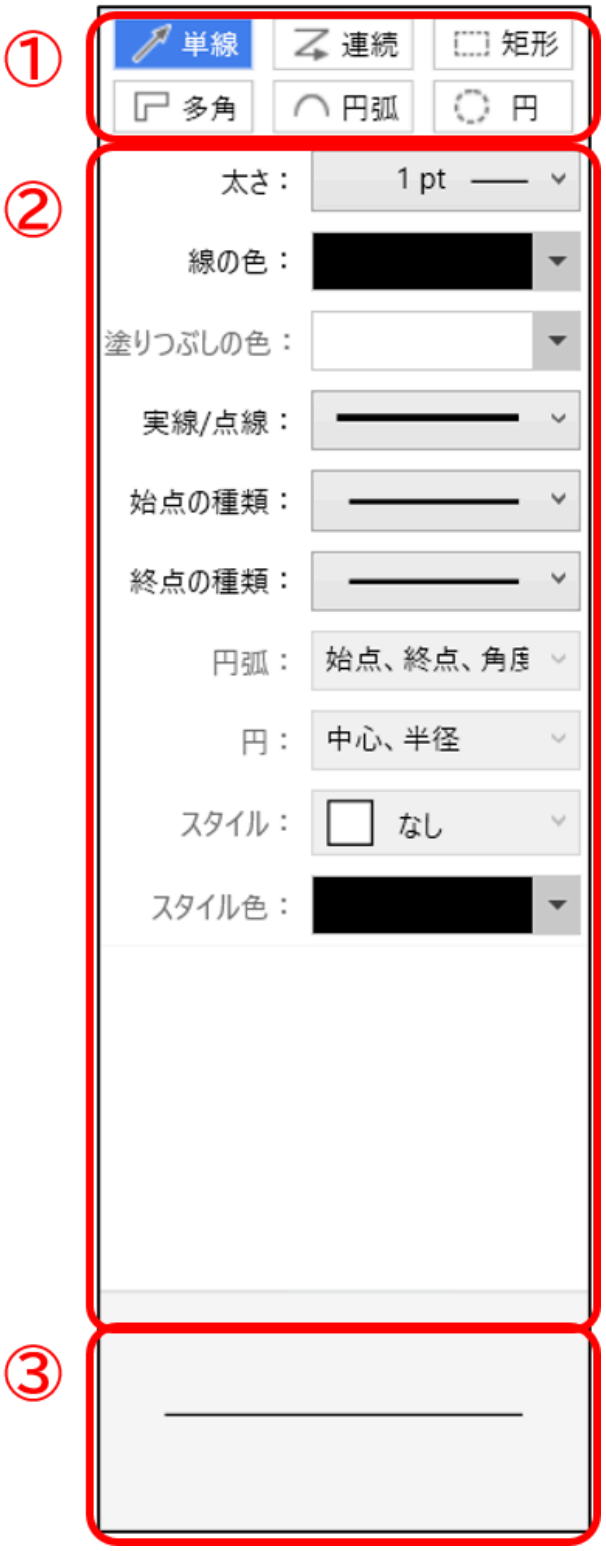
グレー



白

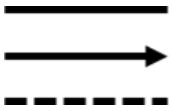
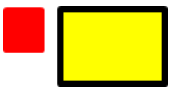
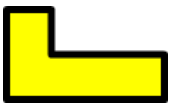
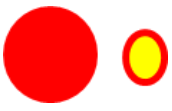
7-7　線図形入力

操作パネルの説明



① カテゴリー

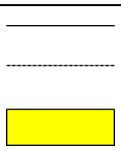
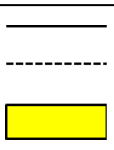
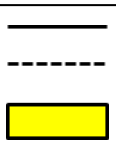
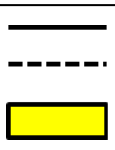
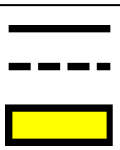
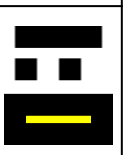
入力する図形を選択します。

カテゴリー	単線	連続	矩形	多角	円弧	円
イメージ						

多角入力方法は、
「6-1 （5）廊下を入力する（多角）」
「9-3 （10）効率の良い多角の部屋入力 」を参照。

② 設定

太さ：線の太さを設定します。

線の太さ	0.5	1	1.5	2	3	4	5	6	10
イメージ									

線の色：線の色をカラーパレットから選択します。

塗りつぶしの色：図形の場合、塗りつぶす色をカラーパレットから選択します。

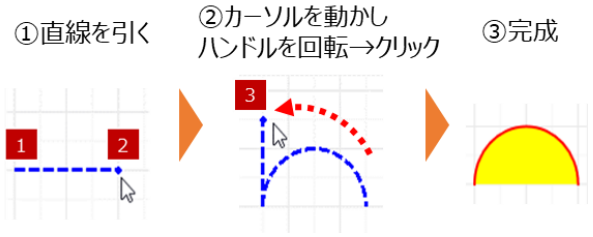
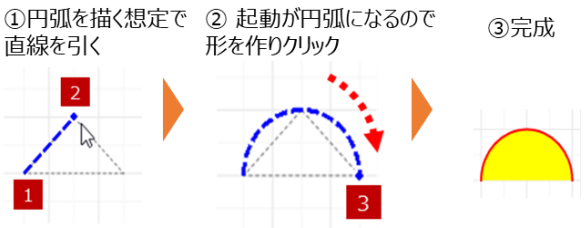
実線／点線：線の種類を選択します。（8種類）

線の種類	実線	点線(1)	点線(2)	点線(3)	点線(4)	長破線	一点鎖線	二点鎖線
イメージ								

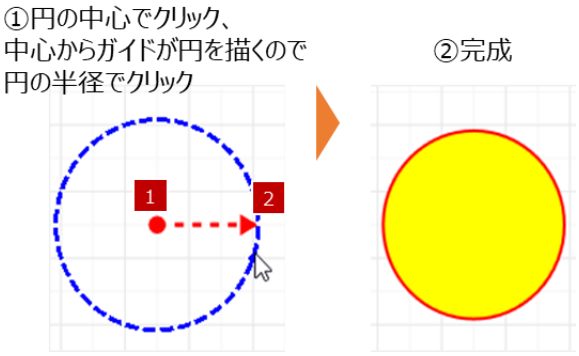
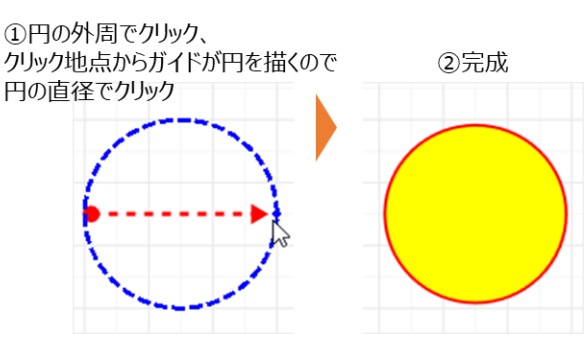
始点 / 終点の種類：始点 / 終点の形を矢印などにします。（6種類）

種類	矢印なし	矢印	開いた矢印	鋭い矢印	ひし形	丸
イメージ						

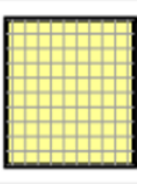
円弧：円弧の描き方を設定します。
操作パネルのカテゴリーで「円弧」を選択すると有効化します。

種類	始点・終点・角度	3点
描画方法		

円：円の描き方を設定します。
操作パネルのカテゴリーで「円」を選択すると有効化します。

種類	中心、半径	2点
描画方法		

スタイル：図形の場合、塗りつぶしに以下の模様を追加します。

模様	なし	ヨコ	タテ	格子	右斜め	左斜め	斜め格子
イメージ							

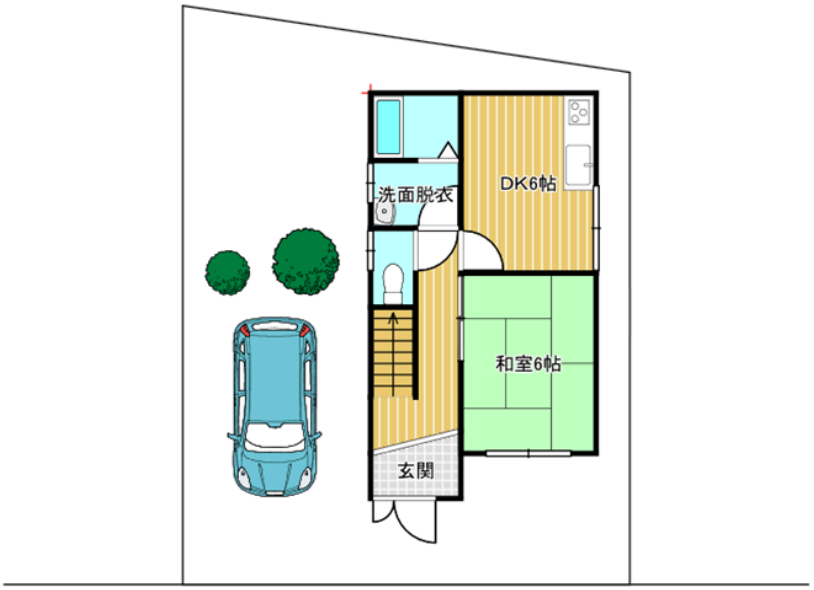
スタイル色：模様の線の色をカラーパレットから選択します。

③ プレビュー

設定した線図形のプレビューを表示します。

（1）敷地を入力する

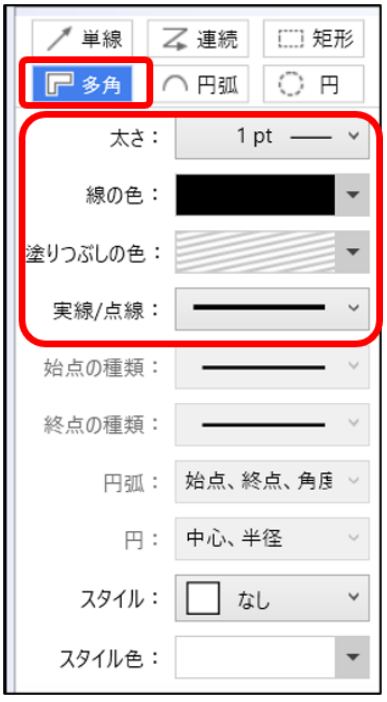
間取り図の外側に、敷地や道路を入力します。ここでは、多角形の敷地の入力手順を説明します。



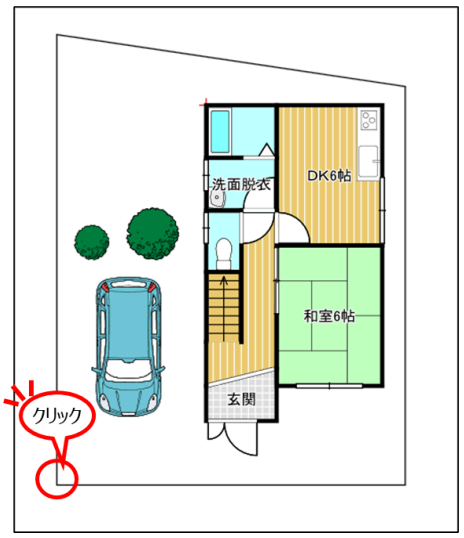
1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「線図形」をクリックします。

2 操作パネルで以下のとおり設定します。

カテゴリー：多角
太さ：1pt
線の色：黒
塗りつぶしの色：なし
実線／点線：実線



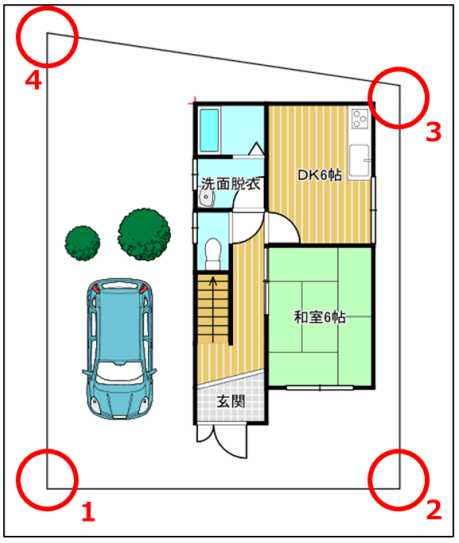
3 敷地の書き出し位置をクリックします。



4 すべての角を順番にクリックし、最後に書き出し位置をクリックします。

POINT!

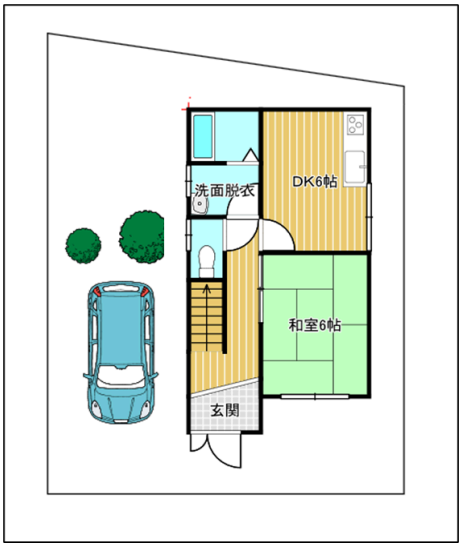
クリック地点を間違えた場合は、右クリックで解除します。



5 多角形の敷地が入力されました。

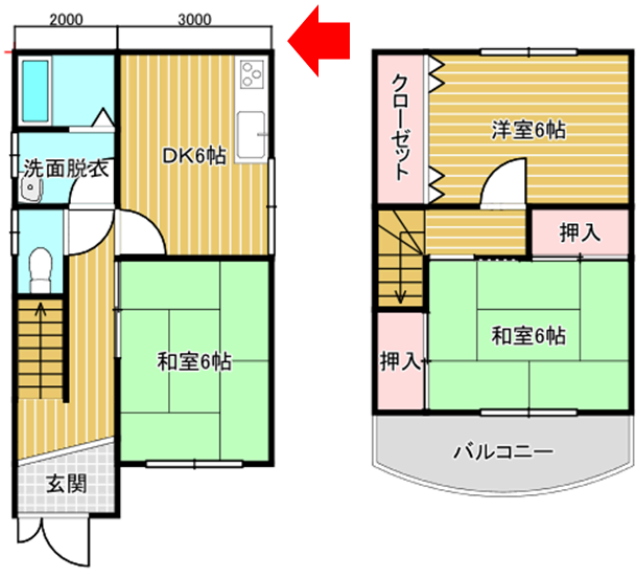
POINT!

道路を入力する場合は、カテゴリーで「単線」を選択します。
中央線は、実践/点線で任意の点線を選択してください。



7-8　寸法入力

間取り図の外側に、間取りの寸法を入力する手順を説明します。

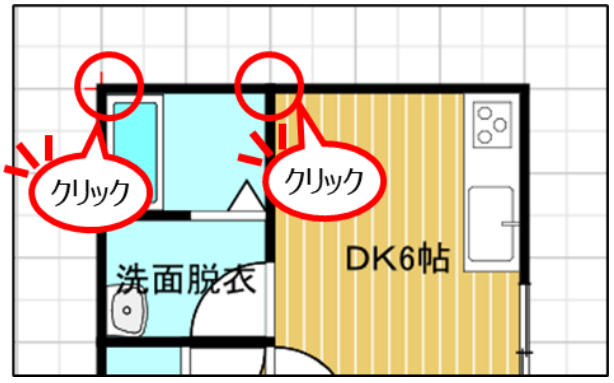


POINT!

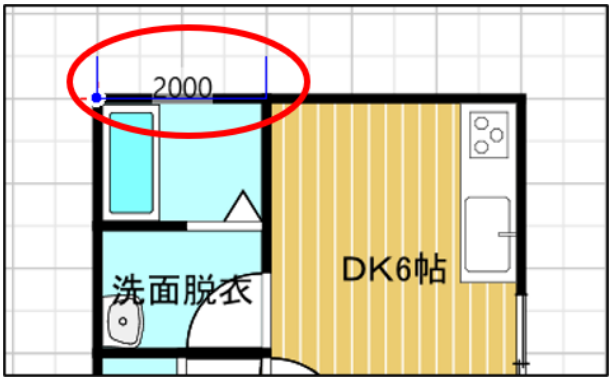
自動で寸法を入力する方法もあります。
「4-1 リボンの機能説明（3）表示タブのリボン」の「自動寸法表示」参照。

1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「寸法」をクリックします。

2 寸法を入力したい辺の始点と終点を順番にクリックします。

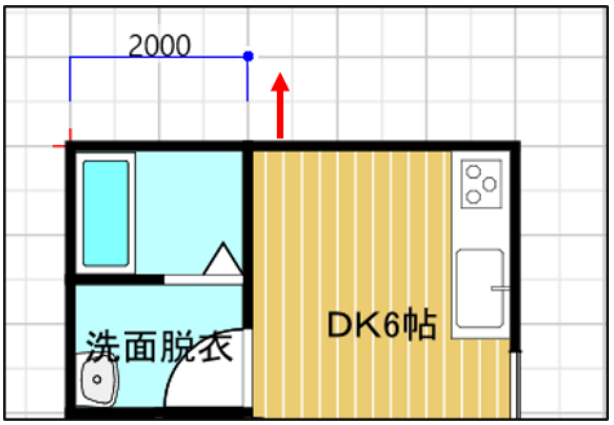


3 寸法が表示されます。



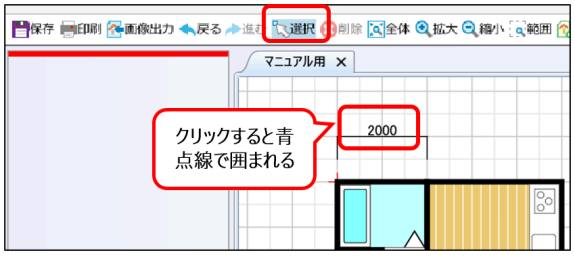
4 カーソルを動かして、クリックで寸法の位置を確定します。

同様にDKの寸法も入力します。

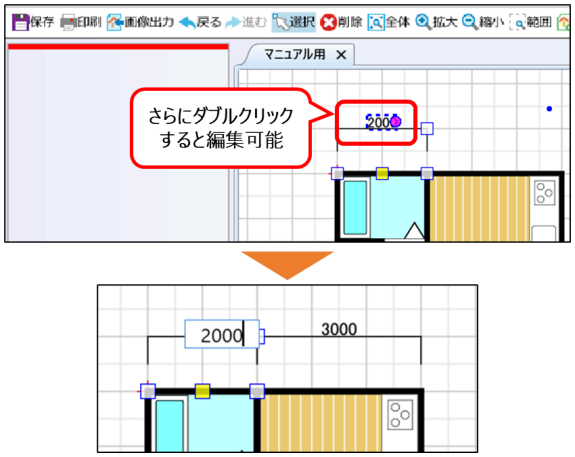


POINT!

(1) 寸法の数字は、変更できます。
ツールバーの「選択」をクリックし、数字部分をクリックします。
数字が青点線で囲まれます。

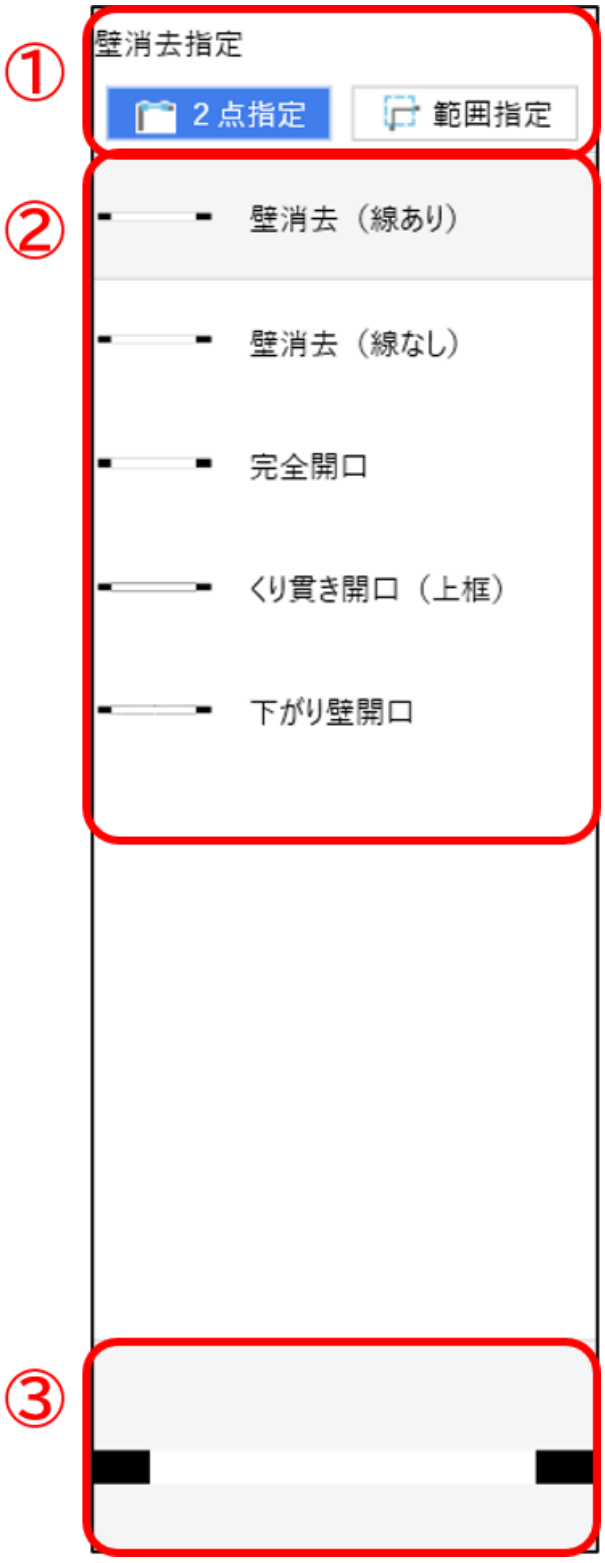


(2) さらに数字部分をダブルクリックすると文字編集モードになります。
※寸法値変更（文字編集）は数字以外の文字の入力も可能です。



7-9　壁消去

操作パネルの説明



① 壁消去指定

2点指定：壁上の2点をクリックして指定し、消去します。

範囲指定：指定した範囲内の壁を消去します。

② 壁消去パターン

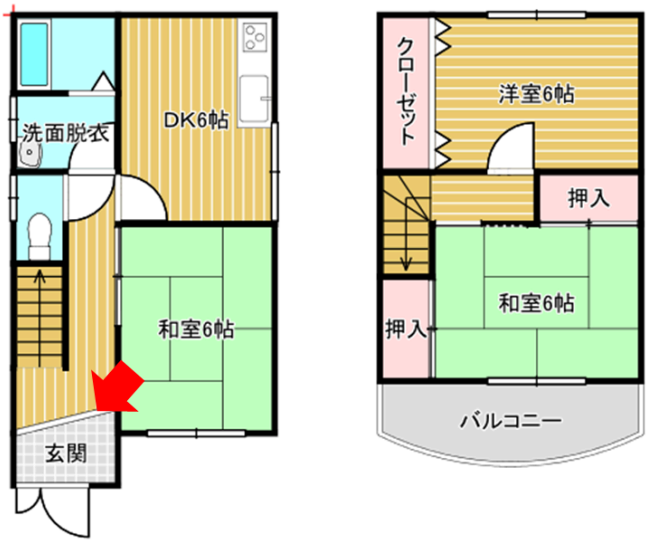
壁の消去後の描画方法を設定します。

③ プレビュー

②で選択した消去後のプレビューを表示します。

（1）壁を消去する

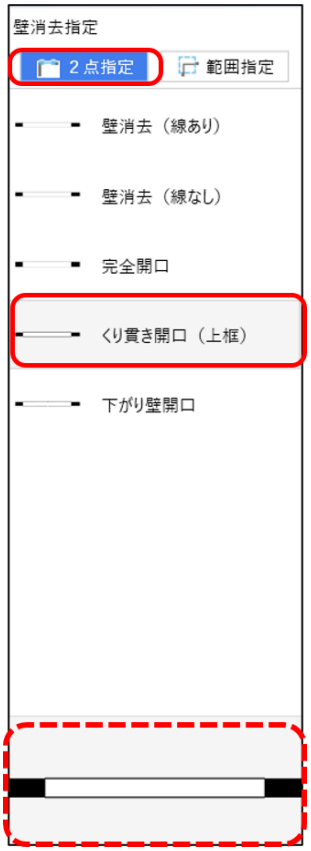
間取り図内の不要な壁を消去します。
今回は、玄関と廊下のあいだにある壁を消去し、上がり框（かまち）にする手順を説明します。



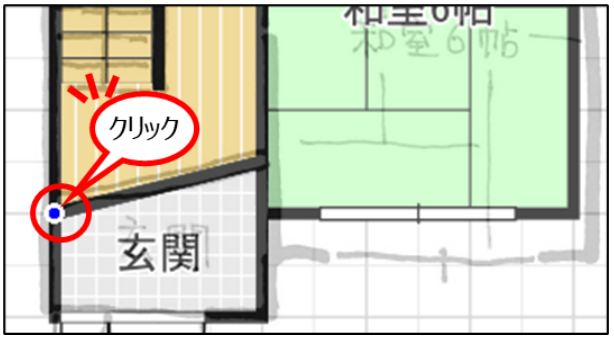
1 間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「壁消去」をクリックします。

2 操作パネルの「2点指定」を選択し、リストから「くり貫き開口（上框）」を選択します。

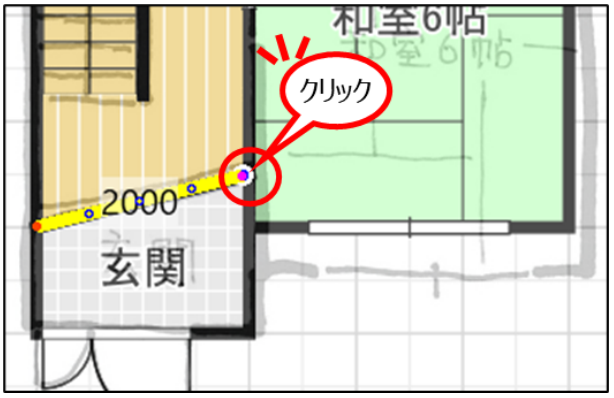
下側にプレビューが表示されます。



3 消去する壁の始点をクリックします。



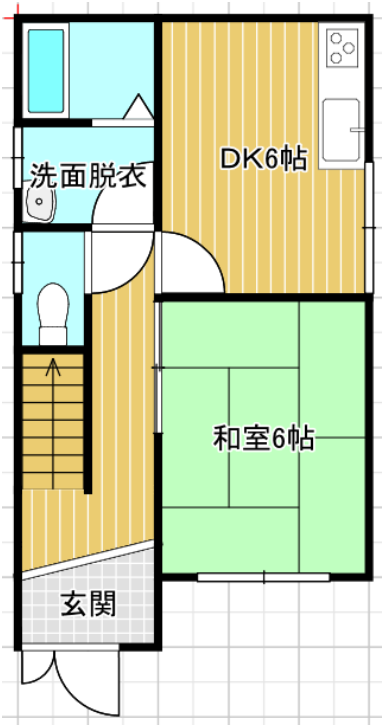
4 消去する壁の終点をクリックします。



POINT!

ドラッグではなく、順番にクリックします。

5 壁が消え、上がり框が入力されました。



POINT!

壁消去の機能で壁を消したあと、壁を再度表現するには、以下の方法があります。

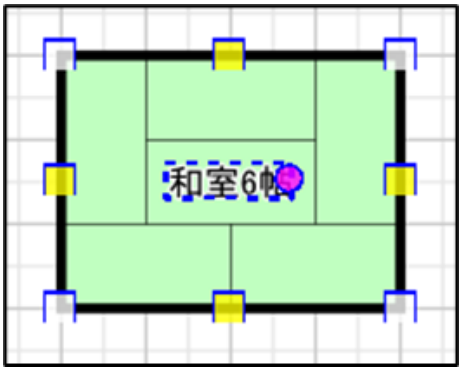
（1） 「壁・柱」の機能で壁を重ねて描画。
（2） 右クリックから壁の表示。

（2）壁を消去する（部屋選択）

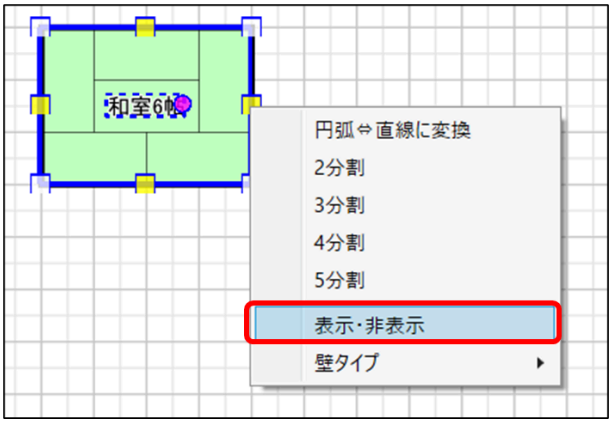
操作パネルを使用せずに、部屋を選択して壁を消去する手順を説明します。

1 ツールバーの選択をクリックします。

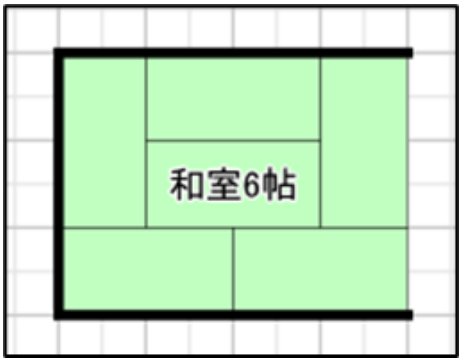
2 部屋をクリックし、選択状態にします。



3 消したい壁の黄色のハンドル上で右クリックし、表示されたメニューから「表示／非表示」を選択します。



4 壁が消去されます。

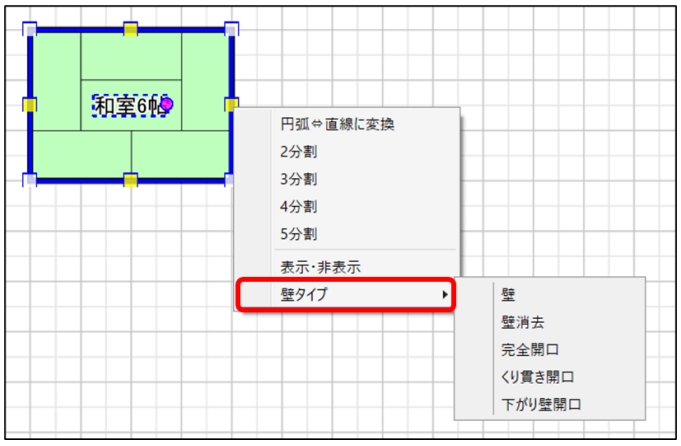


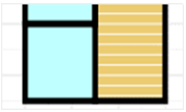
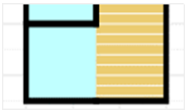
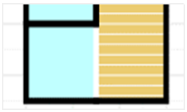
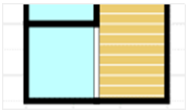
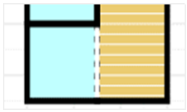
POINT!

壁を戻したい場合は、再度部屋を選択し、対象の壁の黄色いハンドル上で右クリックします。
表示されたメニューから「表示／非表示」を選択します。

POINT!

右クリックで表示されたメニューから「壁タイプ」を選択すると、消去後の処理方法（壁タイプ選択）が選択できます。

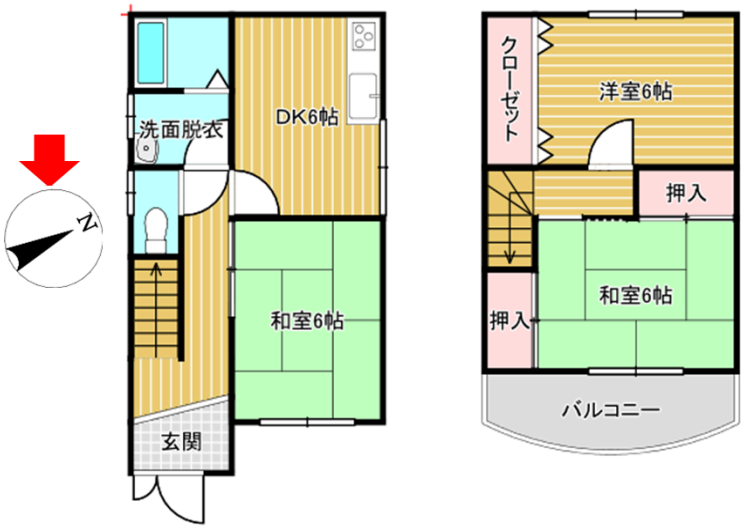


処理方法	壁（※）	壁消去	完全開口	くり貫き開口	下がり壁開口
イメージ					

※「壁」を選択すると、消去や壁タイプを変更した壁を元に戻します。

7-10　方位入力

間取り図の外側に、方位表示を入力する手順を説明します。



1　間取りクラウドの入力画面で、入力タブの「方位」をクリックします。

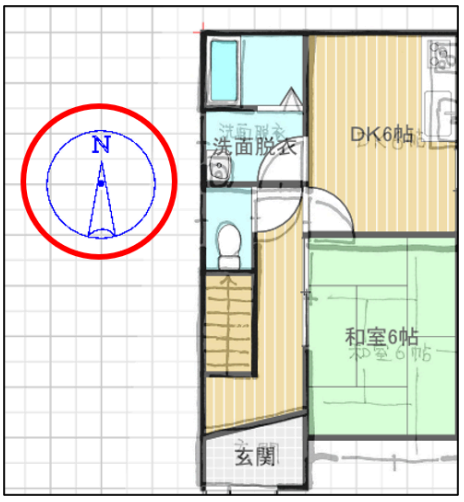
2　操作パネルに方位表示のリスト（26種類）が表示されるので、いずれかを選択します。

下側にプレビューが表示されます。

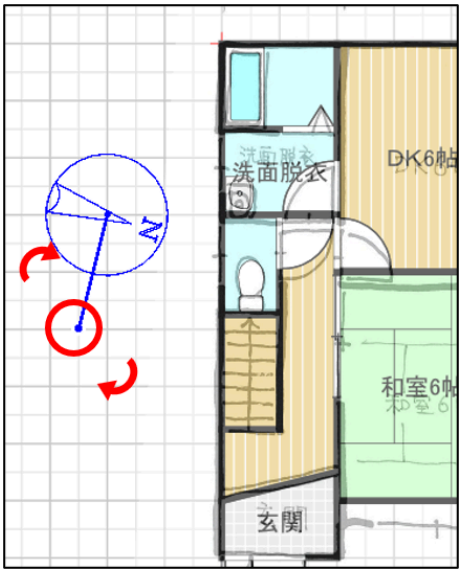
POINT!

プレビューの赤いポイント（ハンドルと言います）は基準点です。
備品を回転する場合の中心、またはグリッドによる縦横比を固定したサイズ変更の基準となります。
プレビュー内で、他の白いハンドルをクリックし、基準点を変更できます。

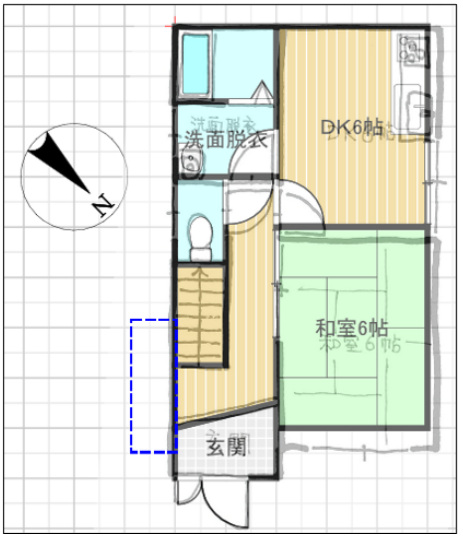
3 方位表示をクリックすると、作図領域に選択した方位が表示されるので、カーソルを動かして任意の位置に移動させます。



4 位置決定後クリックをすると、方位表示中央から支線が伸びるので、カーソルを回すように動かして向きを決めます。



5 再度クリックすると、方位表示が固定されます。



7-11　下絵の削除

ここまでで、間取りの入力が完了しました。必要のない下絵を削除します。

下絵の削除は「5-4 下絵を削除する」を参照。

8 印刷、画像の出力、ファイルの保存

印刷・画像の出力・ファイルの保存について説明します。

8-1　印刷

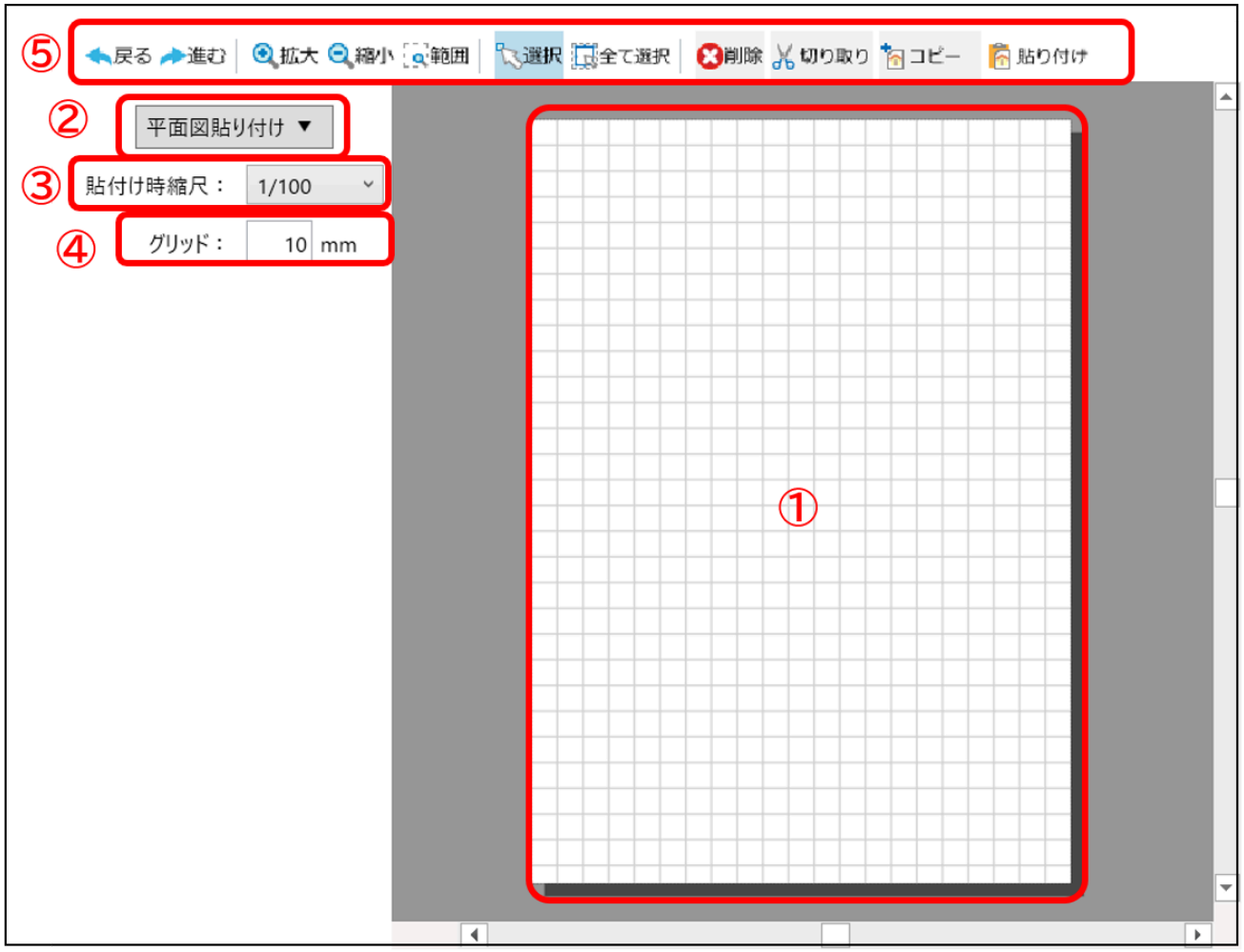
入力した間取り図を印刷します。

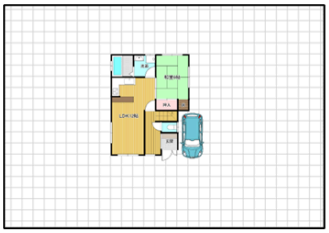
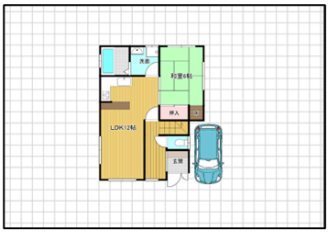
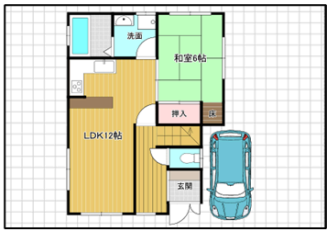
印刷設定画面の説明

・**印刷設定部**

番号	名称	説明
①	用紙	用紙のサイズを設定します。
②	方向	印刷の向きを選択します。
③	プリンター	ご使用になるプリンターを設定します。 **POINT!** お使いのPCに「Microsoft Print toPDF」がインストールされている場合は、作成した間取り図をPDFに変換できます。

・画像設定部



番号	名称	説明
①	プレビュー	印刷する間取り図を表示します。 POINT! 印刷設定画面を開いたときは、何も表示されていません。
②	平面図貼り付け	印刷する間取り図を、階層ごとに選択して貼り付けます。 POINT! 複数階の間取り図を貼り付けできます。 複数貼り付け後は、「⑤プレビュー操作」を参考に配置します。
③	貼り付け時縮尺	貼り付ける間取り図の縮尺サイズを選択します。 1/30、1/50、1/75、1/100、1/150、1/200、1/250、1/300  縮尺 1/100で貼り付け  縮尺 1/75で貼り付け  縮尺 1/50で貼り付け

		POINT! 貼付けた間取り図を選択し、その上で右クリックすると 貼付け後にも縮尺の変更は可能です。
④	グリッド	プレビュー上のグリッドのサイズを設定します。（任意入力、mm 単位）
⑤	プレビュー操作	貼り付けた間取り図を選択し、移動、削除などの編集をします。

（1）間取り図を印刷する

印刷の手順を説明します。

1 間取りクラウドの入力画面で、ファイルタブをクリックします。

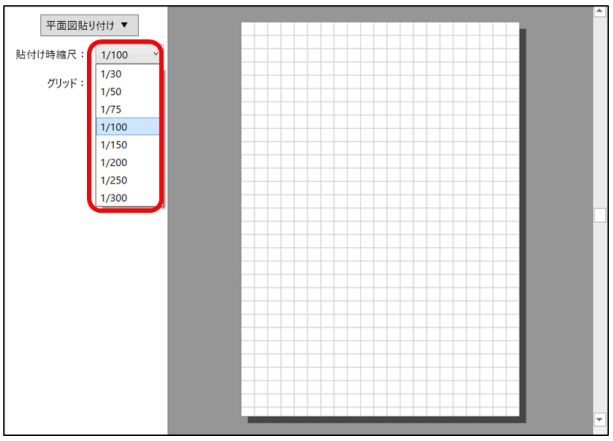
または、ツールバーの「印刷」をクリックします。

2 左メニューの「印刷」をクリックします。

3 用紙サイズ、方向（印刷向き）、使用するプリンターを設定します。

4

「貼り付け時尺度」をクリックし、間取り図の大きさ（縮尺）を設定します。
このとき、プレビューには何も表示されていません。

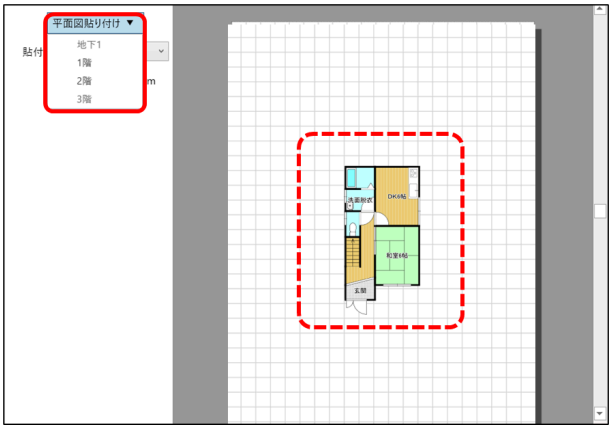


POINT!

尺度は、慣れるまで1/100で貼り付けることをお勧めします。
間取り図を貼り付け後に、尺度の変更ができます。

5

「平面図貼り付け」をクリックし、印刷する階層を選択します。
プレビューに、選択した階層の間取り図が貼り付けられます。

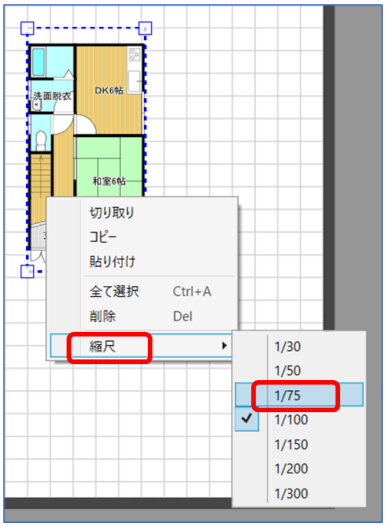


POINT!

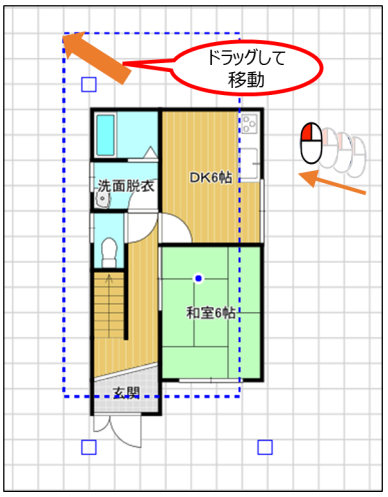
貼り付けた間取り図の尺度が小さい、または大きい場合は、尺度を変更できます。

①貼り付けた間取り図をクリックし、選択状態にします。

②選択状態の間取り図の上で右クリックし、表示されたメニューから「尺度」を選択して任意の尺度を選択します。



③尺度変更後は中央に配置されませんので、間取り図をドラッグして移動します。



6 間取り図の貼り付け後、「印刷」をクリックします。

（2）複数の階層をまとめて印刷する

複数の階層をまとめて印刷できます。
ここでは、1階と2階をA4サイズに印刷する手順を説明します。

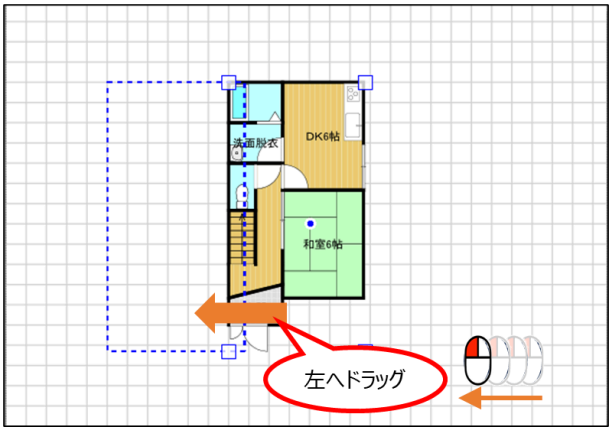
POINT!

あらかじめ作図領域に1階と2階をまとめておく方法もあります。
詳細は「（8）1階と2階を並べて表示する」参照。

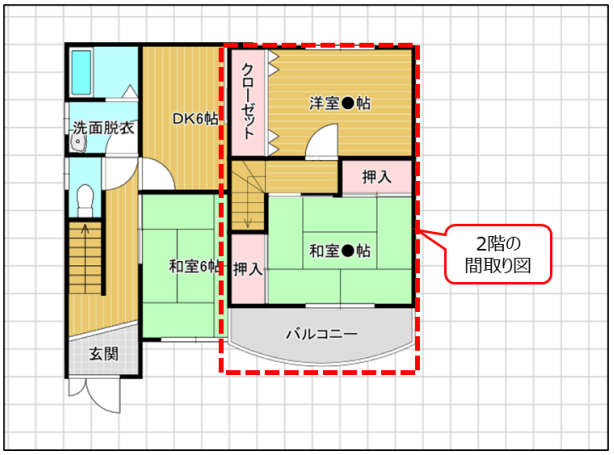
1 印刷画面を開き、以下のとおり設定します。
用紙サイズ：A4
方向：横
プリンター：使用するプリンター

2 「貼り付け時尺度」で1/75を選択し、「平面図貼り付け」で1階を選択します。
プレビューの中央に1階の間取り図が貼り付けられます。

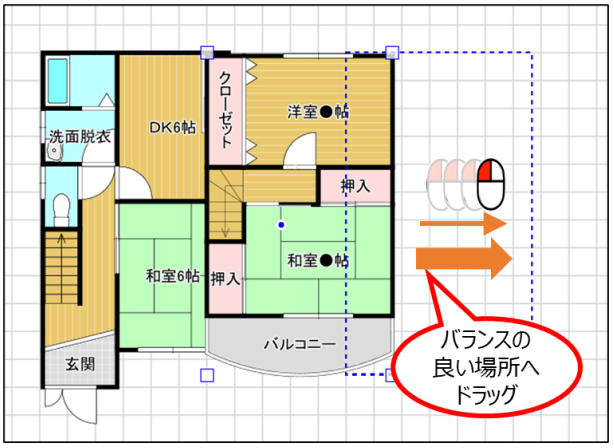
3 1階の間取り図をクリックし、選択状態にします。
再度クリックし、そのまま左にドラッグします。



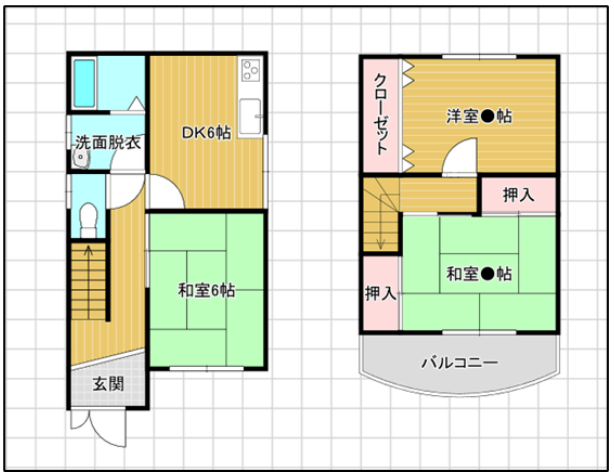
4 つぎに、「貼り付け時尺度」で1/75を選択し、「平面図貼り付け」で2階を選択します。
プレビューの中央に2階の間取り図が貼り付けられます。



5 2階の間取り図をクリックし、選択状態にします。
再度クリックし、そのままバランスの良い場所にドラッグします。



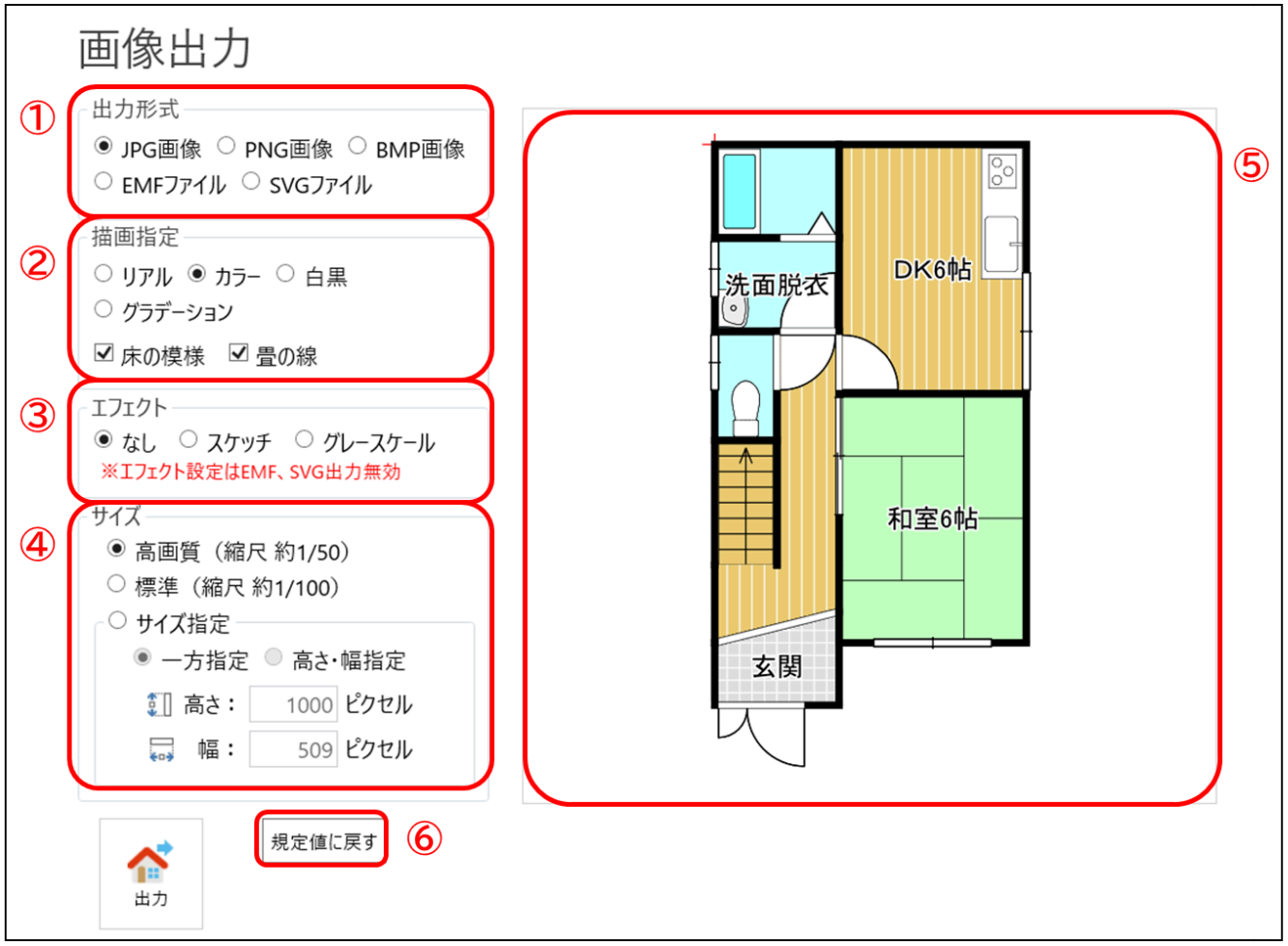
6 A4横向きの紙に、1階と2階の間取り図が配置されました。



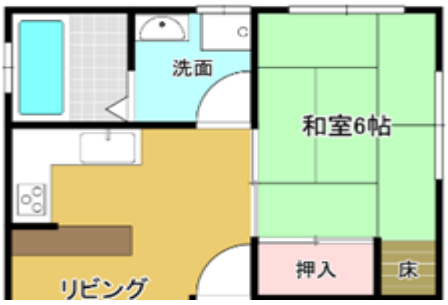
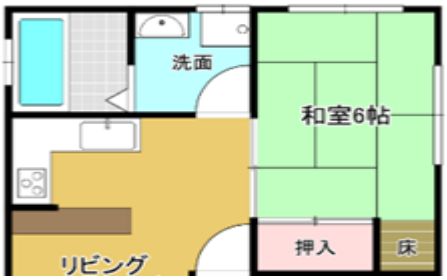
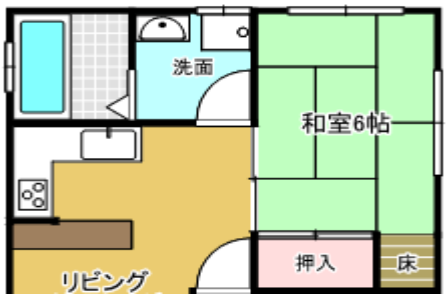
8-2　画像出力

入力した間取り図を画像に出力します。
出力設定画面で、実際の間取り図とは異なる描画設定やサイズに変更できます。
例えば、カラーで入力した間取り図を、作図領域で修正することなく白黒で出力できます。

出力設定画面の説明



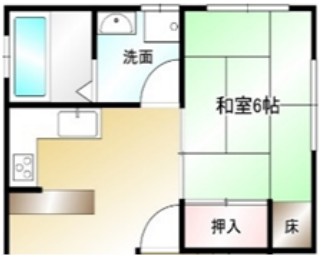
番号	名称	説明
①	出力形式	出力形式を選択します。 JPG画像：Webサイト登録などの一般的な画像形式です。

		PNG画像：背景が透過の画像形式です。  BMP画像：ビットマップ画像、ファイルサイズが大いです。  EMFファイル：Wordなどに貼り付けるキレイな線データです。  SVGファイル：イラストレーターで編集可能な形式です。 ※ビジネスプラン専用機能
②	描画指定	床の表現方法を設定します。（グラデーションはビジネスプラン専用機能）

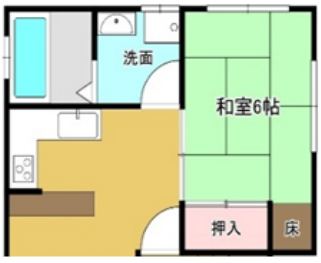
リアル

カラー

白黒



グラデーション(斜め)



床模様 オフ

畳の線 オフ

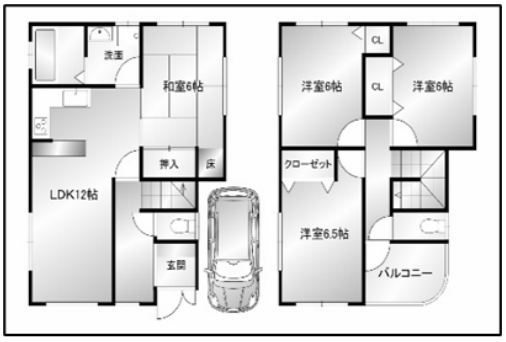
POINT!

ここで設定した内容は出力する画像にのみ適用されます。
入力画面の間取り図には影響ありません。

③	エフェクト	エフェクト効果を設定します。（スケッチはビジネスプラン専用機能）

エフェクトなし

スケッチ



グレースケール（グラデーション）

POINT!

・エフェクト設定はEMF形式、SVG形式の出力では無効となります。

		・ここで設定した内容は出力する画像にのみ適用されます。 入力画面の間取り図には影響ありません。
④	サイズ	出力画像の画質を以下から選択します。 ・高画質（縮尺 約1/50） 1458ピクセル×582ピクセル／ファイルサイズ：280KB ・標準（縮尺 約1/100） 729 x 431ピクセル／ファイルサイズ：116KB ・サイズ指定 一方指定：高さ、または幅の一方のサイズをピクセル単位で指定します。 もう一方は同じ比率で自動入力されます。 高さ・幅指定： 高さと幅の両方のサイズをピクセル単位で指定できます。 ※最大2000ピクセル

⑤	プレビュー	②、③で設定した内容の画像を表示します。
⑥	規定値に戻す	クリックすると、変更した設定を元に戻します。

（1）間取り図を画像出力する

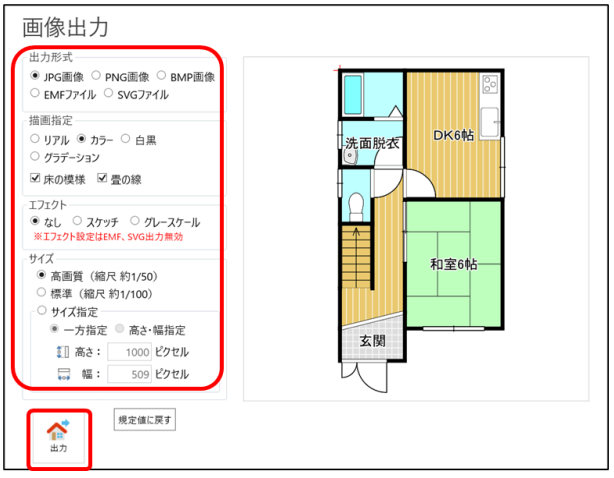
画像出力の手順を説明します。

1 間取りクラウドの入力画面で、ファイルタブをクリックします。

または、ツールバーの「画像出力」をクリックします。

2 左メニューの「画像出力」をクリックします。

3 「出力設定画面の説明」を参考に、出力設定をし、「出力」をクリックします。



4 任意の保存場所を選択し、ファイル名を付けて「保存」をクリックします。

POINT!

・作図領域内のすべてを画像出力します。
下絵や不要なパーツは事前に表示フィルターで非表示にしたり、削除してください。

・複数階を並べて画像にしたい場合は、「9-3（8）1階と2階を並べて表示する」を参照。

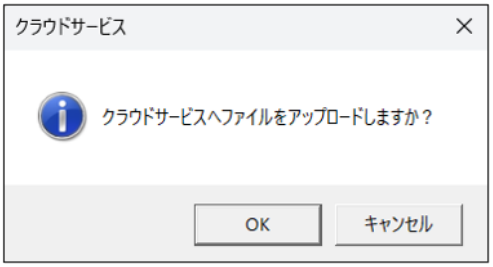
8-3　ファイル保存

入力した間取り図を保存します。
間取り図は、拡張子「.mdzx 」でPC内に保存されます。
クラウドに接続している場合は、同時に自動でクラウドストレージにも保存（アップロード）されます。

クラウドストレージの保存容量は、以下のとおりです。
・ベーシックプラン＝50MB
・ビジネスプラン＝750MB

POINT!

・自動保存（アップロード）を停止するには、クラウドタブを開き、「クラウドへの保存」で「常に確認」を選択します。
保存の際に以下のメッセージが表示され、保存（アップロード）の要否が選択できます。



・クラウドタブのリボンで「切断」を押した状態にすると、「接続」を押すまではクラウドへの保存が完全に停止されます。

（1）間取り図を名前をつけて保存する

1 間取りクラウドの入力画面で、ファイルタブをクリックします。

または、ツールバーの「保存」をクリックします。

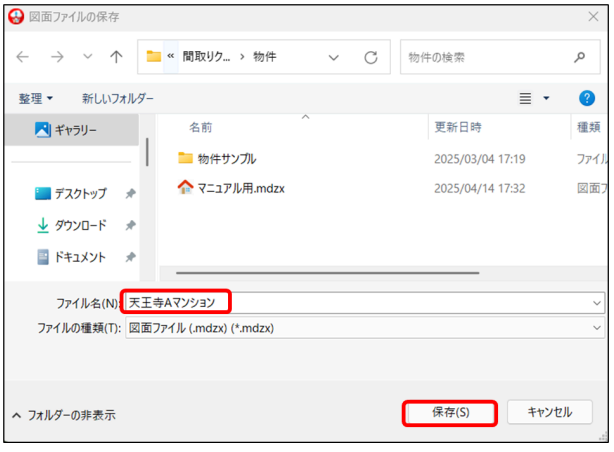
2 左メニューの「名前を付けて保存」をクリックします。

POINT!

保存する間取り図に下絵がある場合は、下絵も同時に保存されます。

3 保存画面が開くので「参照」をクリックします。

4 ファイル名（N）に名前を入力し「保存」をクリックします。



（2）間取り図を上書き保存する

1 間取りクラウドの入力画面で、ファイルタブをクリックします。

または、ツールバーの「保存」をクリックします。

2 左メニューの「上書き保存」をクリックし保存します。

とくにメッセージなどは表示されませんが、元のファイルに上書きで保存されます。

POINT!

保存する間取り図に下絵がある場合は、下絵も同時に保存されます。

(3) クラウドに保存したファイルを開く

1 間取りクラウドの入力画面で、クラウドタブの「ストレージ」をクリックします。

POINT!

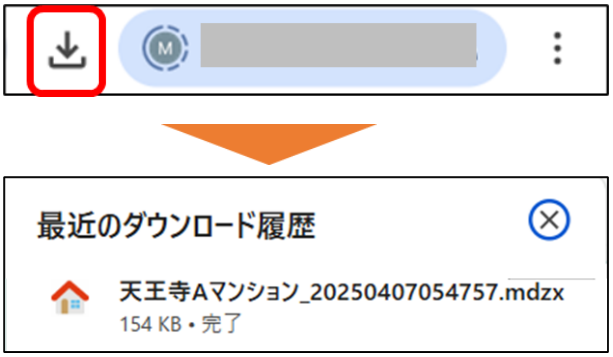
インターネットに接続されていない状態では、クラウドタブは以下のように表示されます。
「接続」をクリックし、インターネットにつなげてください。

2 クラウドストレージ画面が開きます。
開きたいファイルにチェックを入れ、「ダウンロード」をクリックします。

3 ダウンロードしたファイルを開きます。

●ブラウザがMicrosoft Edgeの場合
画面右上に、ダウンロード完了のメッセージが表示されます。
「ファイルを開く」をクリックします。

●ブラウザがGoogle Chromeの場合
ツールバーのダウンロードマークをクリックし、表示されたメッセージをクリックします。



POINT!

クラウドストレージに表示されるユーザー名は、クラウドタブのリボンで設定できます。

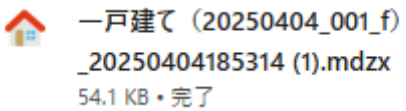
①リボンの「ユーザー名変更」をクリックします。

②設定画面が表示されるので、ユーザー名を入力して「OK」をクリックします。

③クラウドストレージに設定したユーザー名が表示されます。

POINT!

ブラウザによって表示内容が異なります。
edgeの場合「ファイルを開く」が表示
chromeの場合「ファイルを開く」は表示されずに保存名だけが表示

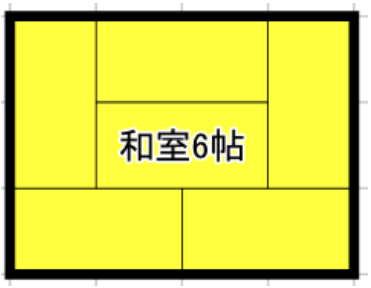


9 こんなときは・・・

間取りクラウドをご利用いただいている中で、「こんなときは、どうすればいいのだろう？」と思うことがあるかもしれません。
この章では、よくある疑問や応用的な使い方に対する具体的な解決策をご紹介します。
これを参考に、よりスムーズで効率的に間取りクラウドをご活用ください。

9-1　新たな部屋を部屋リストに追加したい

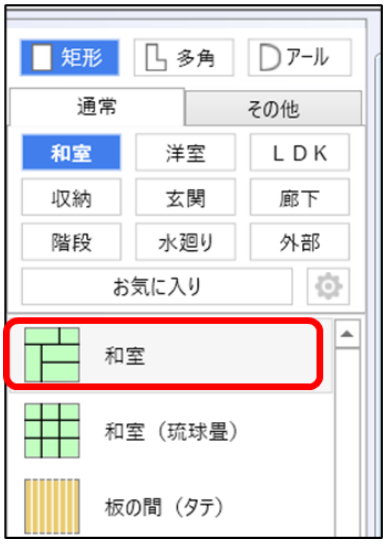
入力タブのリボンで部屋名やデザインを変更した部屋を、操作パネルの部屋リストに追加します。
ここでは、黄色い和室を新規登録します。



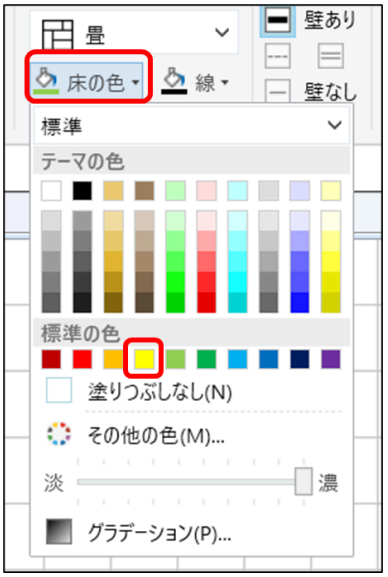
POINT!

環境設定でも、新たな部屋を部屋リストに追加できます。
詳細は「9-8 （2）部屋リストをカスタマイズ中に新たな部屋を追加する」を参照。

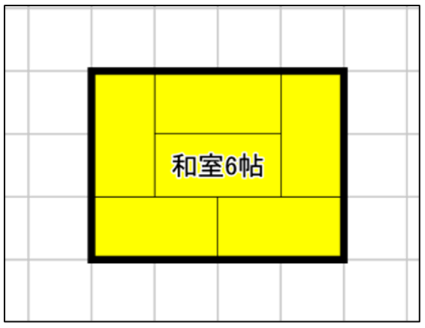
1 部屋リストから「和室」を選択します。



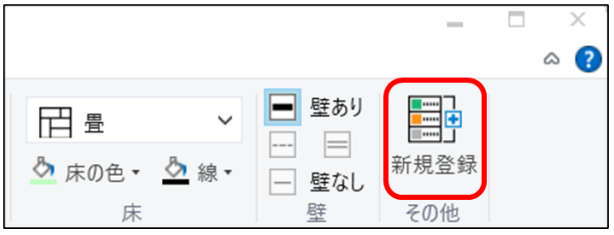
2 「床の色」のカラーパレットから「黄色」を選択します。



3 作図領域に和室を入力します。黄色の和室が入力されます。



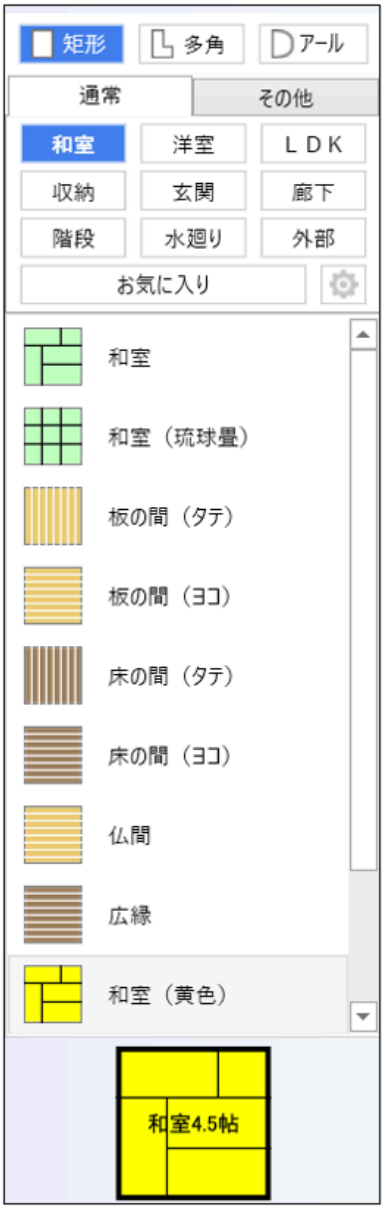
4 リボンのいちばん右にある「新規登録」をクリックします。



5 新規登録ウィンドウが表示されるので、保存場所とリスト表示名を設定し、「新規登録」をクリックします。

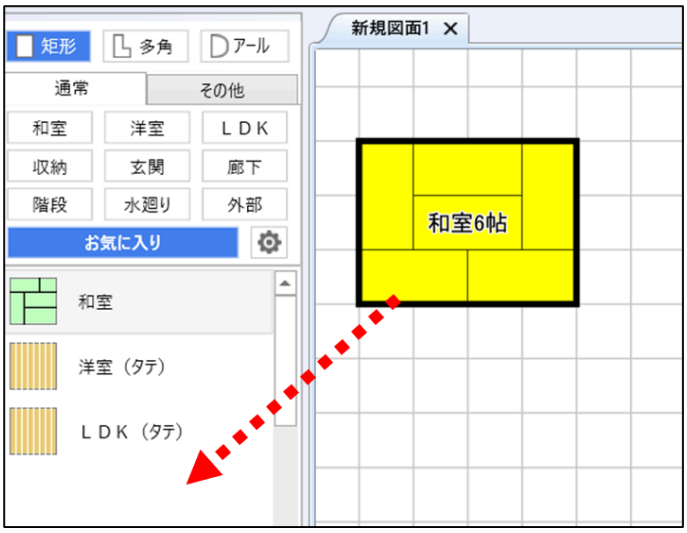
6 確認メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

7 部屋リストに「和室（黄色）」が登録されました。



9-2　よく使う部屋をお気に入りに登録したい

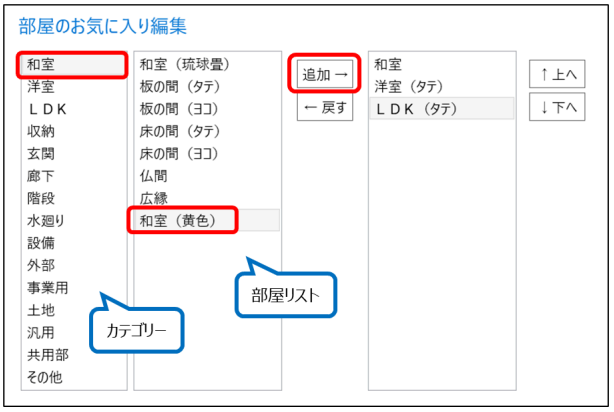
部屋入力において、よく使う部屋を「お気に入り」に登録し、すぐに使えるようにします。
ここでは、黄色い和室をお気に入り登録します。



1　操作パネルで「お気に入り」をクリックします。

2　歯車マーク（設定マーク）をクリックします。

3 部屋のお気に入り編集画面が開くので、以下をクリックします。
・カテゴリー欄：和室
・部屋リスト欄：和室（黄色）
・「追加→」ボタン



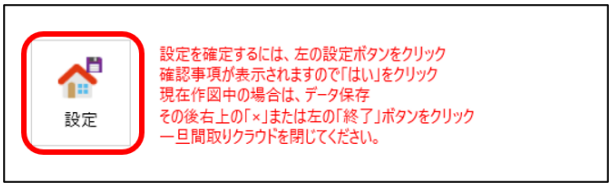
4 お気に入りリスト欄に「和室（黄色）」が移動します。

POINT!

・「↑上へ」「↓下へ」ボタン：
お気に入りリスト欄の部屋名を並べ替えます。
・「←戻すボタン」：
お気に入りリスト欄から部屋名を削除します。

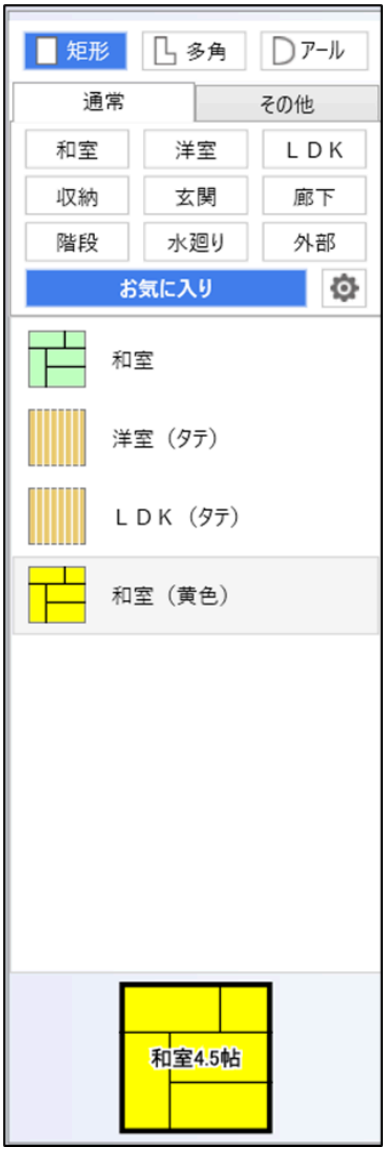
5 「設定」をクリックします。

設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます



6 確認メッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

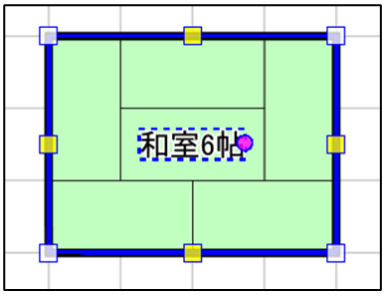
6 操作パネルのお気に入りに「和室（黄色）」が登録されました。



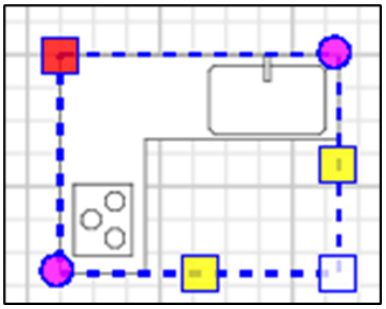
9-3　入力した間取り図を修正したい

入力後の間取り図の修正は、ツールバーの「選択」を使用します。

修正したい部屋や備品の上でクリックすると、対象が選択され**選択モード**になります。

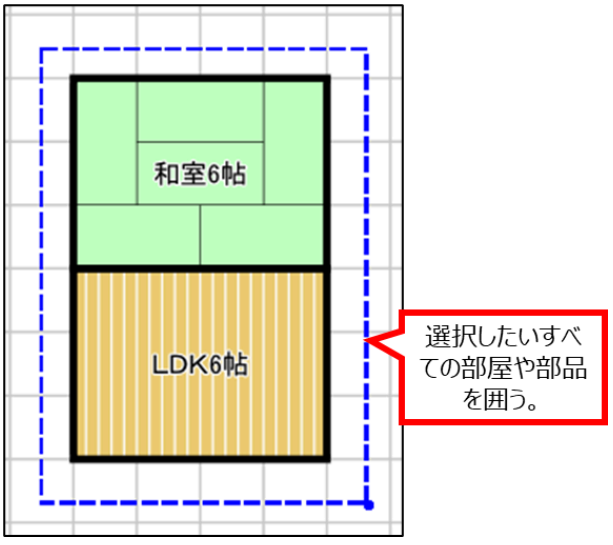


部屋を選択



備品を選択

また、修正対象が複数ある場合、入力画面の余白のところでクリックし、修正対象を囲むようにマウスを動かし囲みきったところで再度クリックすることで、複数選択することができます。



POINT!

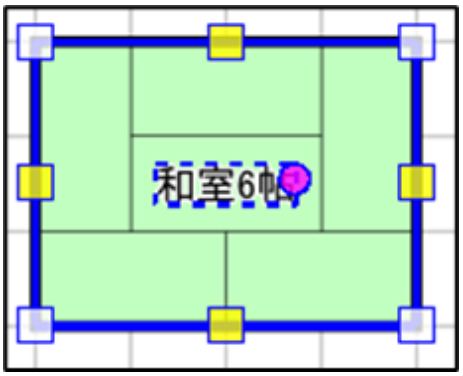
キーボードでの複数選択も可能です。
キーボードの［Ctrl］キーを押しながら、複数の修正対象を次々とクリックしていくことで複数選択が可能です。

選択モードにすると、自動的に編集タブのリボンに切り替わります。
選択したパーツによってリボンの表示内容が変わります。

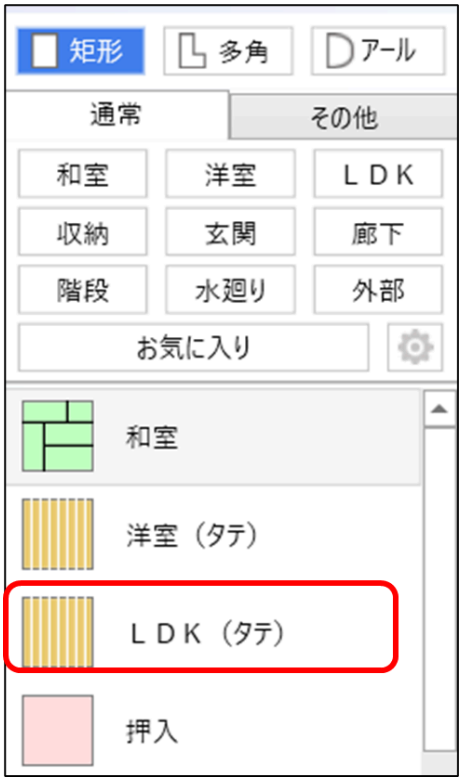
（1）パーツの種類を変更する

選択モードのパーツ（建具、備品などすべて）の種類を瞬時に変更できます。
例として、和室をLDKに変更する方法を説明します。

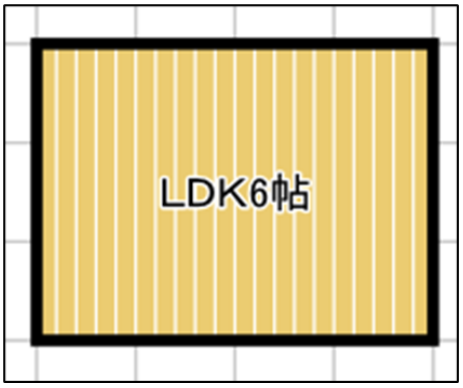
1 変更したい部屋を選択します。



2 部屋リストからLDKをクリックします。

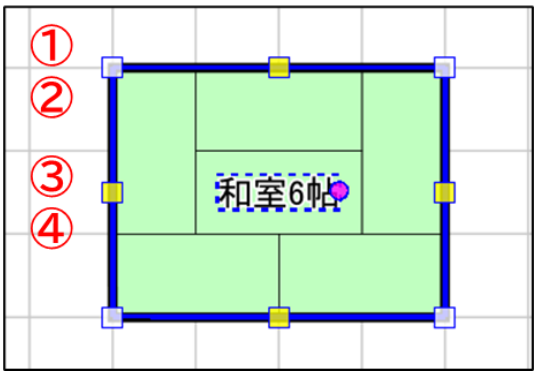


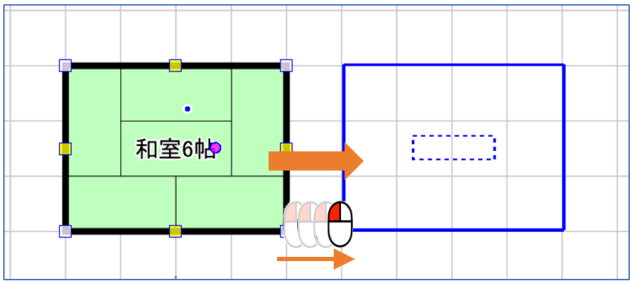
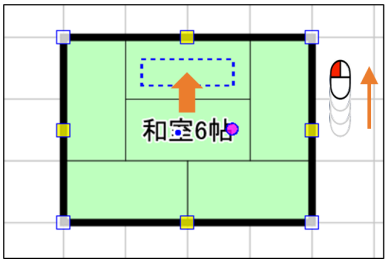
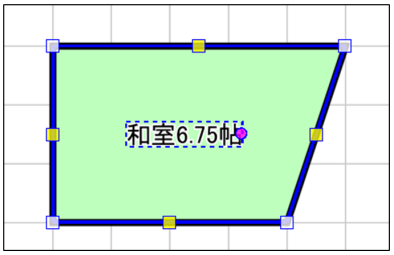
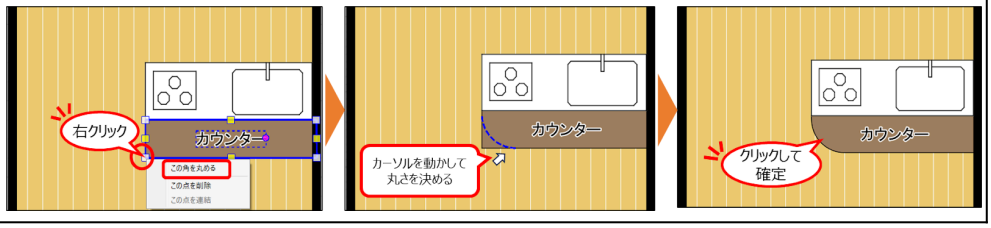
3 和室がLDKに切り替わります。

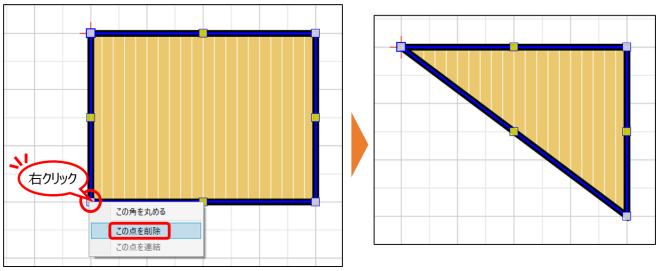
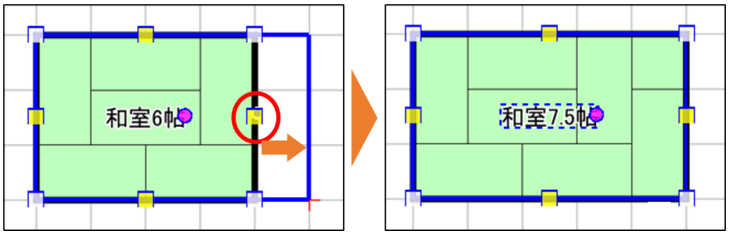


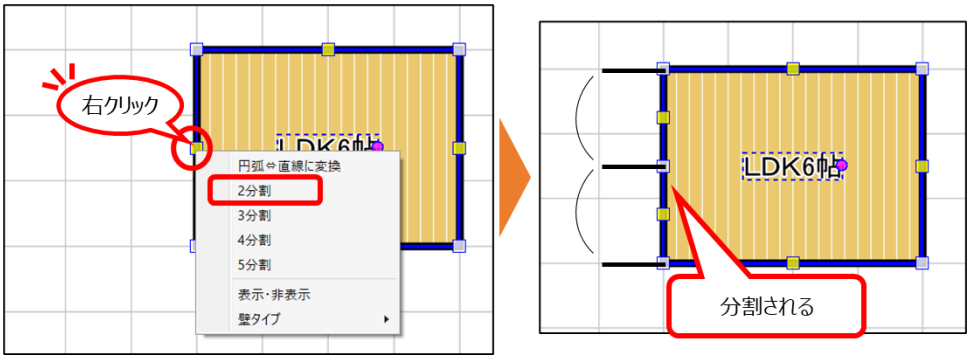
（2）部屋を修正する

選択モードの部屋は、角と壁にハンドルが表示されます。
ハンドルを操作することで、部屋の大きさを修正できます。



	説明
ー	選択モードの部屋は、ドラッグして移動できます。  ※部屋名をドラッグすると文字のみが移動します。 
①	角の白いハンドルを上下左右に移動し、自由に変形できます。 変形した形に合わせて、帖数も変更します。 
②	角の白いハンドルで右クリックすると、以下の操作メニューが表示されます。
この角を丸める	角を丸めます。丸みの調整は、カーソルを移動させてクリックします。 

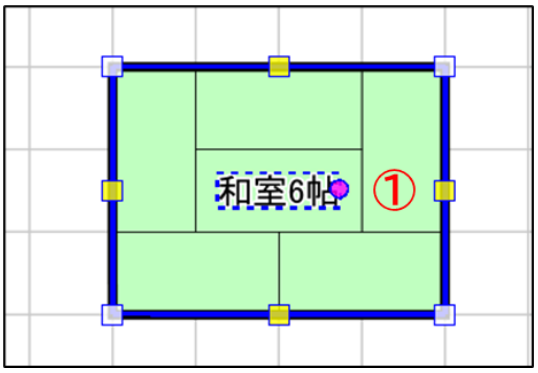
<table>
<tr><td></td><td>この点を削除</td><td>角を削除します。
四角い部屋は、1／2の三角形になります。
 
</td></tr>
<tr><td></td><td>この点を連結</td><td>「壁・柱」で入力した2つ以上の単線の壁で利用できます。
連結することで「くり貫き開口（上り框）」などで境界線が出なくなります。</td></tr>
<tr><td>③</td><td colspan="2">黄色いハンドルをドラッグすると、縦横一方のサイズを変更できます。
変更したサイズに合わせて、帖数も変更します。
 
</td></tr>
<tr><td>④</td><td colspan="2">黄色のハンドル上で右クリックすると、以下の操作メニューが表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>円弧⇔直線に変換</td><td>直線を円弧（アール）にします。また、円弧を直線にします。
円弧の調整は、黄色のハンドルを移動させます。
</td></tr>
<tr><td></td><td>2分割
3分割
4分割
5分割</td><td>壁を2 ~ 5分割します。

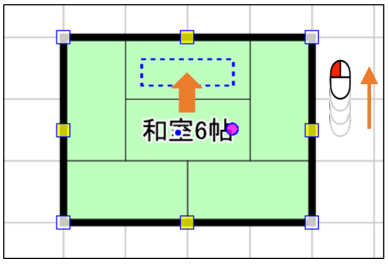
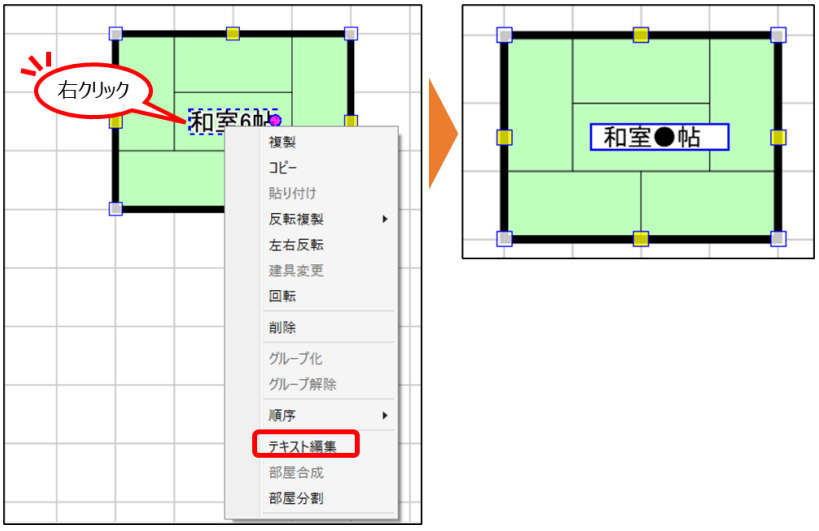
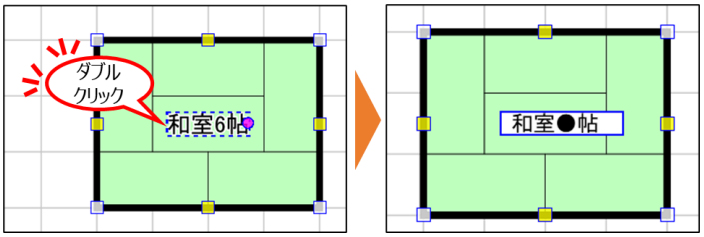
2分割の例
 
</td></tr>
</table>

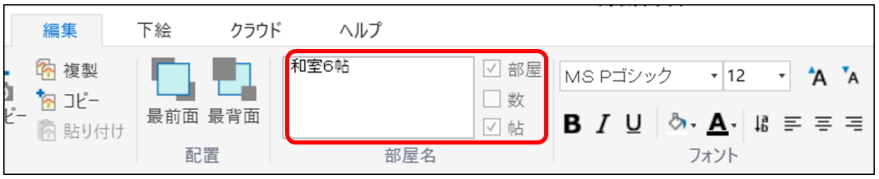
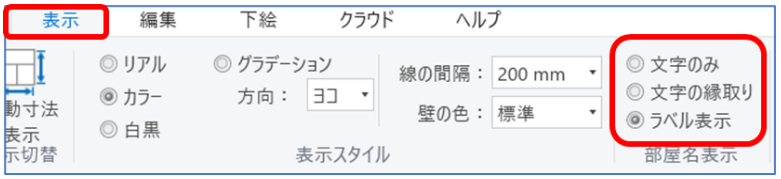
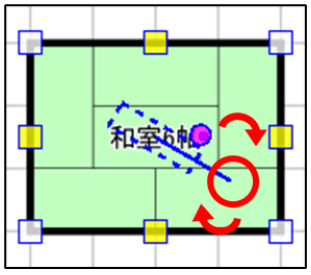
	表示・非表示	壁の表示／非表示を切り替えます。
	壁タイプ	以下のメニューが表示されるので、壁のタイプを変更します。 壁消去 完全開口 くり貫き開口 下がり壁開口

（3）部屋名を修正する

選択モードの部屋の、部屋名の文字や向きを修正します。



修正内容	説明
移動	部屋名は、ドラッグして移動できます。 
文字の編集	部屋名は、以下の方法で修正できます。 ・文字の上で右クリック、表示されるメニューの「テキスト編集」で編集。  ・部屋名の上でダブルクリックして編集。 

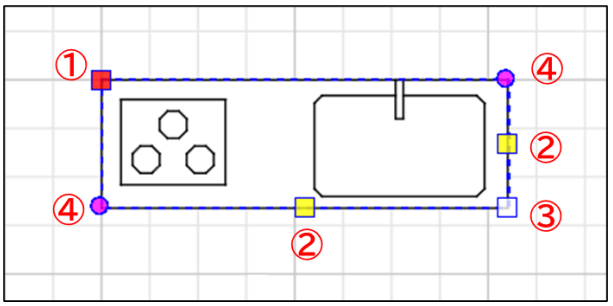
	・リボンの部屋名テキストボックスで編集。  ※部屋名テキストボックスの詳細は、「4-1 （1）入力タブのリボン」を参照。
部屋名表示	文字の縁取りやラベルの変更は、部屋名を選択した状態で「表示タブ」をクリックし、「部屋名表示」で変更します。 
文字の向き	ピンク色のハンドルをクリックすると支線が表示されるので、回転させて文字の向きを変更できます。 
縦書き	リボンの縦書きアイコンをクリックします。 ※縦書きにする場合、英数字を全角にしてください。

POINT!

部屋名以外の文字編集で入力した文字も同様に修正や回転もできます。

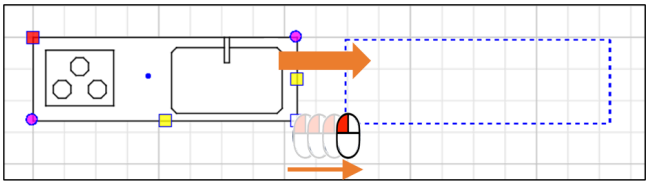
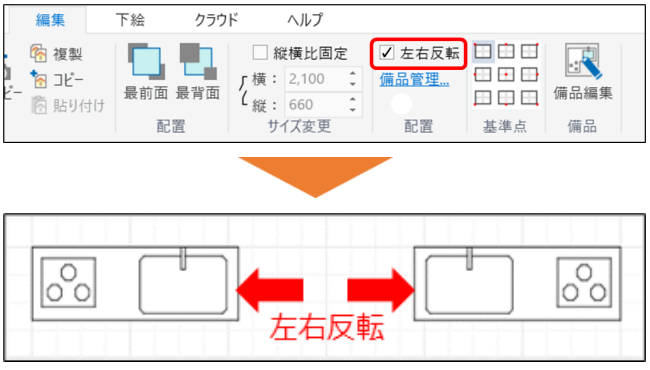
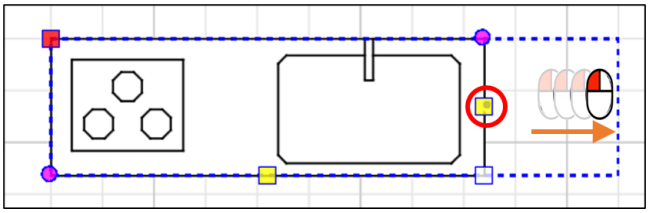
（4）備品を修正する

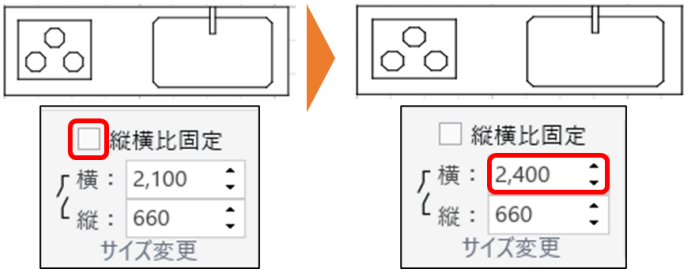
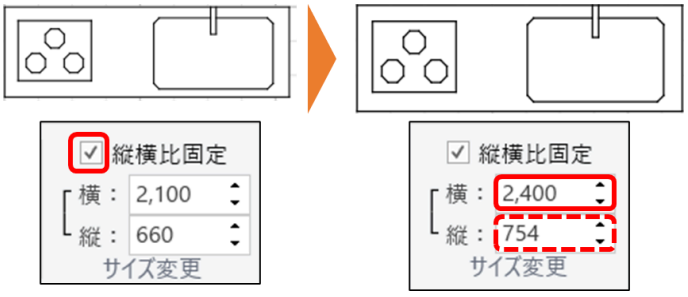
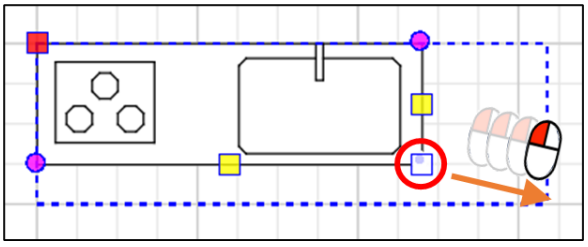
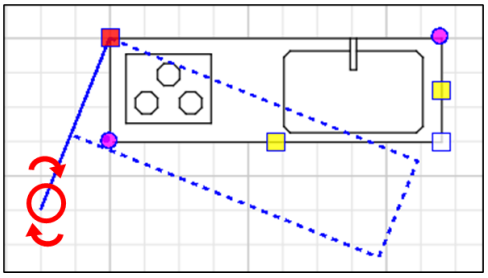
選択モードの備品のサイズや向きを修正します。例として、I 型キッチンで説明します。



POINT!

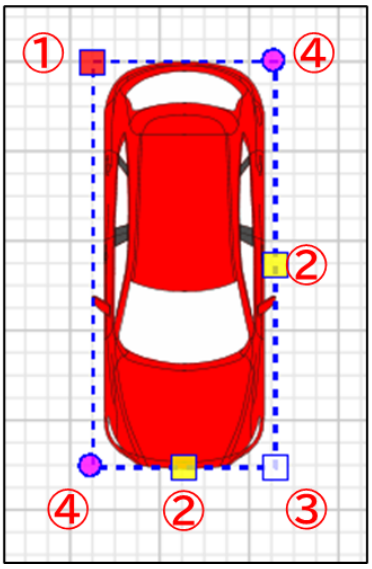
備品を修正する場合、ドラッグしたハンドルおよび回転用の支線はグリッド線の上（オングリッド）だけに止まります。修正幅を小さくしたい場合は、グリッドの分割数を変更するか、後述の「サイズ変更」を行ってください。

	説明
ー	選択モードの備品は、ドラッグして移動できます。  編集タブのリボンの「左右反転」をチェックすると、左右に反転します。 
①	基準点です。 備品を回転する場合の中心、またはグリッドによる縦横比を固定したサイズ変更の基準となります。
②	黄色いハンドルをドラッグすると、基準点をベースに縦横一方のサイズを変更できます。 

	POINT! サイズを微調整したい場合は、編集タブのリボンの「サイズ変更」でもできます。 例：縦横比固定のチェックを外した場合 横方向のみサイズが変更する。  例：縦横比固定をチェックした例 縦横両方でサイズが変更する。縦サイズの値は自動で設定。 
③	白いハンドルをドラッグすると、基準点をベースに縦横比を固定してサイズ変更ができます。 
④	ピンク色のハンドルをクリックすると基準点から支線が伸びるので、回転させてパーツの向きを変更できます。 

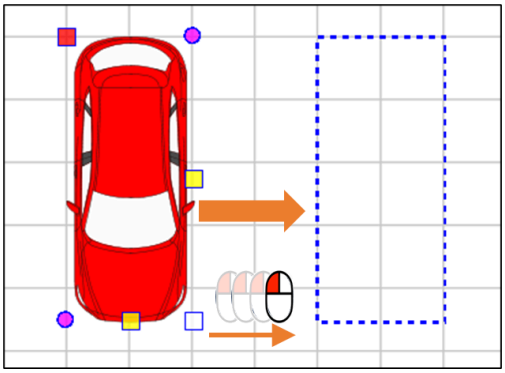
（5）外構を修正する

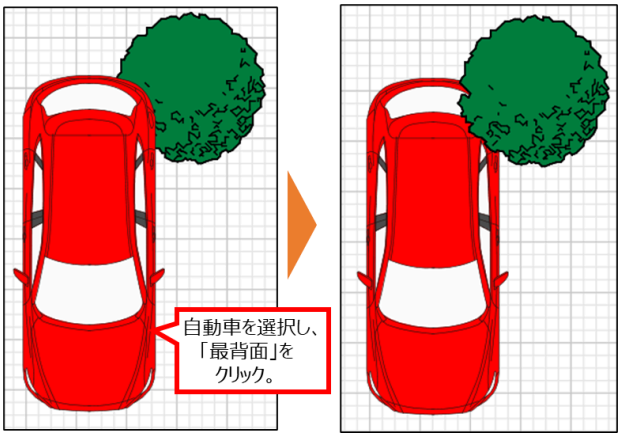
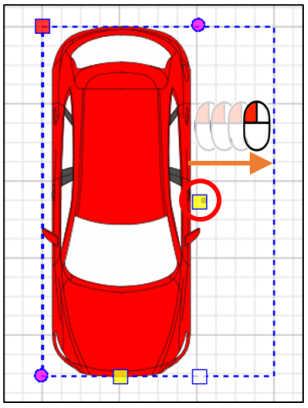
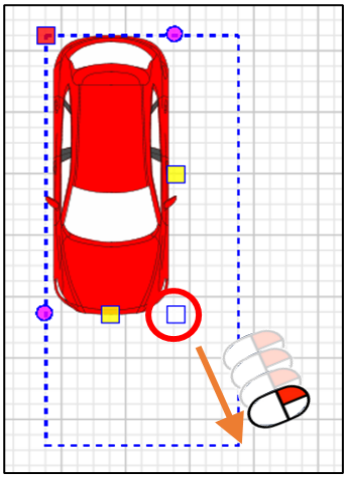
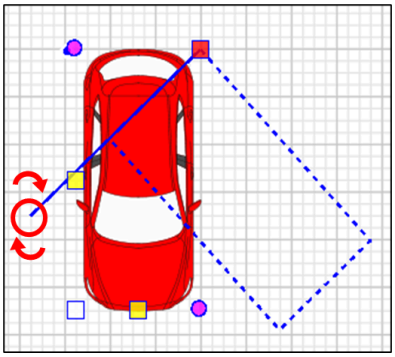
選択モードの外構のサイズや向きを修正します。例として、自動車で説明します。



POINT!

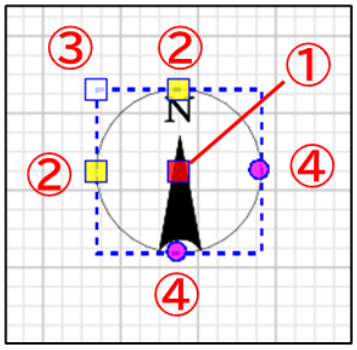
外構を修正する場合、ドラッグしたハンドル、および回転用の支線はグリッド線の上（オングリッド）だけに止まります。修正幅を小さくしたい場合は、グリッド分割を行い微調整してください。

	説明
ー	選択モードの外構は、ドラッグして移動できます。  編集タブのリボンの「最前面」「最背面」をクリックすると、他のパーツとの重なりを変更できます。

	
①	基準点です。 外構を回転する場合の中心、またはグリッドによる縦横比を固定したサイズ変更の基準となります。
②	黄色いハンドルをドラッグすると、基準点をベースに縦横一方のサイズを変更できます。 
③	白いハンドルをドラッグすると、基準点をベースに縦横比を固定してサイズ変更ができます。 
④	ピンク色のハンドルをクリックすると基準点から支線が伸びるので、回転させてパーツの向きを変更できます。 

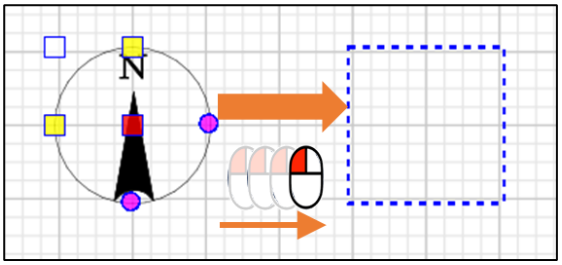
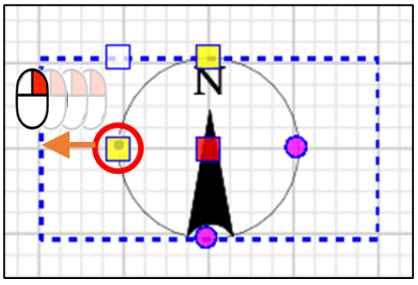
（6）方位を修正する

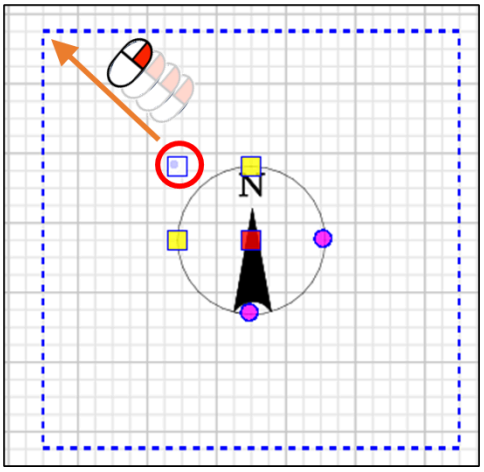
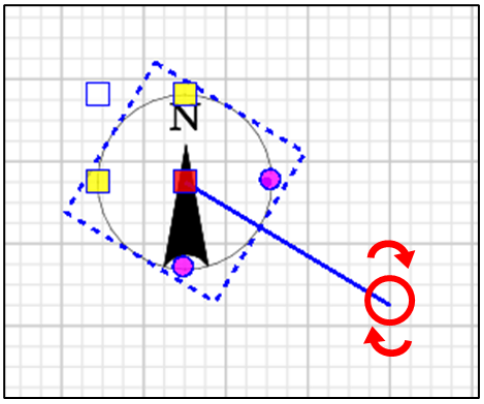
選択モードの方位記号のサイズや向きを修正します。



POINT!

方位を修正する場合、ドラッグしたハンドル、および回転用の支線はグリッド線の上（オングリッド）だけに止まります。修正幅を小さくしたい場合は、グリッド分割を行い微調整してください。

	説明
―	選択モードの方位記号は、ドラッグして移動できます。 
①	基準点です。 方位記号を回転する場合の中心、またはグリッドによる縦横比を固定したサイズ変更の基準となります。
②	黄色いハンドルをドラッグすると、基準点をベースに縦横一方のサイズを変更できます。 
③	白いハンドルをドラッグすると、基準点をベースに縦横比を固定してサイズ変更ができます。 以下の図では、基準点が中央にあるため、四方にサイズ変更しています。

	
③	ピンク色のハンドルをクリックすると支線が表示されるので、回転させてパーツの向きを変更できます。 

（7）階層の設定を変更する

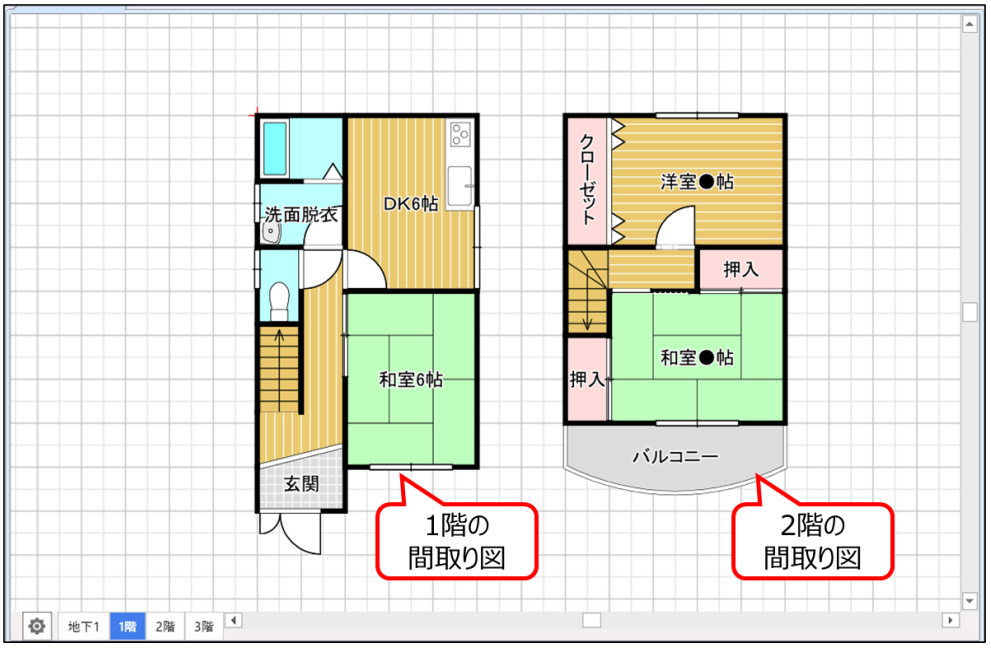
階層切替の設定を変更します。

をクリックすると、階層の表示設定や名称を変更できます。

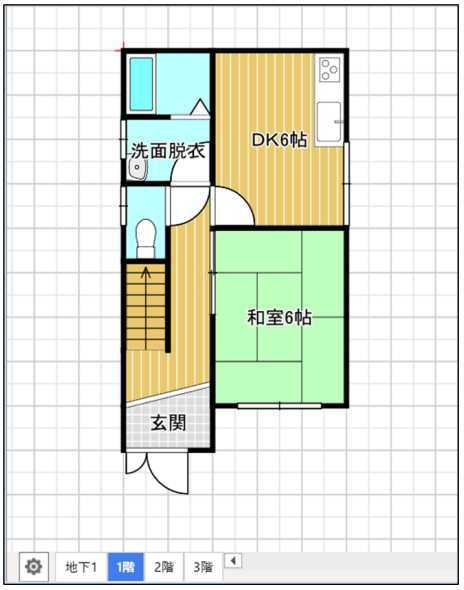
番号	名称	説明
①	表示	作図領域に表示する階層をチェックします。 以下は、地下1階、地上8階まで表示した例です。 表示できる階層は、プランによって異なります。 ベーシックプラン＝地下 1 階～地上 3 階 ビジネスプラン＝地下 3 階～地上 10 階
②	基準階	チェックした階を基準とし、ファイルを開いた際に最初にその階の間取り図が表示されます。
③	並び替えボタン	選択した階層を上下に移動し、並び替えができます。
④	階層名変更ボタン	クリックすると、階層名を変更できます。
⑤	初期値に戻すボタン	クリックすると、変更した設定を初期値に戻します。
⑥	規定値に設定するボタン	クリックすると、変更した設定を規定値とします。

（8）1階と2階を並べて表示する

1つの作図領域に、1階と2階の間取り図を並べて表示する手順を説明します。
例として、1階の間取り図に2階の間取り図を並べて表示させます。

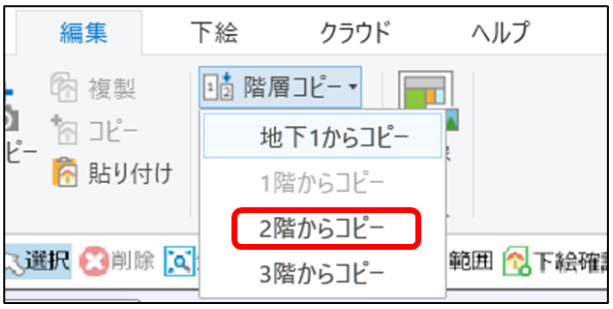


1 1階の間取り図を開きます。



2 編集タブの「階層コピー」をクリックします。

3 ”どこから間取り図をコピーしてくるか”の選択肢が表示されるので、「2階からコピー」を選択します。

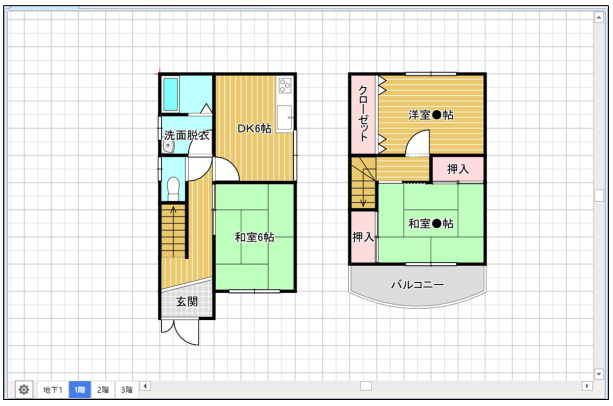


4 コピー位置を選択します。

POINT!

1階の間取り図を基準として、位置を選択します。

5 2階の間取り図が、1階の間取り図の右側にコピーされました。



POINT!

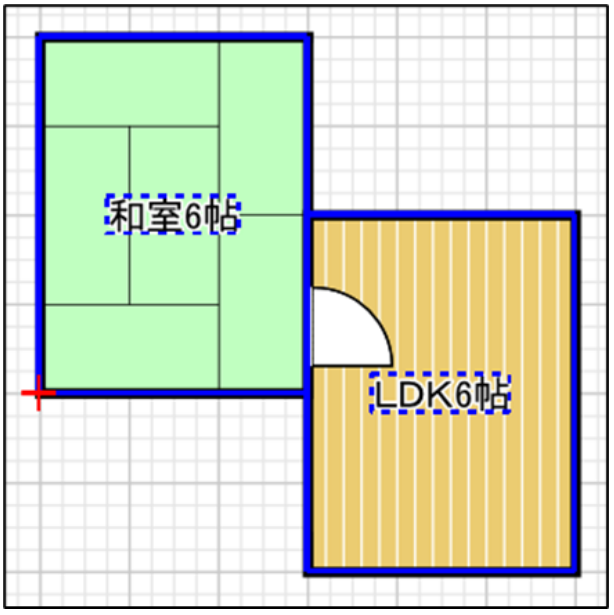
編集タブの「階層コピー」を使用せず、2階の間取り図を全コピーして1階に貼り付けることもできます。ただし、貼り付け位置は固定されません。

（9） 部屋を合成・分割する

複数の部屋を1つに合成したり、1つの部屋を2つに分割する手順を説明します。

部屋を合成する

1 複数の部屋を選択します。

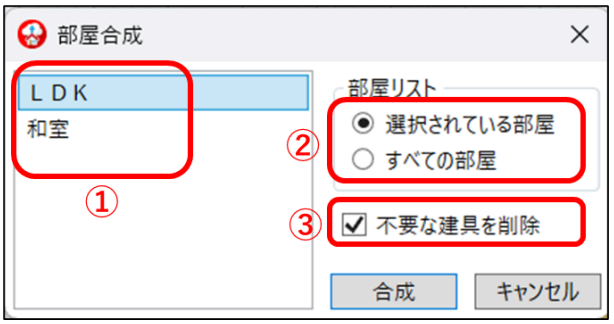


POINT!

一部でも接している部屋どうしが合成できます。

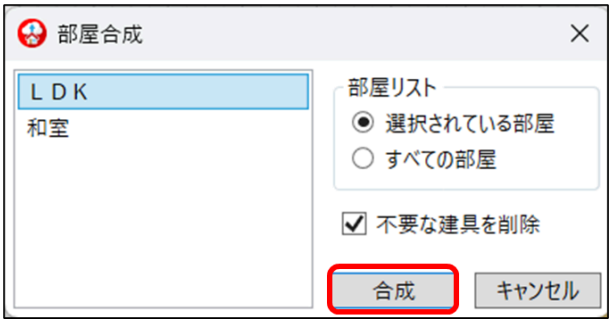
2 右クリックして表示されるメニューから、「部屋合成」を選選択します。

3 部屋合成の設定画面が表示されるので、以下を設定します。



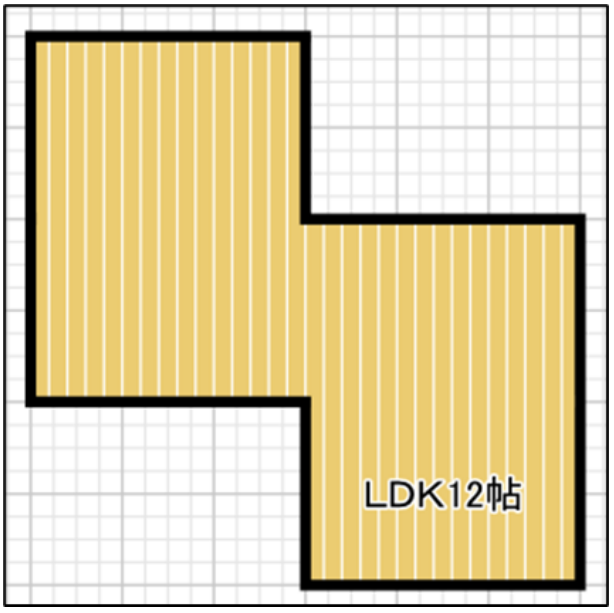
①	合成した後の部屋名を選択するリストです。
②	①に表示するリストを設定できます。「すべての部屋」をチェックすると、①にすべての部屋名が表示され、選択した以外の部屋名にできます。
③	チェックを外すと接している壁にある建具が残ります。

4 設定後、「合成」をクリックします。



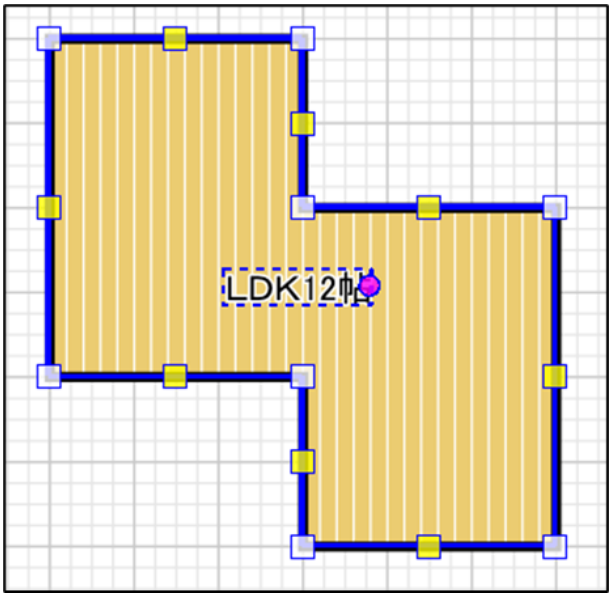
5 2つの部屋が合成されます。
合成した形に合わせて、帖数も変更します。

部屋名の位置は適宜移動してください。



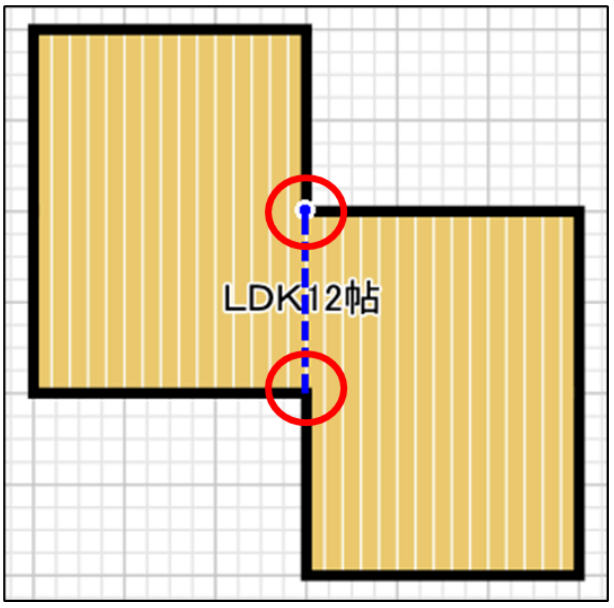
部屋を分割する

1 分割する部屋を選択します。



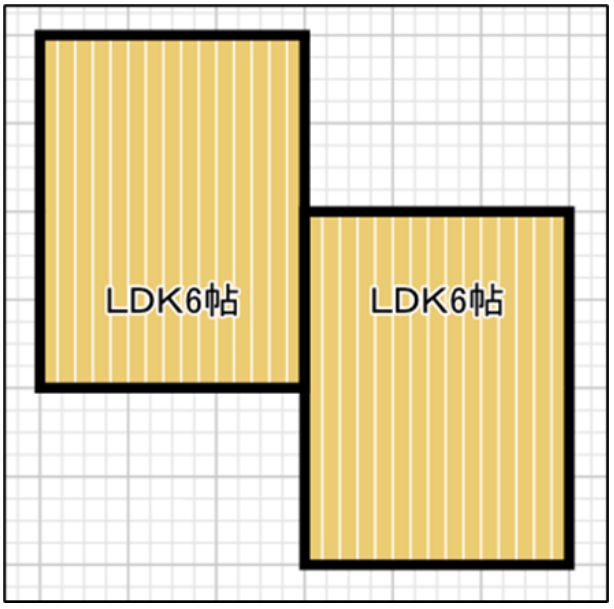
2 右クリックして表示されるメニューから、「部屋分割」を選択します。

3 分割する位置をクリックします。



4 1つの部屋が２つに分割されます。
分割した形に合わせて、帖数も変更します。

部屋名の位置は適宜移動してください。



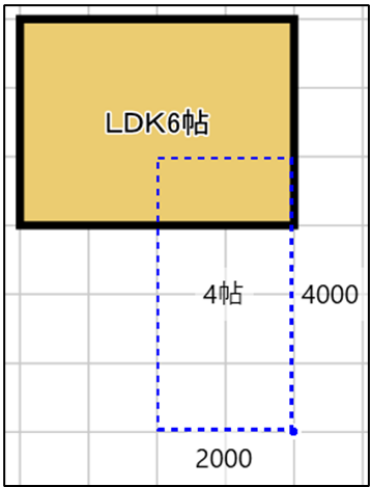
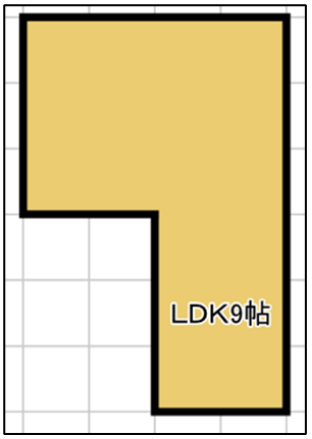
POINT!

部屋の分割では、部屋の種類の変更はできません。分割後に修正してください。
詳しくは、「9-3 （1）パーツの種類を変更する」を参照。

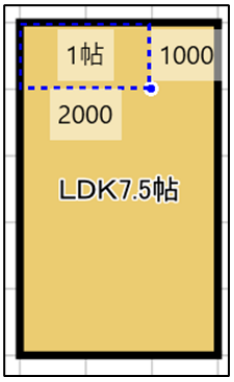
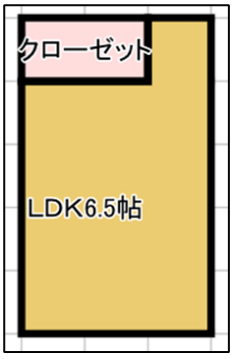
（10）効率の良い多角の部屋入力

多角の部屋を入力するには、「7-1（5）廊下を入力する（多角）」のように部屋の形に沿ってクリックするほかに以下の方法があります。

同じ部屋を重ねて入力

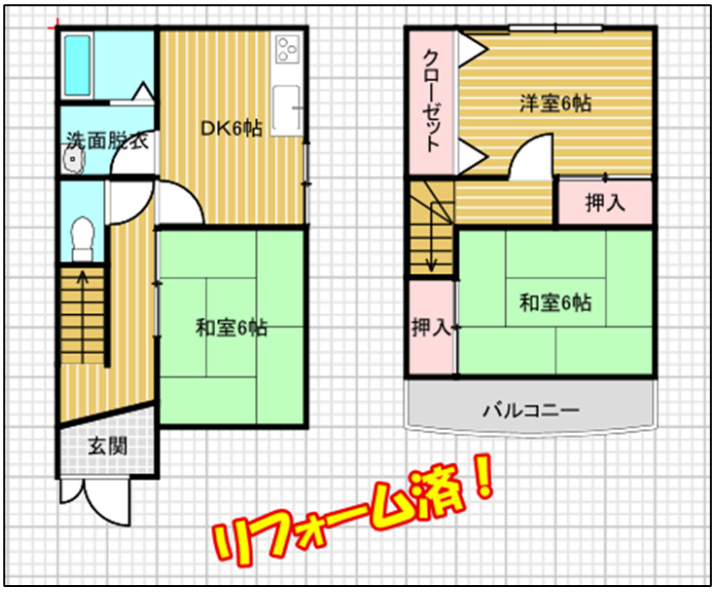
作図領域に部屋を入力します。	同じ部屋を、一部重ねて入力します。	２つの部屋が合成され、多角の部屋が入力されました。 帖数も変更されます。
		

別の部屋を重ねて入力

作図領域に部屋を入力します。	部屋の上から別の部屋を重ねて入力します。	部屋が分割され、多角の部屋が入力されました。 帖数も変更されます。
		

9-4　文字の編集

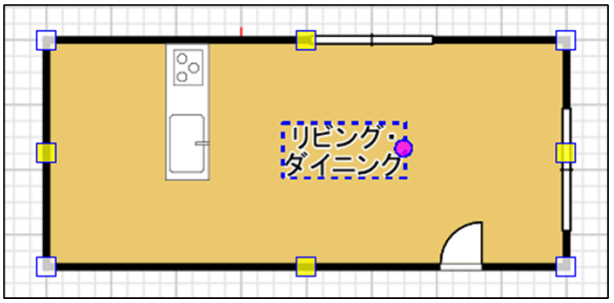
部屋名のない部屋に新たに部屋名を追加したり、文字の装飾、向きの変更について説明します。
ポップ文字のような見た目の文字装飾も可能です。



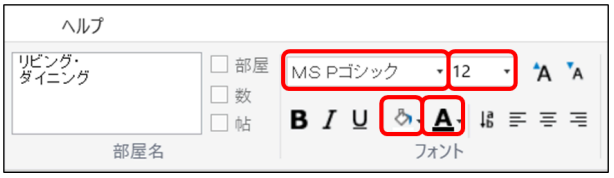
（1）部屋名を新たに入力する

部屋に文字を追加します。
ここでは、部屋名「リビング・ダイニング」に「キッチン」を追加入力する手順を説明します。

1 最初にいまある部屋名の文字設定を確認します。
選択モードで、「リビング・ダイニング」を選択します。

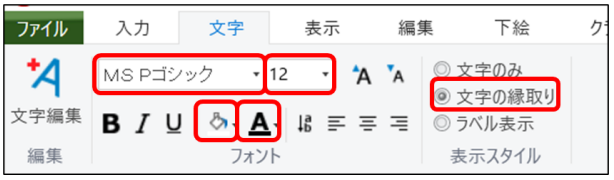


2 リボンの「フォント」で文字設定を確認します。
・フォント：MS Pゴシック
・サイズ：12
・塗りつぶしの色（文字の縁取り）：白
・フォントの色：黒



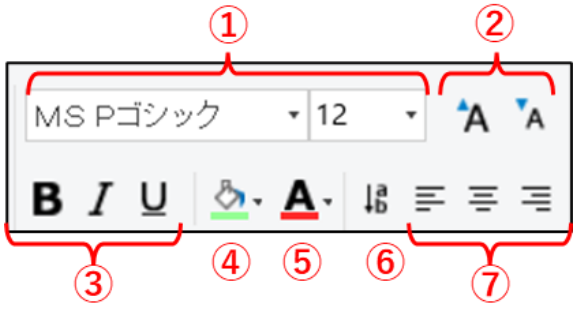
3 次に「キッチン」を入力します。
文字タブの「文字編集」をクリックします。

4 「フォント」と「表示スタイル」が展開するので、手順2で確認した設定値を設定します。
・フォント：MS Pゴシック
・サイズ：12
・塗りつぶしの色（文字の縁取り）：白
・フォントの色：黒
・表示スタイル：「文字の縁取り」にチェック



POINT!

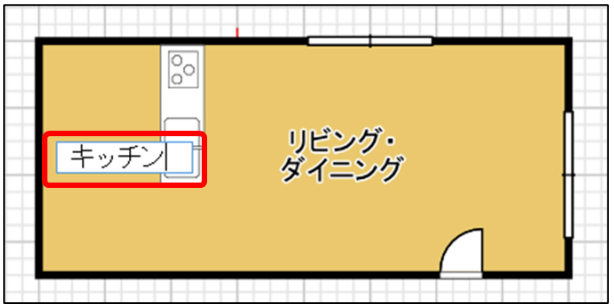
「フォント」の機能は以下のとおりです。



①：フォントの種類・サイズを設定。サイズは最大72ポイント、最小2ポイントまで可能。
②：ワンクリックで文字の大きさを変更可能。
③：文字のスタイル装飾。太字、斜体、下線。
④：表示スタイルで「文字の縁取り」をチェックしている場合、カラーパレットから色を選択することで、文字の背景に色が反映。
⑤：文字の色をカラーパレットから選択。
⑥：縦書きに設定。
⑦：文字の揃え。左揃え、中央揃え、右揃え。

5

入力したい場所をクリックします。
入力モードになるので、文字列「キッチン」を入力します。

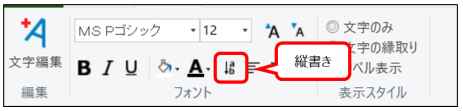


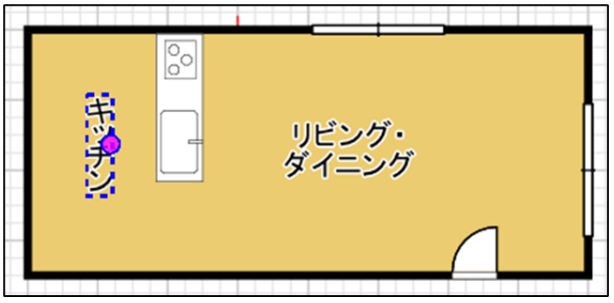
POINT!

文字設定から入力まで、文字タブから移動しないでください。

6

文字列「キッチン」を選択モードにし、縦書きにします。続いて、適宜移動して位置を決めます。



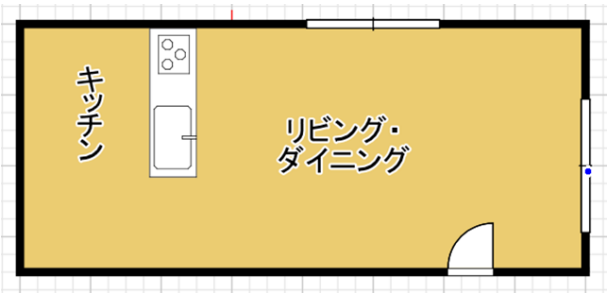


※選択モードにするには、ツールバーの選択をクリックし、対象をクリックします。

POINT!

追加した部屋名は、後からでも設定変更できます。
部屋名を入力後に選択モードにし、フォントやサイズ、表示スタイルを変更してください。

7 「リビングダイニング」に「キッチン」を追加入力されました。

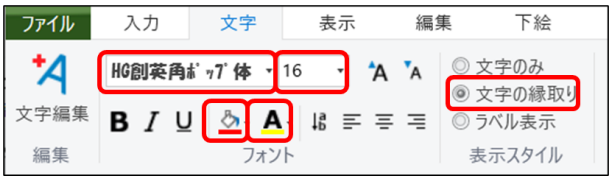


（2）文字の装飾

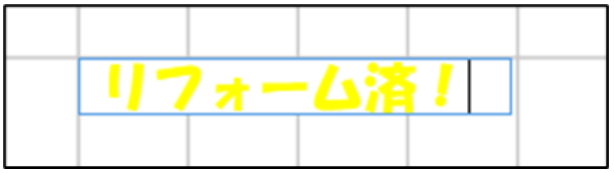
ポップ文字のような見た目の文字装飾や向きの変更ができます。
ここでは、以下の文字を入力する手順を説明します。

1 文字タブをクリックし、「文字編集」をクリックします。

2 「フォント」と「表示スタイル」が展開するので、手順2で確認した設定値で設定します。
- フォント：HG創英角ポップ対
- サイズ：16
- 塗りつぶしの色（文字の縁取り）：赤
- フォントの色：黄色
- 表示スタイル：「文字の縁取り」にチェック



3 入力したい場所をクリックします。
入力モードになるので、文字列「リフォーム済み！」を入力します。

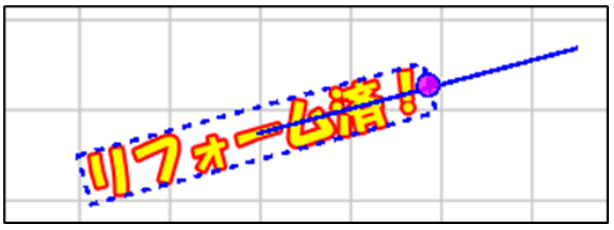


POINT!

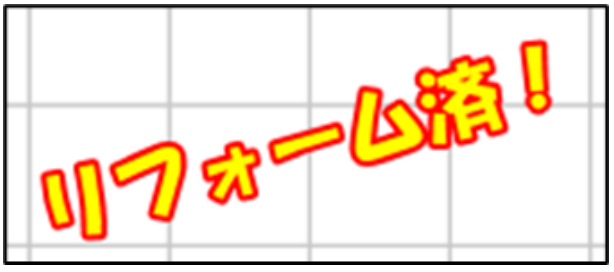
・文字設定から入力まで、文字タブから移動しないでください。

4 文字列「リフォーム済！」を選択モードにします。右端のピンク色のハンドルをクリックすると支線が表示されるので、回転させて文字列の向きを変更します。

※選択モードにするには、ツールバーの選択をクリックし、対象をクリックします。



5 文字の装飾が完了しました。



9-5　表示フィルターの使い方を知りたい

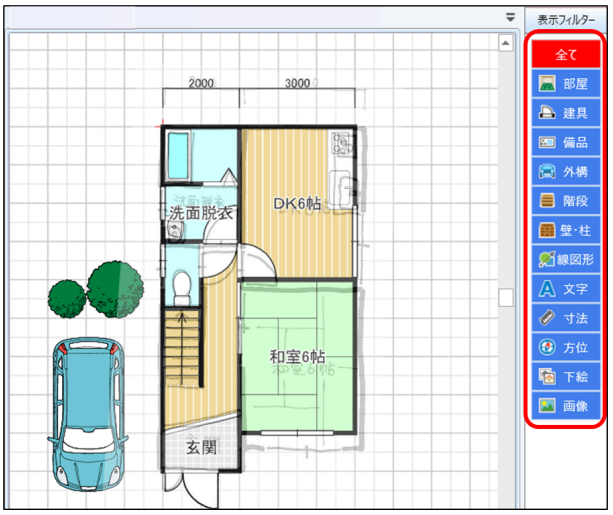
表示フィルターは、作図領域のパーツを表示／非表示にする機能です。
画面左側の表示フィルターのボタンをオン／オフすることにより、対象の部屋やパーツの表示／非表示が変更できます。

POINT!

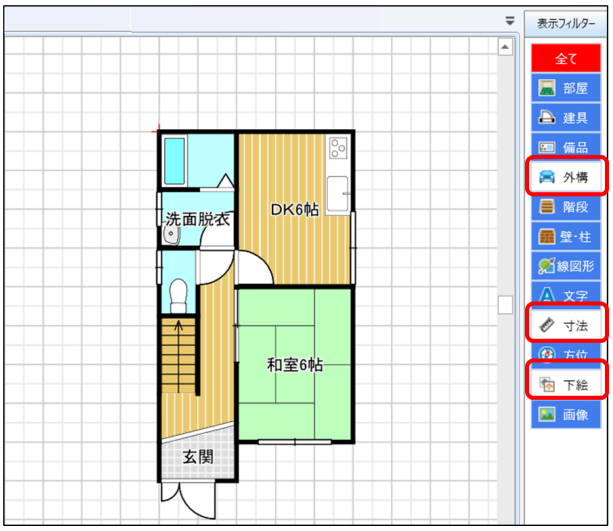
画像出力時に表示しないパーツ（寸法線・方位・下絵・画像など）は表示フィルターでオフにする必要があります。

項目	説明
全て	すべてのフィルターの表示/非表示
部屋	部屋の床・壁・部屋名（部屋全体）
建具	ドアや窓などの建具
備品	備品パーツ
外構	車や植栽の外構パーツ
階段	階段の段部分
壁・柱	部屋の壁、単独壁、柱（床は対象外）
線図形	線、図形、畳の線
文字	部屋の文字、文字編集で入力した文字
寸法	寸法線(自動入力、手動入力のどちらも)
方位	方位記号
下絵	下絵
画像	取り込んだ画像

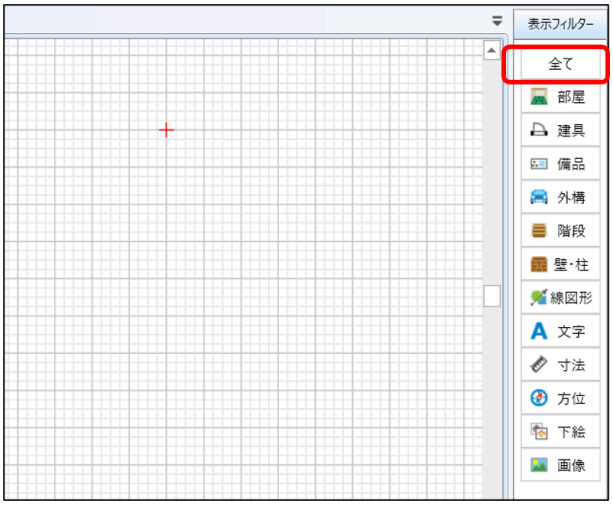
① すべて表示の状態



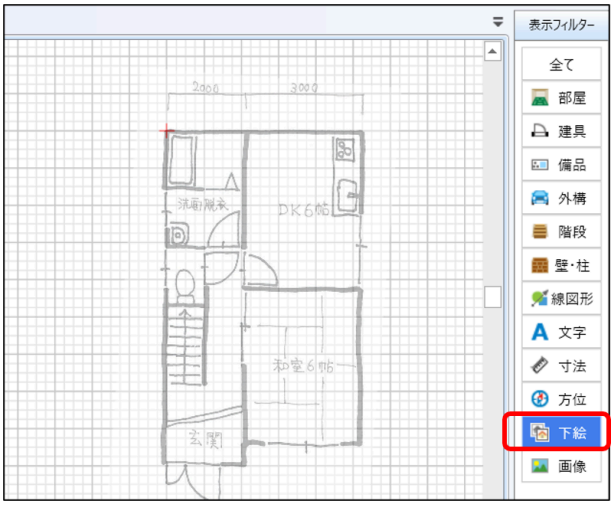
② 外構、寸法、下絵を非表示にした状態



③ すべてを非表示にした状態

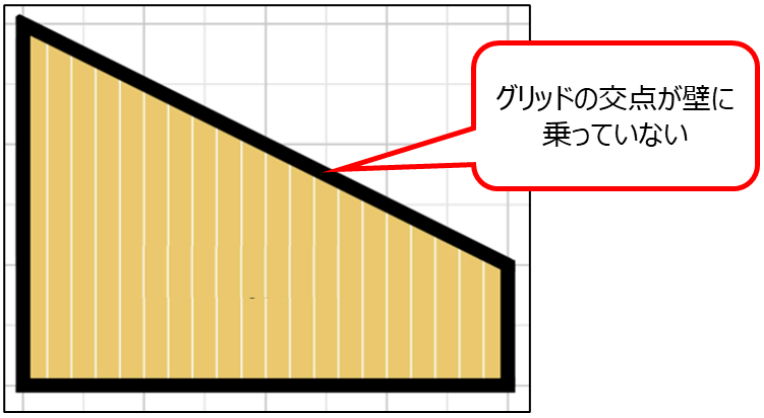


④ 下絵のみ表示した状態



9-6　斜めの壁に建具を配置したい

斜めの壁は、グリッド線に合わせて交点が乗らないため建具の配置が困難でした。



そこで、壁分割・壁相対という機能が搭載されました。
なお、壁分割・壁相対は斜めの壁だけでなく、まっすぐな壁でも同様に機能します。

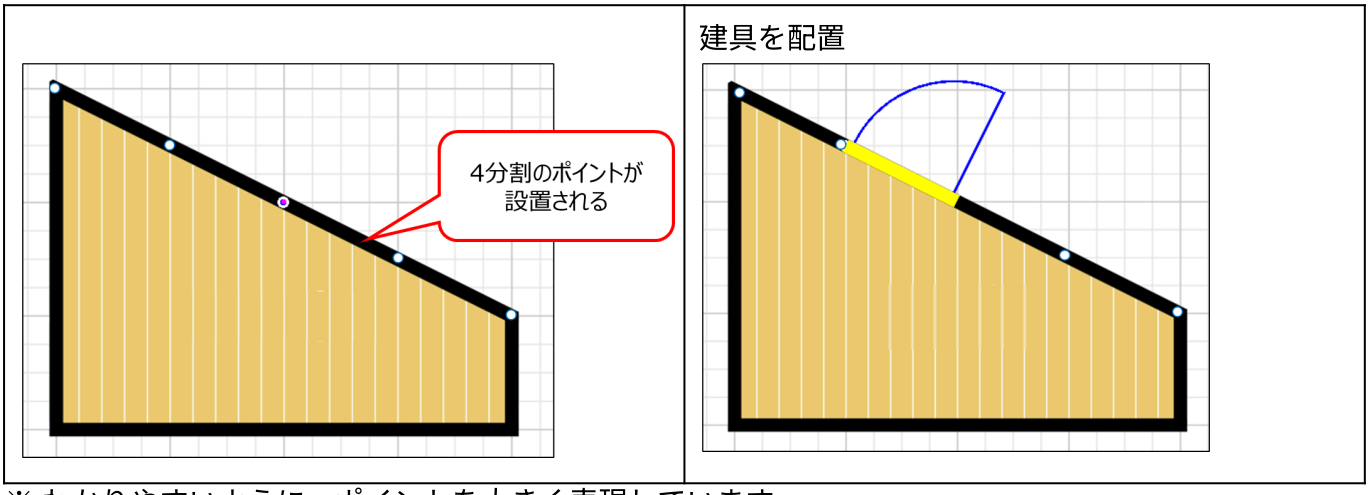
POINT!

新規作成の作図領域には、自動で「壁相対」が設定されています。

「**壁分割**」とは、一片の壁にグリッドの分割数と同じ位置にポイント表示させる機能です。

例：モジュール1000mmで4分割の場合

斜めの壁を4分割したポイントが表示されます。ポイントに合わせて建具などのパーツの基準点を乗せることが可能です。

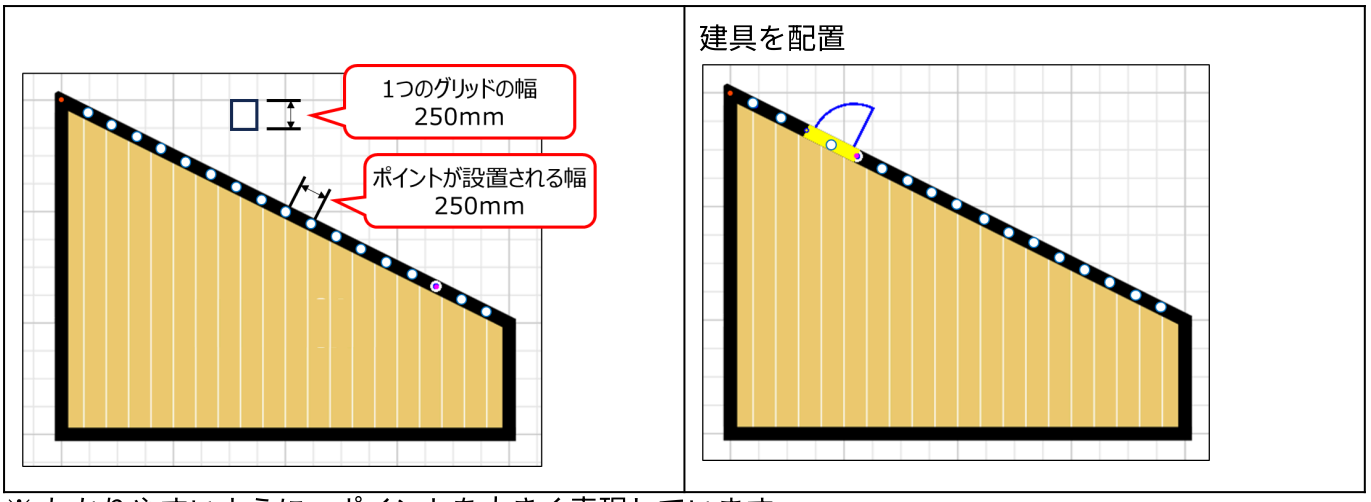


※ わかりやすいように、ポイントを大きく表現しています。

「**壁相対**」とは、一片の壁にグリッドの分割値と同じ位置にポイント表示させる機能です。

例：モジュール1000mmで4分割の場合（グリッド値は250mm）

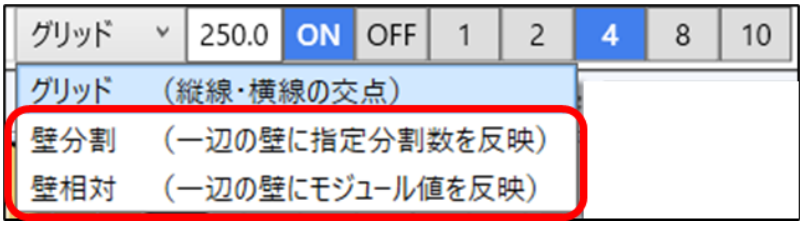
斜めの壁に250mmごとにポイントが表示されます。ポイントに合わせて建具などのパーツの基準点を乗せることが可能です。



※ わかりやすいように、ポイントを大きく表現しています。

壁分割・壁相対の切り替え

グリッドツールの「グリッド選択」をクリックし、切り替えます。



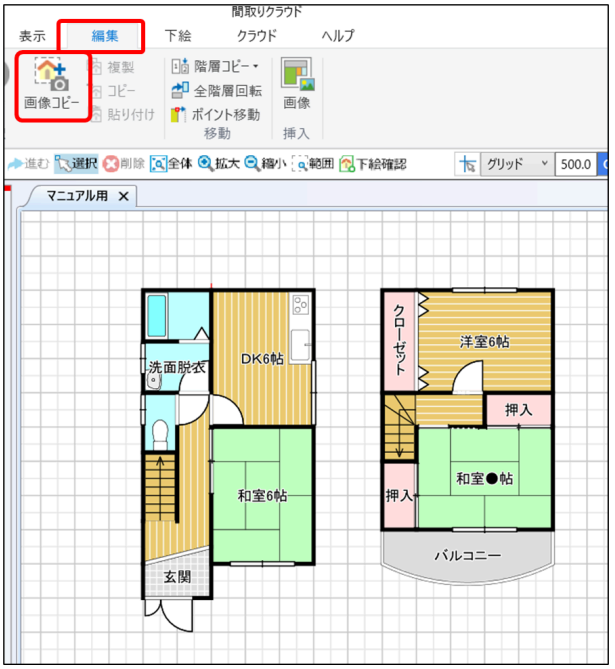
自動壁相対の解除

環境設定の「建具」で設定できます。
詳しくは、「9-8 カスタマイズしたい（環境設定）」の「⑤建具」を参照。

9-7　画像をWordやExcelにコピーしたい

作図領域にある間取り図を、Word、Excel、PowerPointなどに簡単に貼り付けることができます。
画像出力をしなくても、クリックひとつで作業をスムーズに進められます。

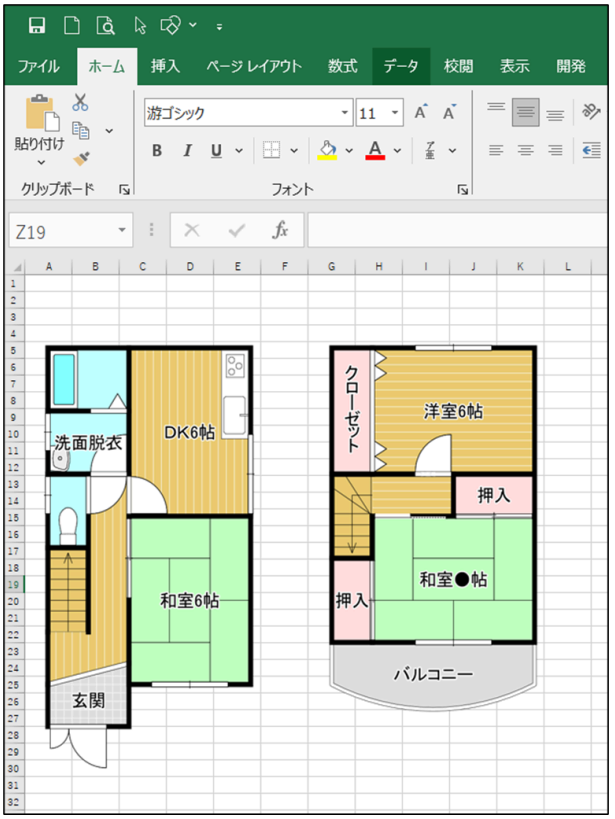
1 コピーしたい間取り図を開き、編集タブの「画像コピー」をクリックします。



POINT!

作図領域内のすべてをコピーします。
不要なパーツや下絵などは、事前に表示フィルターで非表示にしたり、削除してください。

2 他のアプリケーションを開き、貼り付けます。



9-7　カスタマイズしたい（環境設定）

「環境設定」では、間取りクラウドにもともと組み込まれている様々な設定を、お好みに合わせてカスタマイズすることができます。
あらかじめ設定をしておけば、毎回変更する手間が省け、スムーズに操作できます。

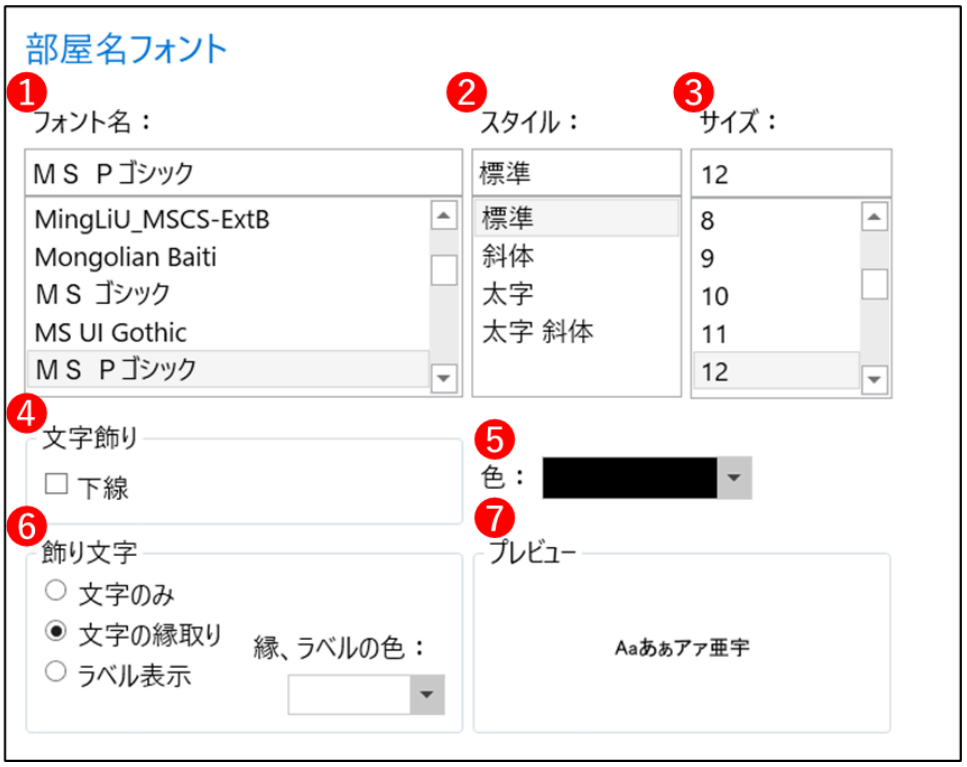
環境設定の機能説明

POINT!

①～⑨までの各項目をカスタマイズするごとに、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。
例：①の「部屋名フォント」をカスタマイズ＞「設定」をクリック。
　　②の「編集入力フォント」をカスタマイズ＞「設定」をクリック。

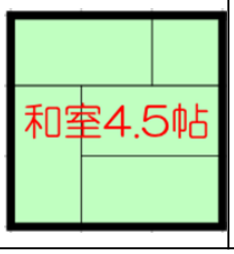
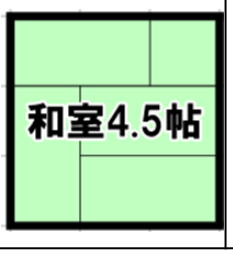
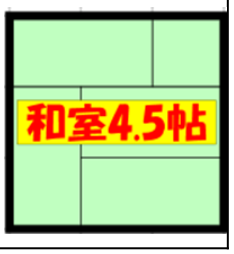
① 部屋名フォント

部屋名のフォントや文字サイズなどの初期値をカスタマイズできます。

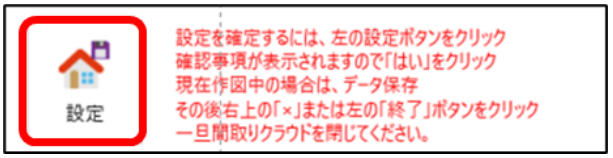


番号	名称	説明
❶	フォント名	フォントの種類をリストから選択できます。
❷	スタイル	フォントのスタイルをリストから選択できます。
❸	サイズ	フォントのサイズをリストから選択できます。サイズは最小2ポイントまで可能。
❹	文字飾り	下線のある／なしを設定できます。
❺	色	フォントの色をカラーパレットから選択できます。
❻	飾り文字	文字の飾り（表示スタイル）を設定できます。 「文字の縁取り」・「ラベル表示」を選択した場合は、「縁、ラベルの色」を カラーパレットから選択できます。
❼	プレビュー	❶～❻で設定した内容を表示できます。

カスタマイズの一例：

フォント・色	MS Pゴシック （黒）	HG丸ｺﾞｼｯｸM-PRO （赤）	HGP創英角ｺﾞｼｯｸUB （黒）	HGP創英角ﾎﾟｯﾌﾟ体 （黒）	HGP創英角ﾎﾟｯﾌﾟ体 （赤）
サイズ	12ポイント	16ポイント	16ポイント	16ポイント	16ポイント
飾り文字	縁取り（白）	文字のみ	縁取り（白）	ラベル（白）	ラベル（黄色
イメージ					

設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。

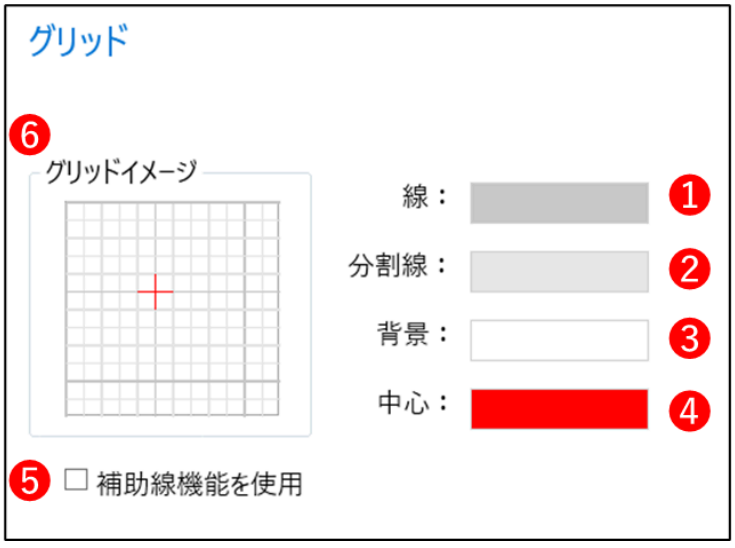


② 編集入力フォント

画面上に描画する単独文字のフォントや文字のサイズなどのカスタマイズができます。
設定項目は、「①部屋名フォント」と同様です。

③ グリッド

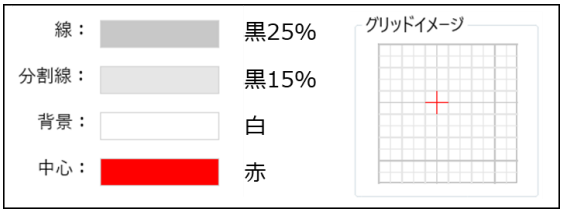
作図領域のグリッドをカスタマイズできます。
モニターの発色で、グリッド線・分割線が見づらい場合などに活用します。



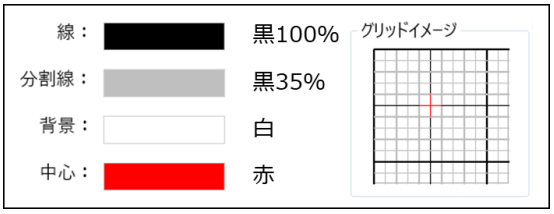
番号	名称	説明
❶	線	線の色をカラーパレットから選択できます。
❷	分割線	分割線の色をカラーパレットから選択できます。
❸	背景	背景の色をカラーパレットから選択できます。
❹	中心	中心（作図領域の基準点）の色をカラーパレットから選択できます。
❺	補助線機能を使用	チェックすると編集タブに補助線ボタンが追加されます。
❻	グリッドイメージ	❶～❺で設定した内容を表示できます。

グリッドのカスタマイズ例：

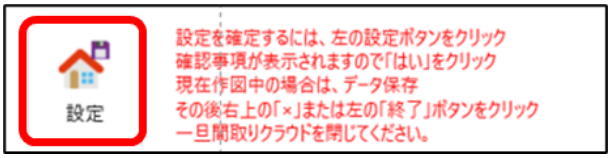
初期設定



変更後

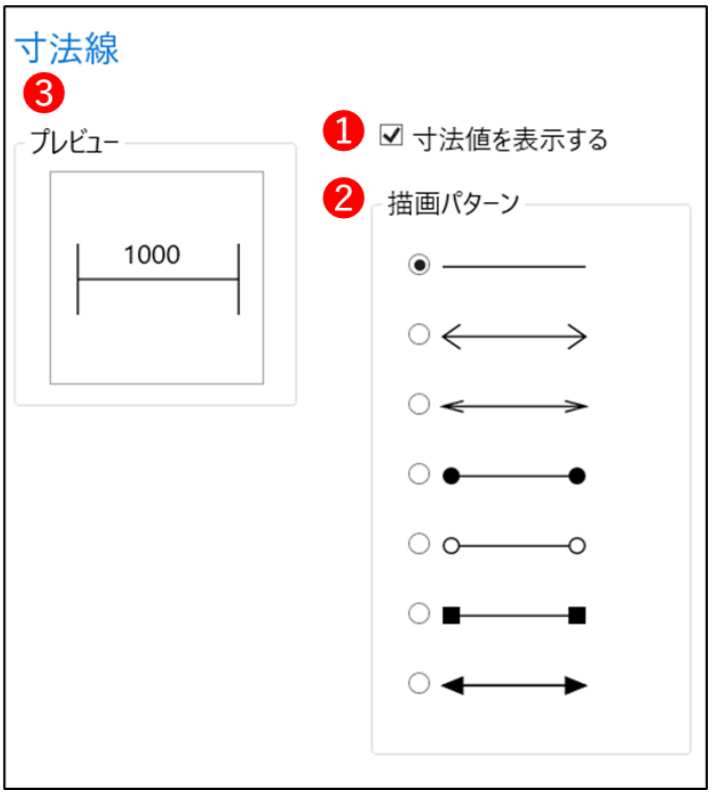


設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。

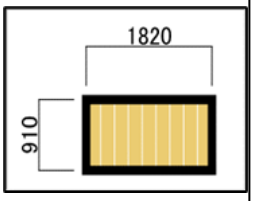
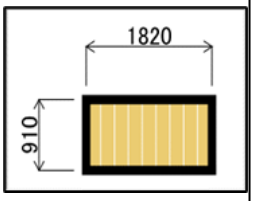
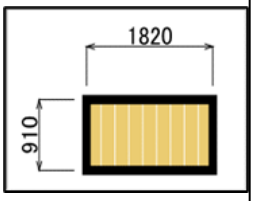
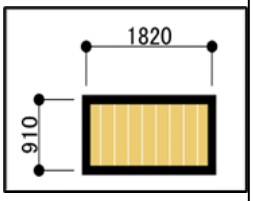
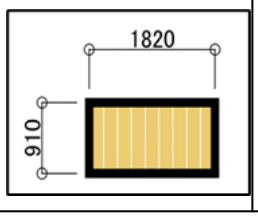
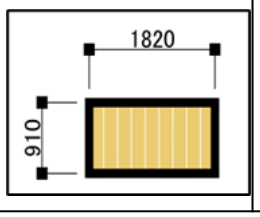
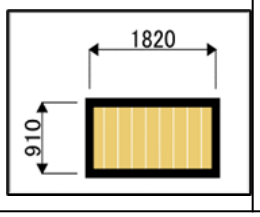


④ 寸法線

寸法を示す線、および数値の表示をカスタマイズできます。
自動寸法、手動入力のどちらにも対応します。

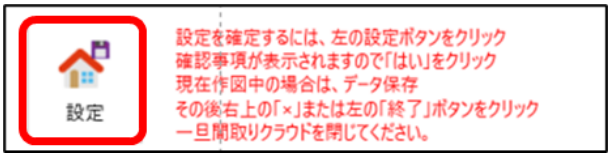


番号	名称	説明
❶	寸法値を表示する	チェックを外すと、寸法線上の値を非表示にできます。
❷	描画パターン	寸法線の矢印の形を選択できます。

線のみ（標準）	開いた矢印	尖った矢印	黒い丸
			
白い丸	四角	矢印	
			

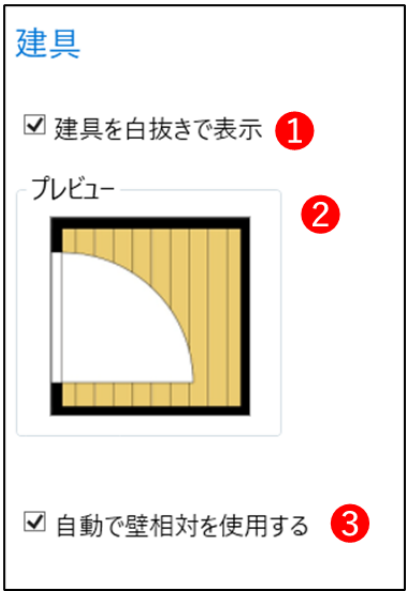
❸	プレビュー	❶、❷で設定した内容を表示します。

設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。



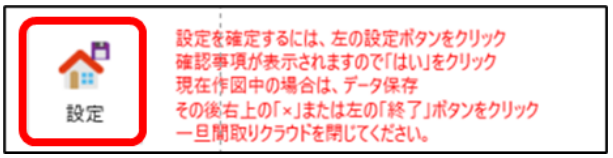
⑤ 建具

建具（ドア）の表示をカスタマイズできます。



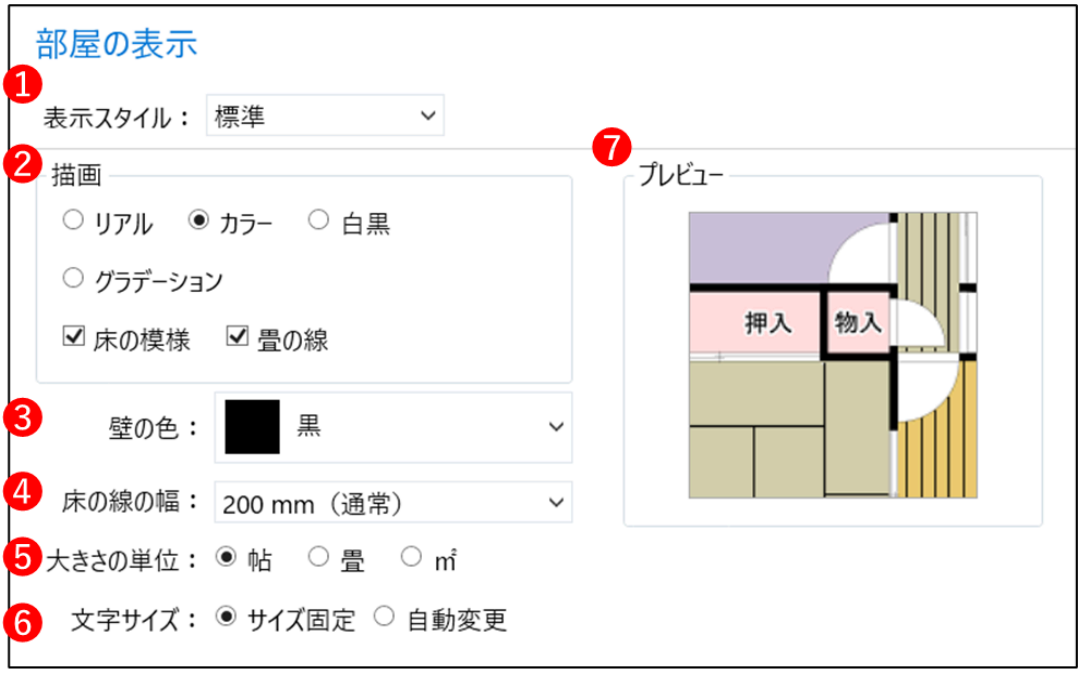
番号	名称	説明
❶	建具を白抜きで表示	チェックを外すと白抜きが解除できます。
❷	プレビュー	❶の内容を表示します。
❸	自動で壁相対を使用する	チェックを外すと自動壁相対が解除できます。 POINT! 壁相対とは、グリッドでは分割できない斜めの壁をグリッド分割値と同じ寸法に分割する設定です。 詳細は、「9-6 斜めの壁に建具を配置したい」を参照。

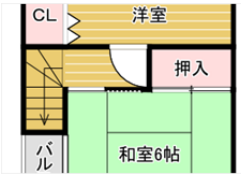
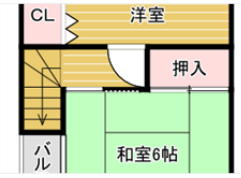
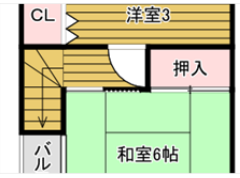
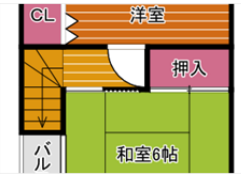
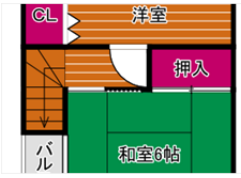
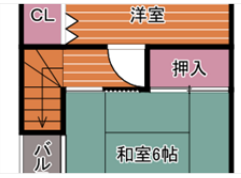
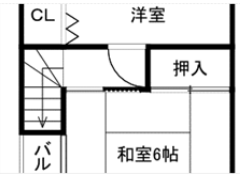
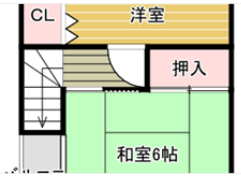
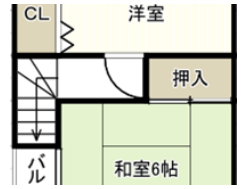
設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。

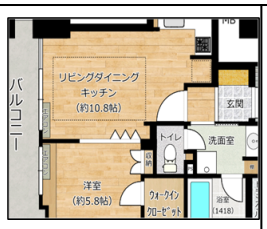


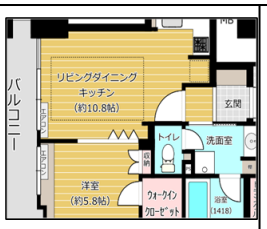
⑥ 部屋の表示

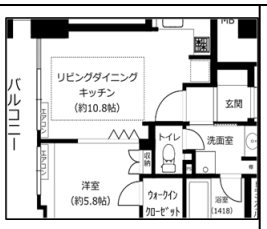
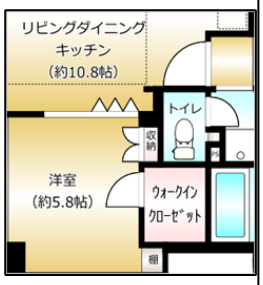
部屋の表示では、作図する部屋名のスタイルやカラー、壁の色、床の線の幅、部屋の大きさの単位などを設定できます。

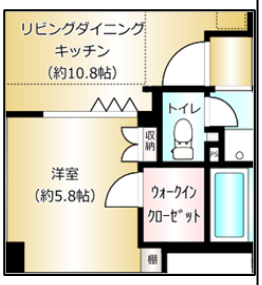


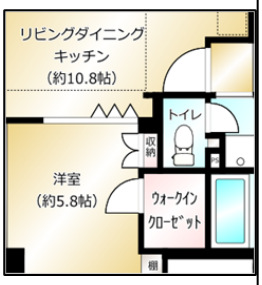
番号	名称	説明			
❶	表示スタイル	作成する間取り図のスタイルを選択できます。			
		標準	標準（英語）	標準　床の線　黒	ポップ
					
		ダイナミック	デザート	グレイ	間取りプレミアム
					
		ライト			
					
❷	描画	床の表現の選択、および床の模様、畳の線 のある／なしを設定できます。			
		リアル	カラー	白黒（床の線のオフ）	

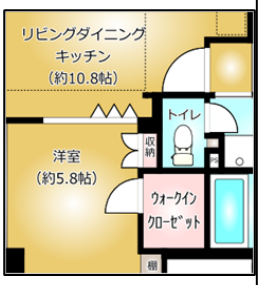
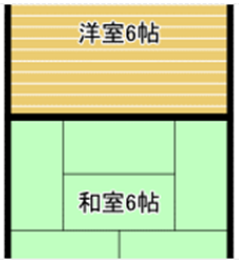
<table>
<tr><td></td><td></td><td> 

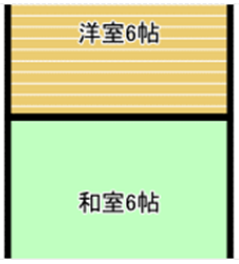


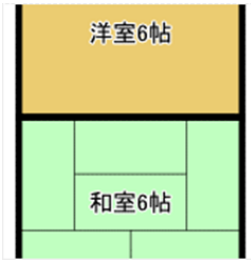

</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>グラデーション(ヨコ)</td><td>グラデーション(タテ)</td><td>グラデーション(斜め)</td><td>グラデーション(中心)</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td> 

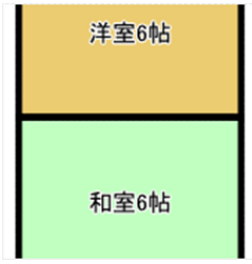
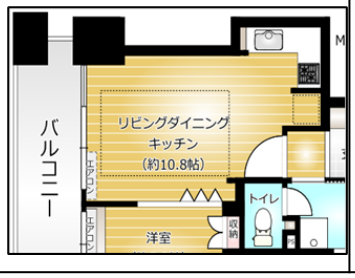


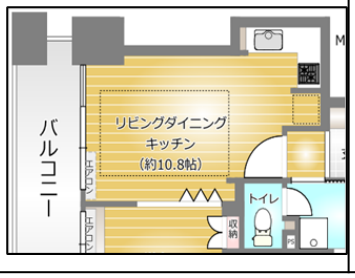


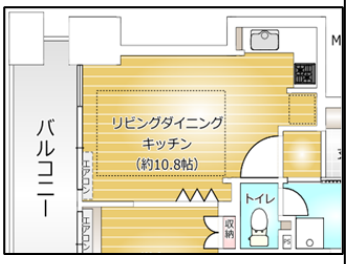
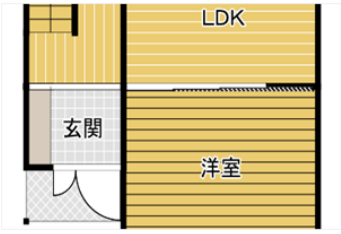

</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>床の模様：オン
畳の線：オン</td><td>床の模様：オン
畳の線：オフ</td><td>床の模様：オフ
畳の線：オン</td><td>床の模様：オフ
畳の線：オフ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td> 

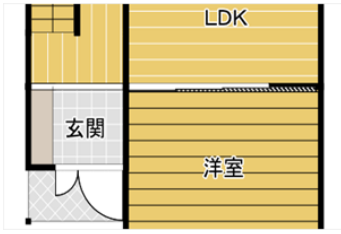


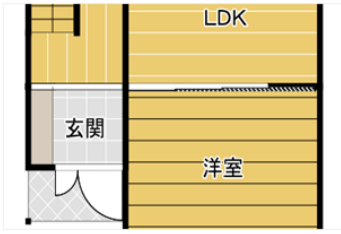


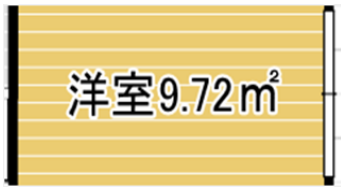

</td><td></td></tr>
<tr><td>❸</td><td>壁の色</td><td colspan="3">壁の色を黒・グレー・白から選択できます。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>黒</td><td>グレー</td><td>白</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td> 

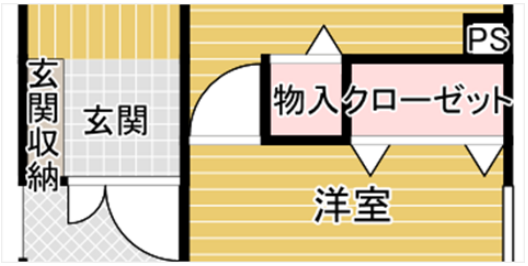
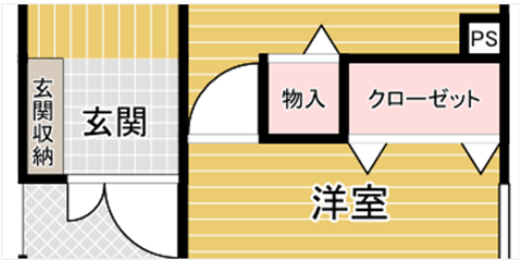



</td><td></td></tr>
<tr><td>❹</td><td>床の線の幅</td><td colspan="3">床の線の幅を設定できます。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>200mm（通常）</td><td>300mm（やや広い）</td><td>400mm（広い）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td> 

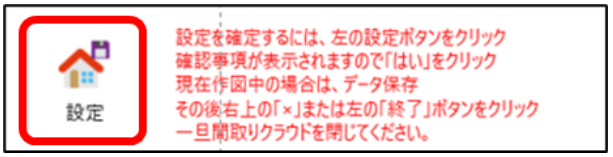



</td><td></td></tr>
<tr><td>❺</td><td>大きさの単位</td><td colspan="3">部屋名の単位を設定できます。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>帖</td><td>畳</td><td>㎡</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>


</td><td></td></tr>
</table>

❻	文字サイズ	部屋名の文字サイズの変更方法を設定できます。 ・サイズ固定：部屋のサイズを縮小しても、文字の大きさは変わりません。。  ・自動変更：部屋の大きさに合わせて、文字の大きさを自動調整します。 
❼	プレビュー	❶～❻で設定した内容を表示します。

設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。

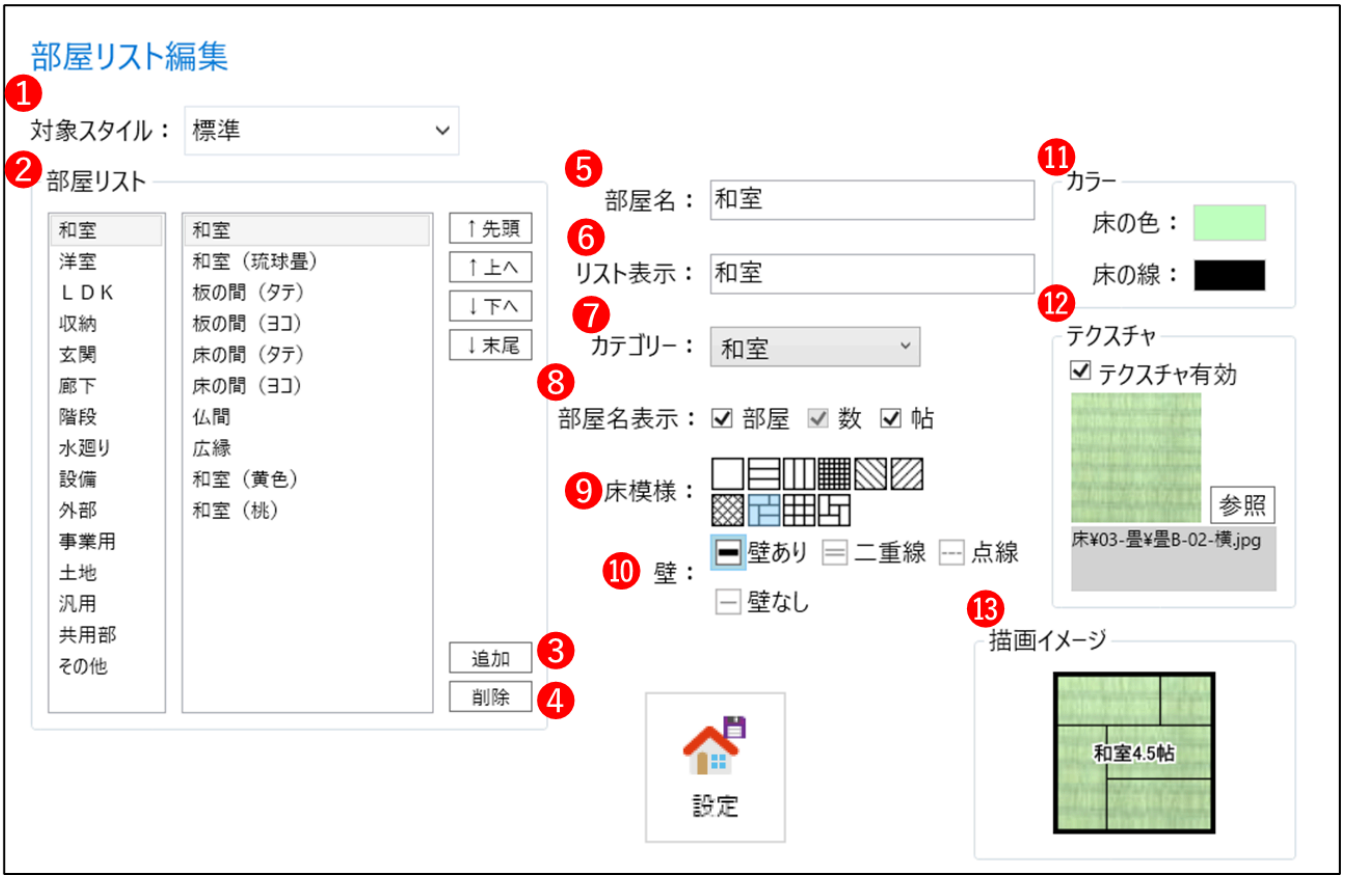


⑦ 部屋リスト編集

部屋リスト編集では、すべての部屋の部屋リスト分類、表示した場合の部屋名、部屋のカテゴリー、部屋名や大きさの表示設定、床模様、壁の種類、床の色、テクスチャの表現などすべてをカスタマイズできます。

POINT!

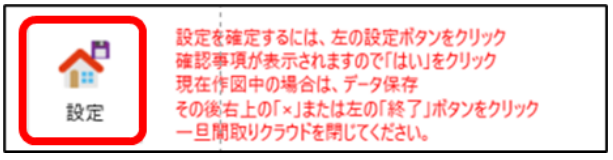
部屋リストをカスタマイズしながら、新たな部屋を追加できます。
詳細は「9-8 （2）部屋リストをカスタマイズ中に新たな部屋を追加する」を参照。



番号	名称	説明
❶	対象スタイル	設定する間取り図のスタイルを選択できます。
❷	部屋リスト	部屋入力時のカテゴリーと部屋リストです。 いずれかの部屋を選択し、「先頭」「上へ」「下へ」「末尾」をクリックして順番を変更できます。
❸	追加	クリックするとリストに「新規部屋リスト（1）」と部屋名の付いたパーツが追加されます。❺以降のメニューを使用して、部屋を編集し追加できます。 詳細は、
❹	削除	いずれかの部屋を選択してクリックすると、その部屋が削除されます。
❺	部屋名	作図画面上に表示される部屋名を変更できます。
❻	リスト表示	リストに表示される部屋名を変更できます。
❼	カテゴリー	登録するカテゴリーを変更できます。
❽	部屋名表示	入力と同時に表示される部屋名・帖数・帖を変更できます。

❾	床模様	床の模様を変更できます。
❿	壁	壁の種類を変更できます。
⓫	カラー	床、床の線の色を変更できます。
⓬	テクスチャ	テクスチャの有効／無効を変更できます。 テクスチャとは、リアル表現の床の模様のことです。 間取り図入力時に、「床の表現：リアル」を選択すると効果が現れます。 間取りクラウドでは、床の種類により様々なテクスチャファイルを搭載しています。 ＜設定方法＞ 「参照」をクリックし、左のリストから任意のテクスチャを選択し、「OK」をクリック。
⓭	描画イメージ	❺～⓬で設定した内容を表示します。

設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。



⑧ 部屋のお気に入り編集

部屋のお気に入り編集では、よく使う部屋を「お気に入り」の部屋カテゴリーに追加設定して、部屋入力時に部屋のカテゴリーを極力切り替えずに「お気に入り」のカテゴリーだけで作図する機能です。

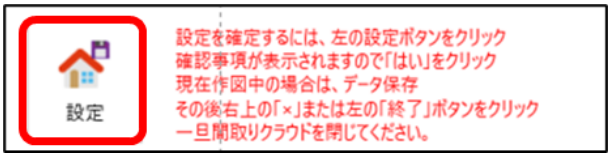
詳細は「9-2 よく使う部屋をお気に入りに登録したい」を参照。

⑨ 保存

保存の機能では、以下の設定をします。
・作図した「図面データ」や出力した「画像データ」の保存する場所の設定
・自動バックアップの時間設定

番号	名称	説明
❶	保存フォルダ	図面（mdzx形式）および画像（JPG他）を保存する場所を設定できます。 POINT! 図面、画像ともに「参照」ボタンから保存先が変更できます。 詳細は「（3）画像出力の保存フォルダをカスタマイズする」を参照。
❷	バックアップ	自動バックアップとは、保存、上書き保存していない状態で予期せず間取りクラウドが終了した場合に寸前に作図していた図面を救出する機能です。 チェックを外すと、自動バックアップ機能が解除されます。 また、自動バックアップをする時間を1分単位に設定できます。

設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。

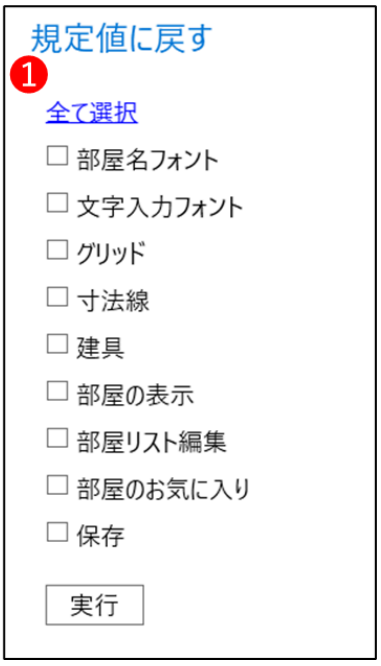


⑩ 規定値に戻す

規定値に戻す機能では、環境設定で各種設定を行った設定を、初期設定に戻します。

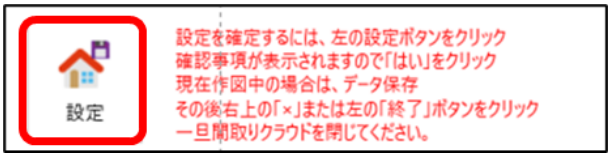
POINT!

一度規定値に戻すと、設定した内容が初期化され元の設定に戻すことができませんのでご注意ください。



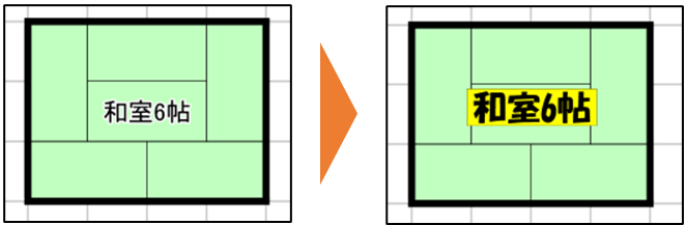
番号	名称	説明
❶	規定値に戻す	チェックした項目の変更内容を初期値に戻すことができます。 POINT! 「全て選択」をクリックするとすべての項目にチェックが入ります。 チェック後、「実行」をクリックします。

設定後は、「設定」ボタン（家のマーク）をクリックしてください。設定した内容は、いったん間取りクラウドを再起動すると反映されます。



（1）カスタマイズ手順（環境設定）

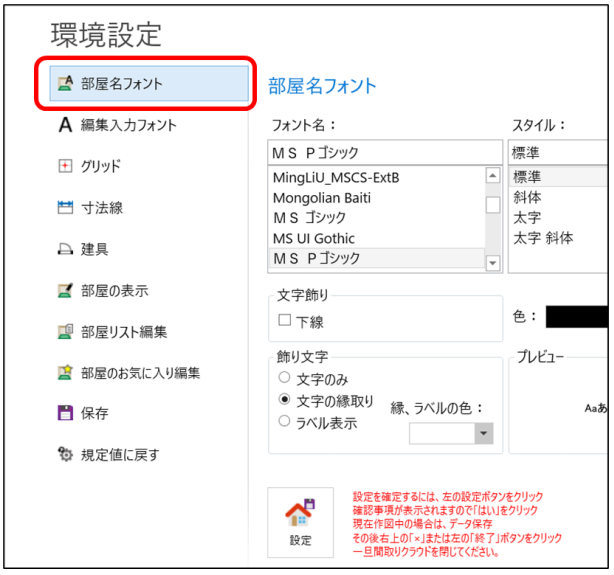
環境設定を開き、設定をカスタマイズします。
ここでは「部屋名フォント」の初期設定を「MS Pゴシック サイズ12P」から「HP創英角ポップ体 サイズ16P ラベル黄色」に変更する手順を説明します。



1 間取りクラウドの入力画面で、ファイルタブをクリックします。

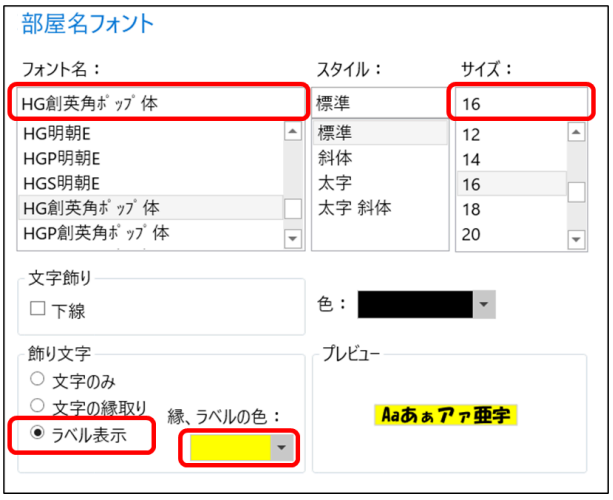
2 左メニューの「環境設定」をクリックします。

3 「部屋名フォント」をクリックします。

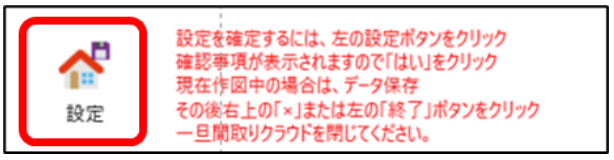


4 以下のとおり設定します。

フォント名：HG創英角ﾎﾟｯﾌﾟ体
サイズ：16
飾り文字：ラベル表示
縁ラベルの色：黄色



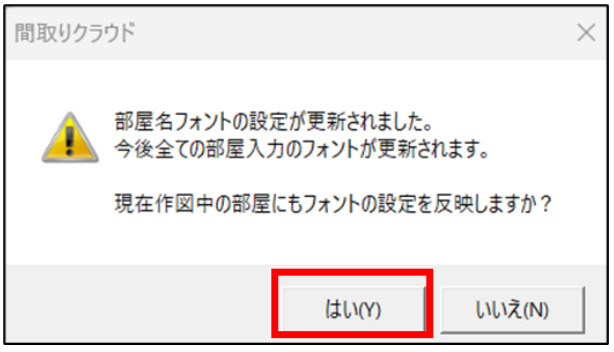
5 「設定」をクリックします。



6 確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

POINT!

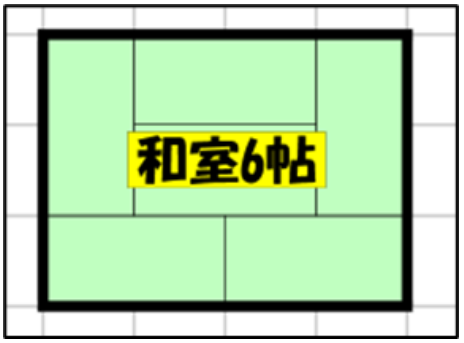
表示されるメッセージは、カスタマイズする項目により異なります。



7 作図領域に戻ると、部屋名の文字が変更されています。

POINT!

設定が反映されない場合は、いったんファイルを保存して間取りクラウドを再起動してください。
なお、すでに作成済みの間取り図には反映されません。



間取りクラウドを再起動すると、入力タブの部屋名およびフォントの設定値が変更されています。

（2）部屋リストをカスタマイズ中に新たな部屋を追加する

環境設定の「部屋リスト編集」のカスタマイズ中に新たな部屋をリストに追加できます。
ここでは、「洋室ピンク」を追加する方法を説明します。

POINT!

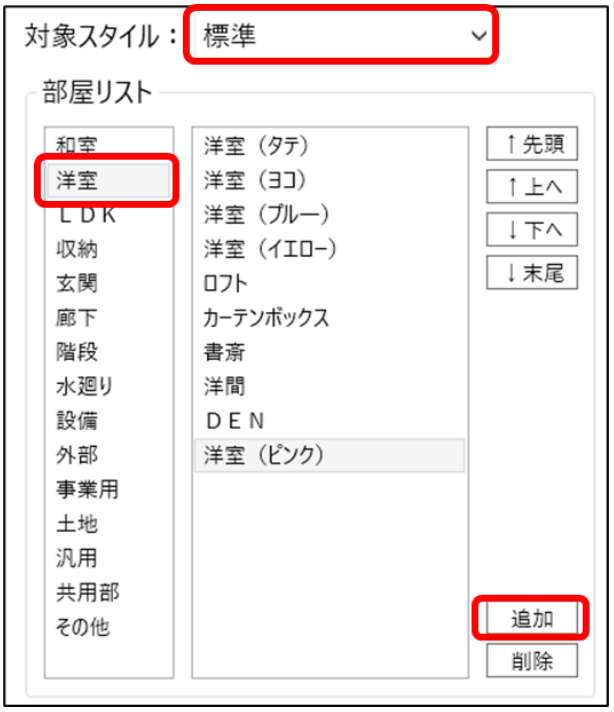
作図中に新たな部屋をリストへ追加する方法は、「9-1 新たな部屋を部屋リストに追加したい」を参照。

1 間取りクラウドの入力画面で、ファイルタブをクリックします。

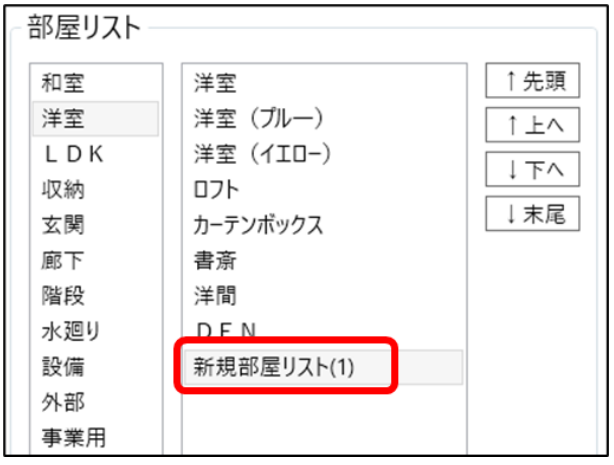
2 左メニューの「環境設定」をクリックします。

3 「部屋リスト編集」をクリックします。

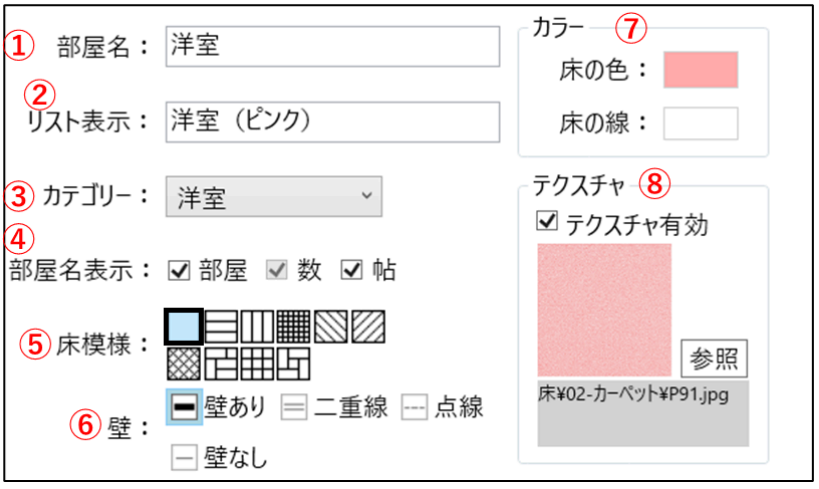
4 対象スタイルで「標準」を選択します。
「部屋リスト」でカテゴリー「洋室」を選択し、左下の「追加」をクリックします。



5 リストに「新規部屋リスト(1)」が作成されるので、クリックします。



6 右側の各項目を以下のように設定します。

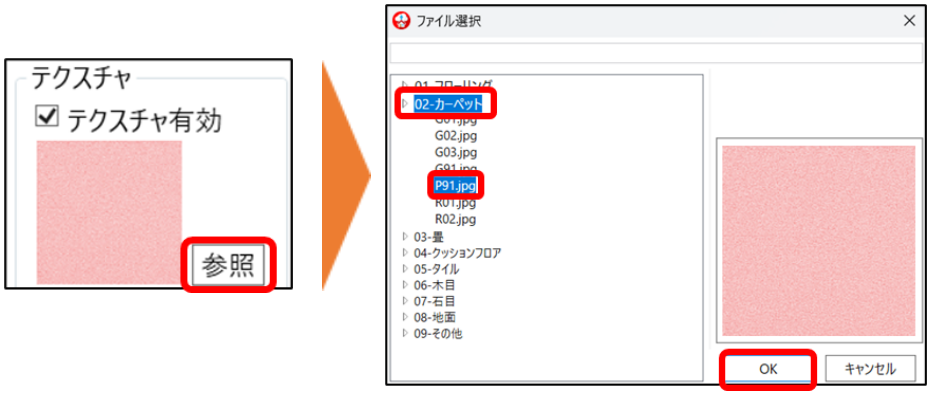


	項目	説明	備考
①	部屋名	「洋室」を入力。	入力した部屋に表示される部屋名。
②	リスト表示	「洋室（ピンク）」を入力。	部屋リストに表示される部屋名。
③	カテゴリー	「洋室」を選択。	この部屋のカテゴリーを設定。
④	部屋名表示	「部屋」「数」「帖」にチェック。	洋室4.5帖と表示させる。
⑤	床模様	模様なしのアイコンを選択。	
⑥	壁	「壁あり」を選択。	
⑦	床の色	カラーパレットからピンクを選択。	
	床の線	カラーパレットから白を選択。	
⑧	テクスチャ	「有効」にチェック。	以下の［POINT!］を参照。

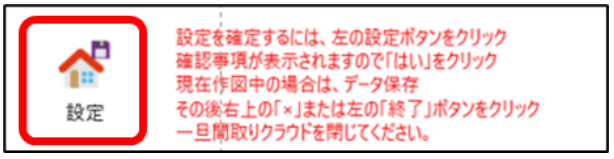
POINT!

テクスチャとは、リアル表現の床の模様のことです。
間取り図入力時に、「床の表現：リアル」を選択すると効果が現れます。
間取りクラウドでは、床の種類により様々なテクスチャファイルを搭載しています。

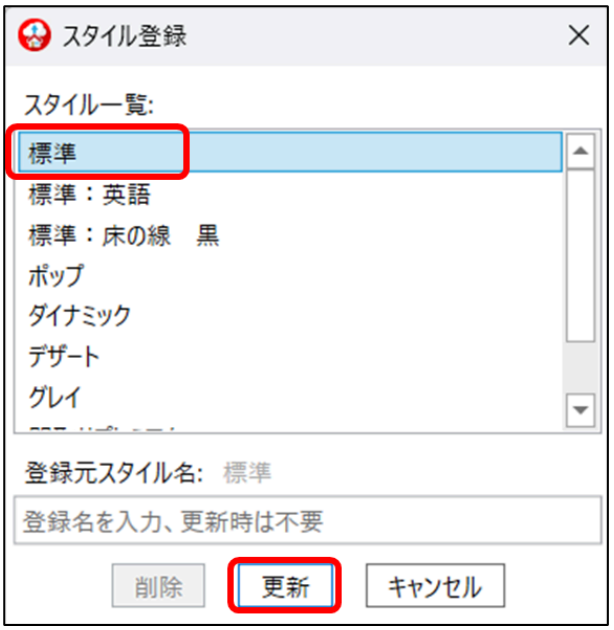
＜設定方法＞
「参照」をクリックし、「ファイル選択」から「02-カーペット内」の「P91.jpg」を選択。
「OK」をクリック。



7 「設定」をクリックします。

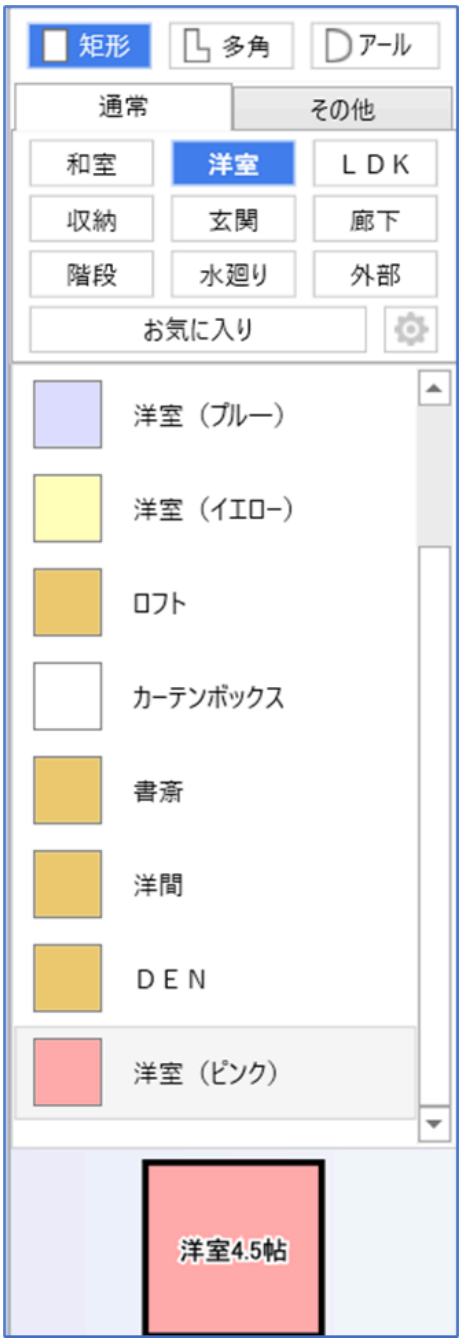


8 「スタイル登録」ウィンドウが開くので、登録するスタイルを選択し「更新」をクリックします。



9 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

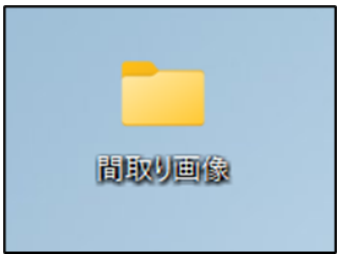
10 作図領域を開くと、部屋リストに「洋室（ピンク）」が追加されています。



（3）画像出力の保存フォルダをカスタマイズする

間取りクラウドの初期設定では、出力された画像は、「ドキュメント＞間取りクラウド＞画像フォルダー」に保存されます。
この設定を、お好きな場所へ保存できるようにカスタマイズします。
ここでは、「デスクトップ＞間取り画像フォルダー」に保存先を指定する手順を説明します。

1 デスクトップに「間取り画像」フォルダーを作成しておきます。



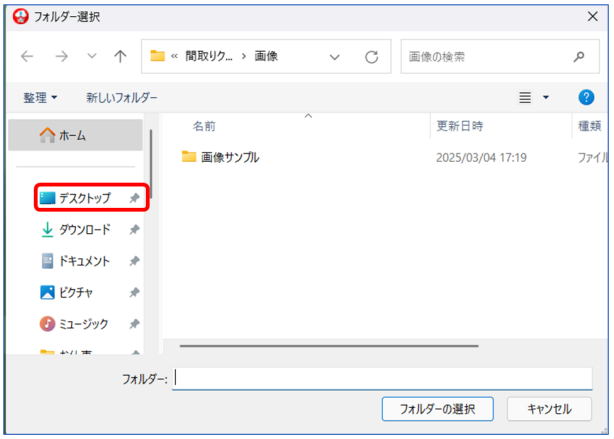
2 間取りクラウドの入力画面で、ファイルタブをクリックします。

3 左メニューの「環境設定」をクリックします。

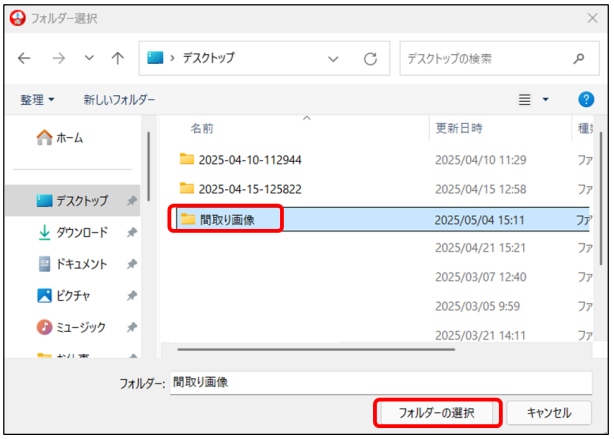
4 「保存」をクリックします。

5 「保存フォルダ」の、画像の「参照」をクリックします。

6 フォルダー選択ウィンドウが表示されるので、右メニューから「デスクトップ」をクリックします。



6 手順1で作成した「間取り画像」フォルダーを選択し、「フォルダーの選択」をクリックします。



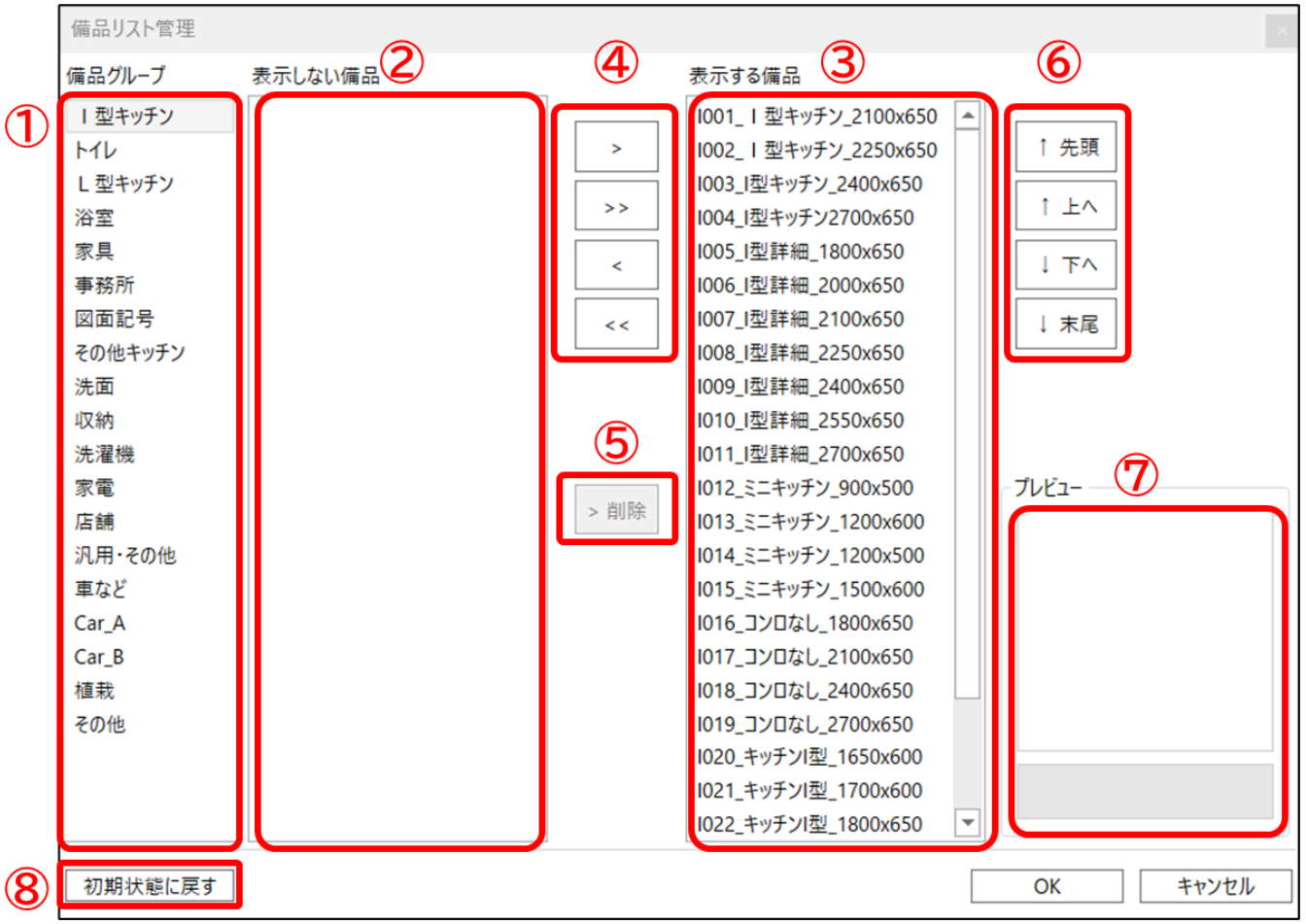
7 保存先が変更されました。

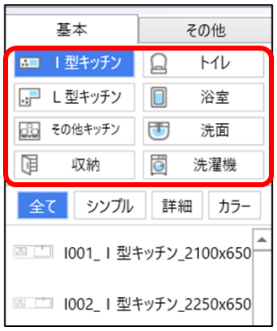
9-8　カスタマイズしたい（備品）

備品の操作パネルのリストをカスタマイズできます。

ここで備品として扱うのは、以下になります。
・備品入力で操作パネルのリストに表示されるパーツ
・外構入力で操作パネルのリストに表示されるパーツ

備品設定の機能説明



番号	名称	説明
①	備品グループ	備品、外構の操作パネルに表示されるカテゴリー名です。 例）備品の操作パネル 基本タブのカテゴリー 

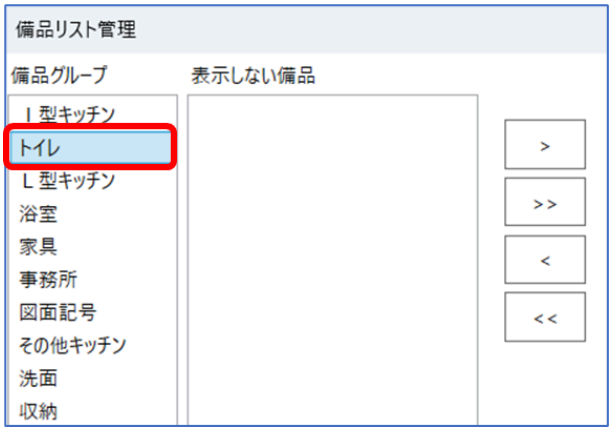
②	表示しない備品	操作パネルのリストに表示しない備品名です。	
③	表示する備品	操作パネルのリストに表示する備品名です。	
④	移動ボタン	>	「表示しない備品」欄の備品を選択しクリックすると、「表示する備品」欄に移動させます。
		>>	クリックすると、すべての備品を「表示しない備品」欄から「表示する備品」欄に移動させます。
		<	「表示する備品」欄の備品を選択しクリックすると、「表示しない備品」欄に移動させます。
		<<	クリックすると、すべての備品を「表示する備品」欄から「表示しない備品」欄に移動させます。
⑤	削除ボタン	「表示しない備品」欄の備品を選択してクリックすると削除されます。	
⑥	並べ替えボタン	「表示する備品」欄の備品を選択し、先頭、上へ、下へ、末尾へ移動させます。	
⑦	プレビュー	選択した備品のプレビュー画像を表示します。	
⑧	初期値に戻す	初期設定に戻します。	

（1）カスタマイズ手順（備品）

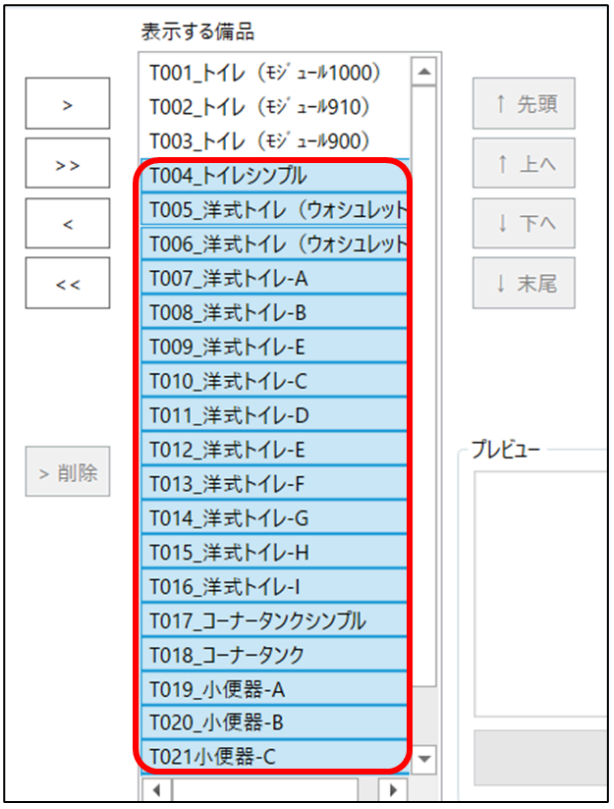
備品管理を開き、設定をカスタマイズします。
ここでは、トイレのリストに「T001_トイレ」~「T003トイレ」だけを表示する手順を説明します。

1 入力タブの「備品」をクリックし、左側の「備品管理」をクリックします。

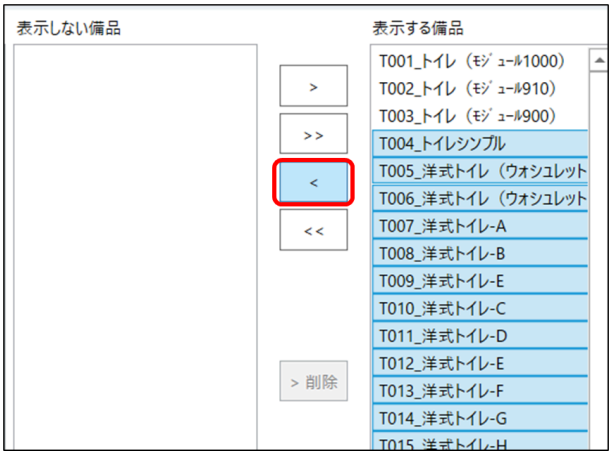
2 備品リスト管理画面が表示されるので、備品グループから「トイレ」を選択します。



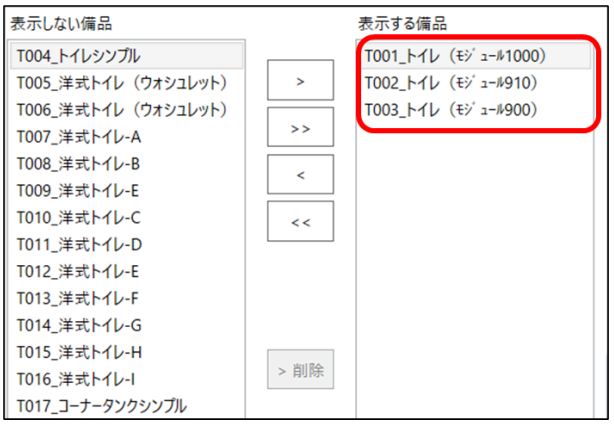
3 「表示する備品」から、先頭の3つを残して全て選択状態にします。



4 「<」ボタンをクリックします。

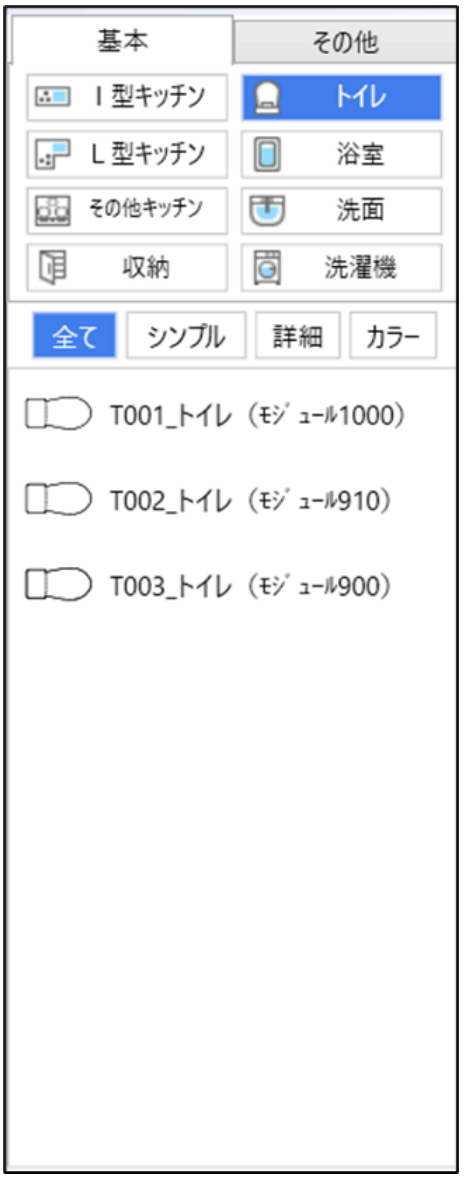


5 手順4で選択した備品が「表示しない備品」に移り、「表示する備品」には、「T001_トイレ」~「T003トイレ」が残ります。



6 右下の「OK」をクリックします。

7 作図領域を開くと、備品リストが「T001_トイレ」~「T003トイレ」だけになっています。



9-9　設定をバックアップしたい

環境設定でのカスタマイズや新規登録したパーツなど、設定をバックアップし、CSVファイルとしてエクスポートできます。
PCを変更するときにご活用いただける便利な機能です。

POINT!

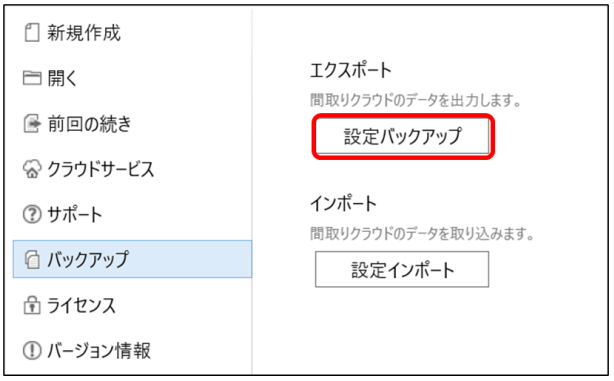
別の活用方法として、エクスポートしたCSVファイルを他のPCにインポートすることで、同じ設定に変更することが可能です。

（1）設定をエクスポートする

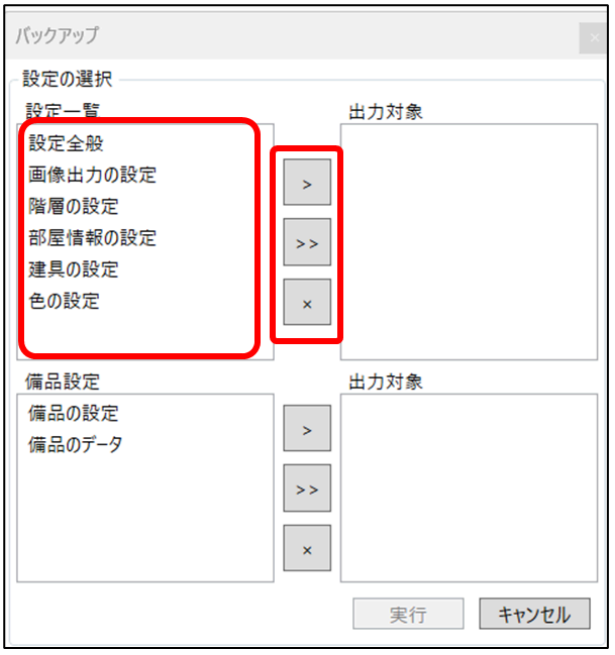
環境設定でカスタマイズしたPCでエクスポートを行ってください。

1 間取りクラウド起動時に表示される、「ようこそ」の「バックアップ」をクリックします。

2 「設定バックアップ」をクリックします。



3 バックアップ画面が開くので、「設定一覧」からバックアップする設定を選択し、ボタンで「出力対象」に移動させます。



> 選択した設定を移動します。

>> すべてを移動します。

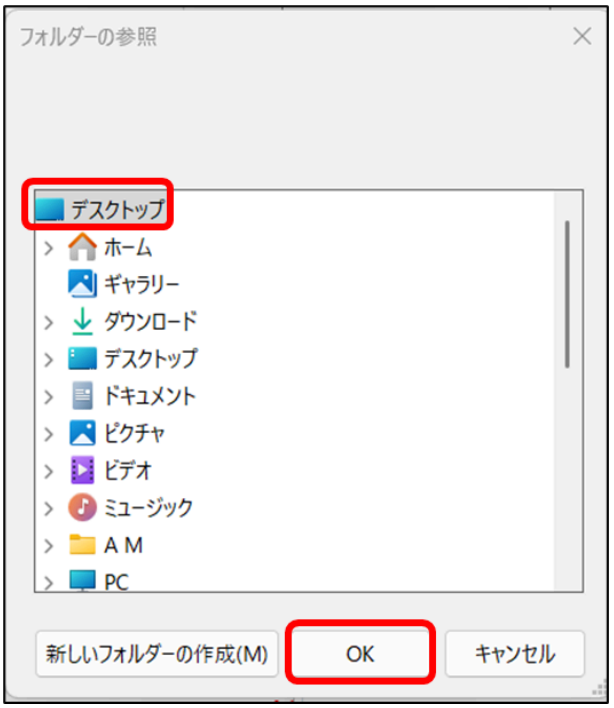
× キャンセルします。

4 3-1と同様に「備品設定」からバックアップする設定を選択し、ボタンで「出力対象」に移動させます。

5 設定後、「実行」をクリックします。

6 保存先を選択する画面が表示されるので、任意の場所を設定し、「OK」をクリックします。

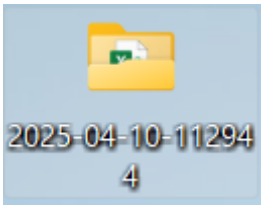
例として、デスクトップに保存します。



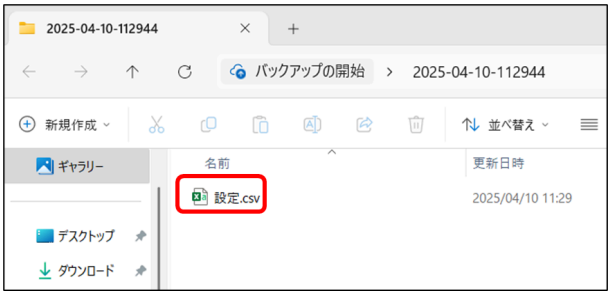
7 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

7 保存した場所（今回はデスクトップ）にバックアップファイルができます。

ファイル名は、実際にインポートを行った「日付と時刻」 です。
例：2025-4-10-112944



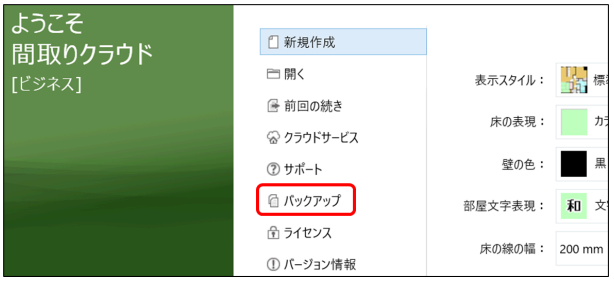
フォルダー内には、バックアップしたデータがCSV形式で保存されています。



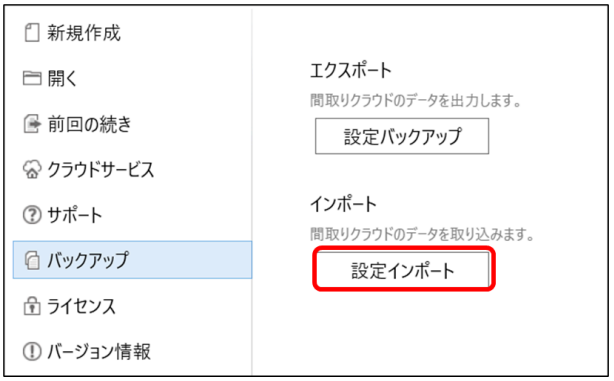
（2）設定をインポートする

他のPCでエクスポートされた設定データ（CSVファイル）をインポートする手順を説明します。

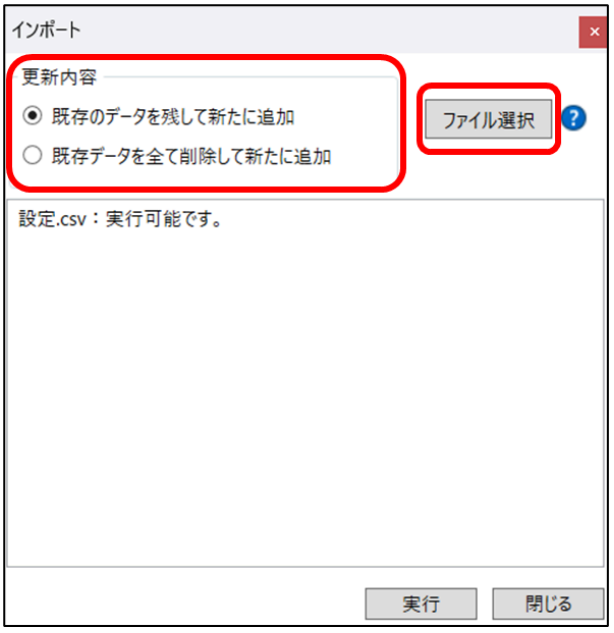
1 間取りクラウド起動時に表示される、「ようこそ」の「バックアップ」をクリックします。



2 「設定インポート」をクリックします。



3 インポート画面が開くので、更新内容を設定し、「ファイル選択」をクリックします。

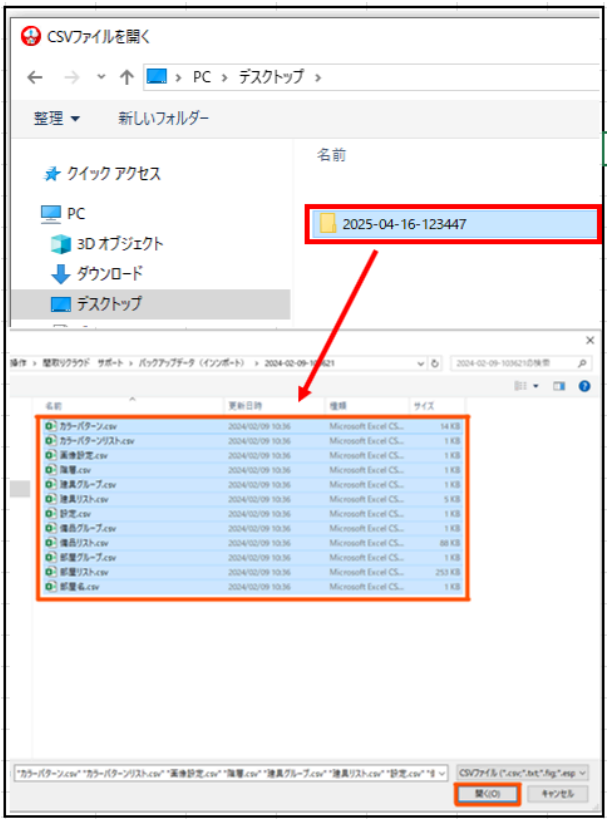


POINT!

「既存のデータを残して新たに追加」
一部を「インポートデータ」に置き換えるときに選択します。

「既存のデータを全て削除して新たに追加」
既存のデータを全て「インポートデータ」に置き換えるときに選択します。

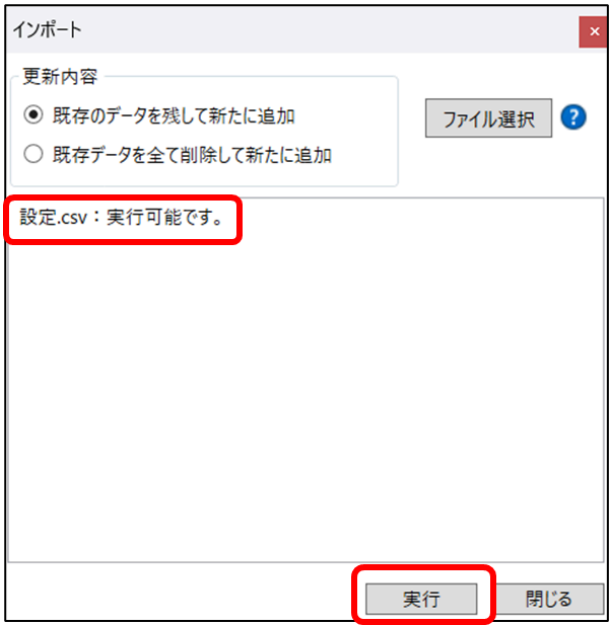
4 エクスポートしたフォルダーを開き、CSVファイルを選択して「開く」をクリックします。



POINT!

インポートするすべてのCSVファイルが、選択されていることを確認してください。

5 「実行可能です」のメッセージが表示されれば、CSVファイルに問題はありません。
「実行」をクリックします。



6 インポート完了メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。